



COREL™



ペイントショッププロ Ultimate

PaintShop® Pro X5

PaintShop® Pro X5

ユーザーガイド

ZOOM LENS

思い出をより美しく
みんなで楽しもう！

場所や日付を
写真と一緒に残せる
マップビュー

50 mm f/1.4 D



目次

Corel PaintShop Pro X5 へようこそ	1
本ユーザー ガイドの内容	1
Corel PaintShop Pro X5 の新しい機能	1
Corel プログラムのインストールとアンインストール	3
プログラムを起動 / 終了する	4
Corel 製品をユーザー登録する	4
プログラムのアップデート	5
Corel サポート サービス	5
Corel について	5
デジタルワークフロー	7
Corel PaintShop Pro の使いかたを習得する	11
マニュアル表記規則	11
ヘルプ システムを使用する	12
[ラーニング センター] パレットを使用する	12
Corel ガイドを使用する	14
Web 上のリソースを利用する	14
ワークスペースの概要	15
ワークスペースを理解する	15
ワークスペース間の切り換え	19
ワークスペースの色を選択する	19
パレットを使う	19
ツールバーを使う	21
ツールを使う	21
はじめに	25
Corel PaintShop Pro に写真を取り込む	25
画像を開く / 閉じる	26
画像の保存	27
画像を削除する	28
写真のレビュー、整理、検索	29
管理ワークスペースを設定する	30
フォルダーで写真を検索する	32
コンピューターから画像を検索する	33
保存した検索を使用する	34

画像にキーワード タグを追加する	34
タグ別に写真を表示する	35
カレンダーを使用して画像を検索する	35
写真から人物を検索する	36
場所情報を追加する	38
管理ワークスペースでサムネイルを使用する	41
編集を取得して複数の写真に適用する	44
写真情報を表示および編集する	45
クイック レビューを使用して写真をレビューする	47
トレイを使用する	48
カメラ RAW 写真を使った作業	51
サポートされる RAW ファイル形式	51
カメラ RAW ラボを使用する	52
RAW 写真を別のファイル形式に変換する	53
画像を調整する	55
画像を回転する	55
画像をトリミングする	56
画像の傾きを補正する	58
写真の遠近のひずみを補正する	59
基本的な写真補正を自動的に実行する	60
デジタルノイズを取り除く	62
ホワイトバランスを調整する	62
明るさ、コントラスト、明確化を調整する	63
被写界深度を制御する	64
画像をレタッチして保存する	67
赤目を修整する	67
美容補正を適用する	68
スクラッチを除去する	70
画像の傷とオブジェクトを除去する	72
画像領域を消去する	73
画像領域を切り取る	75
画像領域の色を付け直してリアルな効果を演出する	76
境界線を追加する	78
[スマート カーバー]による写真の拡大 / 縮小	79
露出とコンテンツの結合	81
HDR について	81
HDR 処理用の写真撮影	82
HDR 露出結合の使用による写真の結合	83

1 枚の RAW 写真を使って、HDR 効果を作成する	87
写真のバッチを HDR 画像に結合する	87
スマート リムーブで写真を結合する	88
色やマテリアルを使用する	91
マテリアルパレットを操作する	91
カラー ピッカーを使用して色を選択する	93
画像またはデスクトップから色を選択する	95
効果を適用する	97
効果を選択する	97
フォト効果を適用する	100
レトロ ラボを使用する	104
グラデーションフィルター効果を適用する	104
タイム マシンでビンテージ スタイルの写真を作成する	106
写真にフィルムとフィルターの効果を適用する	106
画像にピクチャ フレームを追加する	108
ピクチャ チューブツールを使用する	109
画像を歪ませる	110
レイヤーを使用する	113
レイヤーを理解する	113
[レイヤー] パレットを使用する	115
レイヤーを作成する	116
レイヤーの名前を変更する	117
レイヤーを表示する	117
画像の中でレイヤーの順序を変更する	118
レイヤーの不透明度を設定する	118
選択範囲を使う	119
選択範囲を作成する	119
選択範囲を変更する	122
選択範囲を反転 / クリアする	123
テキストを使用する	125
テキストを適用する	125
テキストの書式を設定する	127
写真を共有する	129
画像を電子メールで送信する	129
画像を共有サイトへアップロードする	130
[マップビューで写真を共有] プロジェクトを作成する	132

印刷する.....	135
画像を印刷する.....	135
索引	139

Corel PaintShop Pro X5 へようこそ

Corel® PaintShop® Pro は、素晴らしい画像や創造的デザインを作成できる機能を装備した、写真や画像にかかわっているユーザーのための、使いやすいプロ仕様の画像編集ソフトウェアです。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- 本ユーザー ガイドの内容
- Corel PaintShop Pro X5 の新しい機能
- Corel プログラムのインストールとアンインストール
- プログラムを起動 / 終了する
- Corel 製品をユーザー登録する
- プログラムのアップデート
- Corel サポート サービス
- Corel について



使用できるオプションは、使用するソフトウェア バージョンによって異なります。

本ユーザー ガイドの内容

本ユーザー ガイドは、Corel PaintShop Pro のワークスペースをよく理解するのに必要な説明と、はじめるための基本タスクや機能の説明から構成されています。プログラム内から利用できるより包括的なヘルプやその他学習リソースを目的としています。その他学習リソースの詳細については、ページ 11 の「Corel PaintShop Pro の使いかたを習得する」を参照してください。

Corel PaintShop Pro X5 の新しい機能

Corel PaintShop Pro X5 には、写真やデザインを整理、表示、共有するための新しい機能が含まれています。創造性を高めることができる新しい機能の他に、ユーザーの提案に基づいてツールやワークフローの強化された機能を装備しました。

新規！ 場所

それらが含んでいる場所情報に基づいて写真をマップしたり、場所情報を手動または GPS データや Facebook® チェックイン ポイントを使用して場所情報を追加したり、瞬時に行うことができるようになりました。統合された Google マップ機能を装備した新しいマップ モードには、場所別の表示や整列の直観的環境が装備されています。さらに写真から場所を削除して、オンライン時のプライバシー保護を行うこともできます。詳細については、ページ 38 の「場所情報を追加する」を参照してください。

新規！人物

顔のタグ付により写真の中の人物の識別、容易な検索、家族や友達との写真の共有、または共有サイトでの社会的接触が可能です。手動のタグ付の他に、顔認識を使用して自動的に顔の特徴を分析し、写真の中の人物を識別するさせることもできます。詳細については、ページ 36 の「写真から人物を検索する」を参照してください。

強化機能！ HDR ツール

ハイダイナミックレンジ (HDR) の写真は、素晴らしい深みのある写真を作成することを可能にします。露出結合機能を使用して HDR 写真の作成時には、専用の黒白 (B&W) コントロール、配置のプレビュー、動きのあるオブジェクトの容易な挿入などのオプションが使用できるようになりました。改善された自動ブラシは必要な効果をすぐに実現できるので、時間の節約に役立ちます。さらに HDR 一括結合機能にはコントロールが追加され、結合前に設定を選択して使用することができます。詳細については、ページ 81 の「露出とコンテンツの結合」を参照してください。

新規！1枚のRAWから作成

1枚の RAW 写真を 3つの露出に分割し、それらを選択して再結合し 1つの HDR スタイル効果を作成します。この処理は写真の異なる部分の露出をコントロールして、細部をさらに明確にします。詳細については、ページ 87 の「1枚の RAW 写真を使って、HDR 効果を作成する」を参照してください。

新規！レトロラボ

レトロラボは、ビンテージスタイルの色とコントラストを写真に適用して、初期の LOMO® カメラをイメージする独特的の効果を適用します。さまざまなコントロールを使用して、独自のレトロスタイルを作成および微調整します。次にそれを設定として保存して、次のプロジェクトで使用できるようにします。詳細については、ページ 104 の「レトロラボを使用する」を参照してください。

新規！グラデーションフィルター効果

写真に半透明のカラー グラデーションを適用して、カメラのレンズにグラデーションフィルターを使った効果を再現します。例えば、画像の他の部分に影響させないで白っぽくなるように空を暗くした淡い色にすることができます。さまざまなグラデーションコントロールにより、効果を使用するいくつかの作成段階でテストすることが可能になります。詳細については、ページ 104 の「グラデーションフィルター効果を適用する」を参照してください。

新規！インスタント効果パレット

インスタント効果パレットにはさまざまな事前設定効果があり、アーティスティック、白黒、風景、ポートレートなどのカテゴリーに分類されています。個々の効果はサムネイルによって説明されおり、必要な効果を簡単に選択することができます。既定効果の他に、ユーザー定義カテゴリーに独自の事前設定が自動的に表示されます。詳細については、ページ 99 の「インスタント効果パレットから効果を選択するには」を参照してください。

新規！マップビューで写真を共有

対話型のマップビューで写真を共有を起動して写真をアップし、地図上でルートを追跡したり、拡大して各写真を詳細に表示することができます。ブログに投稿するか、組み込み共有オプションを使用して Dropbox アカウントにアップロードし、自動的に Facebook に共有させて、写真をフォトムービーとしてオ

オンラインで共有することができます。詳細については、ページ 132 の「[マップビューで写真を共有] プロジェクトを作成する」を参照してください。

強化機能！ テキストツール

テキストツールが強化されました。テキストの選択と編集がより直観的になり、テキストツールとピックツール間の相互作用が向上されました。詳細については、ページ 125 の「テキストを使用する」を参照してください。

強化機能！ 共有オプション

強化されたソーシャルメディア統合により、Facebook、Flickr®、Google+™ アカウントへ同時に写真をアップロードできるようになりました。詳細については、ページ 130 の「画像を共有サイトへアップロードする」を参照してください。

強化機能！ トリミングツール

トリミングツールの強化により、画像トリミングがさらに柔軟に容易に行なうことが可能になり、必要な画像フォーカスとサイズが実現できるようになりました。独自のトリミング領域を定義して、設定を保存することもできます。詳細については、ページ 56 の「画像をトリミングする」を参照してください。

強化機能！ レイヤースタイル

レイヤーパレットでは、ドロップシャドウ、反射、グロウ、縁取りスタイルなどのレイヤースタイルへアクセスが容易になりました。詳細については、ヘルプの「レイヤースタイルを使用する」を参照してください。

強化機能！ マルチスクリプトのサポート

新しい「複数スクリプトを実行」ダイアログボックスでは、連続して複数のスクリプトを実行することができます。詳細については、ヘルプの「複数スクリプトを実行する」を参照してください。

Corel プログラムのインストールとアンインストール

アプリケーションのインストーラーを使用すると、Corel® プログラムおよびコンポーネントを容易にインストールできます。

インストールする前の注意事項

- 実行しているすべてのプログラムを閉じます。アンチウィルスやファイアウォールなどのアプリケーションがインストールに干渉する場合があります。
- コンピューターに管理者またはローカル管理ができるユーザーでログインしていることを確認してください。

Corel PaintShop Pro をインストールするには

- 使用中のアプリケーションを終了します。
- DVD を DVD ドライブに挿入します。

セットアップが自動的に起動しない場合は、コンピューターの DVD ドライブを開き、Setup.exe をダブルクリックします。

- 画面に表示される指示に従います。

Corel PaintShop Pro をアンインストールするには

- 1 Windows® コントロール パネルを開きます。
- 2 [プログラム] カテゴリーで、[アンインストール] リンクをクリックします。
- 3 [プログラムと機能] ウィンドウのアプリケーション リストで、Corel PaintShop Pro X5 をクリックします。
- 4 [アンインストールと変更] をクリックします。
- 5 画面に表示される指示に従います。

プログラムを起動 / 終了する

Corel PaintShop Pro は Windows のタスクバーやデスクトップ アイコンから起動して、プログラムの [ファイル] メニューから終了できます。

Corel PaintShop Pro を起動するには

- [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] ▶ Corel PaintShop Pro X5 の順に選択するか、デスクトップまたはスタート画面から Corel PaintShop Pro X5 アプリケーションアイコンかタイトルを使用します。



JPEG や TIFF などの特定のファイル形式を Corel PaintShop Pro に関連付けている場合は、対応するファイルをダブルクリックするとプログラムが起動します。ファイル形式の関連付けに関する詳細については、ヘルプの「ファイル タイプの関連付けを設定する」を参照してください。

Corel PaintShop Pro を終了するには

- [ファイル] ▶ [終了] を選択します。

Corel 製品をユーザー登録する

Corel 製品の登録を行っていれば、最新の製品の更新や価値ある製品のリリース情報にタイムリーに確実にアクセスできます。登録によって、無料ダウンロード、情報、ヒント、特別提供なども利用できます。

プログラムをインストールした直後または後で、プログラムを登録することができます。

次のいずれかの操作で、プログラムを登録できます。

- **オンライン** – 登録を求められたときに、インターネットに接続している場合は、オンライン登録を開始できます。インターネット接続が検出されない場合は、オプションのリストが提供されます。
- **電話** – お近くの Corel カスタマー サービス センターに電話をして、ユーザー登録を行うことができます。

Corel 製品の登録の詳細については、www.corel.jp/support/register にアクセスしてください。

プログラムのアップデート

製品の更新を確認できます。更新により、プログラムに関する新しい重要情報が通知されます。

プログラムを更新するには

- ・ [ヘルプ]▶[更新のチェック]を選択します。



プログラムの自動更新をオンまたはオフに設定するには、[ヘルプ]▶[Corel ガイド]をクリックします。Corel ガイドで、[製品情報と環境設定]ボタン をクリックして、[メッセージ設定]を選択します。必要なオプションを選択します。

Corel サポート サービス

Corel® サポート サービスでは、製品の機能、仕様、価格、サービス、およびテクニカル サポートに関する正確な情報を迅速に提供しています。Corel 製品の利用できるサポートおよび専用サービスについての最新情報は、<http://www.corel.jp/support>をご覧ください。

Corel について

Corel は世界トップクラスの規模を誇るソフトウェア会社であり、75カ国以上に合計1億人を超えるユーザーを抱えています。ソフトウェアを開発し、より楽しく、便利な方法でユーザーの創造性を高め、作品を共有できるようお手伝いします。長年にわたり、当社製品は操作性、機能性、信頼性などあらゆる面において、ユーザーに高く評価されてきました。業界から、ソフトウェアの革新、デザイン、価値に関する賞を数多く受賞しています。

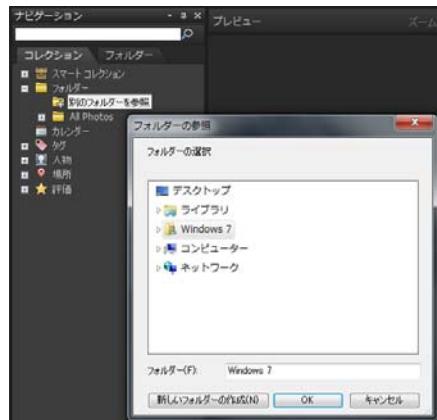
受賞した製品には、CorelDRAW® Graphics Suite、Corel® Painter™、Corel® PaintShop® Pro、Corel® VideoStudio®、Corel® WinDVD®、Corel® WordPerfect® Office、WinZip®、Roxio Creator®、Roxio® Toast® など、世界で最も広く認知され人気のあるソフトウェア ブランドの一部が含まれています。

デジタルワークフロー

Corel PaintShop Pro の最適な使用法を、以下のデジタルワークフローに示します。これには、デジタル画像処理の手順が示されています。写真の整理、レタッチ、印刷、共有などを行いたい場合には、下記のワークフローをガイドとしてご利用いただけます。

Corel PaintShop Pro に写真を取り込む

Corel PaintShop Pro に写真を取り込むのは、管理ワークスペースでアプリケーションを開いたり、コンピュータのお気に入りの写真フォルダーに移動するのと同様に簡単です。アプリケーションは、あなたが移動したフォルダーを自動的に分類し、ファイルを複製することなく、原則的にそれらをアプリケーションに「インポート」します。



詳細については、ページ 25 の「Corel PaintShop Pro に写真を取り込む」を参照してください。

写真の管理

デジタル写真技術により、写真を自由に撮影して実験できるようになりました。その結果、多くのデジタルファイルが作成され、写真家はそれらのファイルを、処理のできるだけ早い時期に見直し、選別し、特定して管理する必要があることを知っています。

管理ワークスペースでは、写真を選別、ランク付け、タグ付け、および編集や共有の準備に必要なすべてのツールにアクセスできます。サムネイルをダブルクリックすると、クイック レビューと呼ばれるフルスクリーンのレビュー モードが開きます。検索オプションとコレクションにより、現在コンピュータに保存してある写真を簡単に見つけ出し、加工することができます。



クリック レビューは、管理ワークスペースでサムネイルをダブルクリックすると開く、フルスクリーンのレビュー モードです。矢印キーを使用して、ズームや移動が行えます。

詳細については、ページ 29 の「写真のレビュー、整理、検索」を参照してください。

写真を素早く調整する

多くの写真家は写真の編集にあまり時間をかけられないため、調整ワークスペースでは、写真から写真へ素早く移動して、よく使う編集ツールをすぐに使えるようにしています。場合によっては、ここだけで必要な編集がすべて行えます。

写真を編集したら、管理ワークスペースに戻って、編集の取得や編集の適用などのマルチ編集機能を活用することができます。編集の取得と適用を使うと、一枚の写真に行った編集をコピーして、その編集を複数の写真に適用することができます。類似の条件で撮影した画像は驚くほどのスピードで補正でき、スクリプトは必要ありません。

詳しくは、以下のトピックを参照してください。

- ページ 17 の「調整ワークスペース」
- ページ 44 の「編集を取得して複数の写真に適用する」

高度な編集と RAW ファイル

編集ワークスペースでは、プロレベルのツールと機能が使用できます。たとえば、効果を適用し、テキストを加え、カスタムペイントツールを使うことができます。さらに、レイヤーを使用して高度な編集が可能な複合画像を作成したり、選択とマスクによって画像範囲を分離したり、トーンカーブ、ヒストグラム、およびその他の高度な調整ツールにアクセスすることもできます。



調整ワークスペースの調整ペインでは、よく使う編集オプションに素早くアクセスできます。



RAW ファイルの作業を完全にコントロールするには、カメラ RAW ラボで写真を処理します。

詳しくは、以下のトピックを参照してください。

- ページ 55 の「画像を調整する」
- ページ 67 の「画像をレタッチして保存する」
- ページ 119 の「選択範囲を使う」
- ページ 113 の「レイヤーを使用する」
- ページ 97 の「効果を適用する」
- ページ 125 の「テキストを使用する」
- ページ 51 の「カメラ RAW 写真を使った作業」

写真の共有

写真を調整し、磨きをかけたら、それらを共有することができます。印刷、レイアウト、電子メールでの送信など共有のためのオプションが用意されており、アプリケーションから Facebook、Flickr、Google+ などの人気の共有サイトに直接投稿できます。



詳しくは、以下のトピックを参照してください。

- ページ 135 の「印刷する」
- ページ 129 の「写真を共有する」

デジタル一眼レフカメラ写真用に拡張されたクリエイティブなオプション

多くのデジタル一眼レフカメラ (DSLR) カメラのユーザーは知識を広げており、クリエイティブなオプションを求めています。Corel PaintShop Pro の HDR (ハイ ダイナミック レンジ) 機能は、カメラのプラケット機能を活用することができます。また、スマート リムーブを使って複数の写真を組み合わせることもできます。

詳しくは、以下のトピックを参照してください。

- ページ 82 の「HDR 処理用の写真撮影」
- ページ 83 の「HDR 露出結合の使用による写真の結合」
- ページ 87 の「写真のバッチを HDR 画像に結合する」
- ページ 88 の「スマート リムーブで写真を結合する」

Corel PaintShop Pro の使いかたを習得する

Corel PaintShop Pro の使い方は、[ヘルプ] および [Corel ガイド] にアクセスする、[ラーニング センター] パレットを使用する、Corel Web サイト (www.corel.jp) にあるリソースを調べてヒント、チュートリアル、トレーニング情報にアクセスする、などの方法があります。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- マニュアル表記規則
- ヘルプシステムを使用する
- [ラーニング センター] パレットを使用する
- Corel ガイドを使用する
- Web 上のリソースを利用する

マニュアル表記規則

次の表は、[ヘルプ] で使用されている重要な表記規則を示しています。

表記規則	説明	例
[メニュー] ▶ [メニュー コマンド]	メニュー項目をクリックし、続けて [ファイル] ▶ [開く] を選択します。メニュー コマンドをクリックします。	
ドロップリスト	ユーザーが下向きの矢印ボタンをクリックしたときにドロップダウン表示されるオプションのリスト	ツール オプション パレットにある [選択の種類] ドロップリストからオプションを選択します。
パレット	特定のツールまたはタスクに関連する、使用できるコマンドと設定があるウィンドウ	レイヤー パレットにあるグループ名をダブルクリックします。
チェックする、チェックを外す	クリックすることでチェック ボックスを有効にしたり無効にしたりすることを指す用語	画像の現在の印刷サイズを保持するには、[元の印刷サイズを維持する] のチェック ボックスを選択します。
Enter	キーボードにある Enter キー	このグラデーションを後で使用するためにサンプルとして保存するには、[サンプルに追加] ボタンをクリックして名前を入力してから Enter キーを押します。
	写真に関するヒント	できれば、HDR 加工用の写真を撮影する場合は三脚を使用してください。
	ビデオは利用可能	スマート カーバー の使用についてのビデオを見てください。

表記規則	説明	例
	注意には、前の手順に関して重要な情報全体に [テクスチャ以外をスラッシュ化] コマンドを適用できますが説明されている場合もあります。が、このコマンドは、問題の領域を選択した場合に最も効果があります。	
	ヒントには、前の手順を実行するためのヒントが示されます。代替手順および手順の他の利点や使い方が示される場合もあります。	また、画像内で右クリックして、クロップツール用のソースポイントを設定することもできます。

ヘルプ システムを使用する

Corel PaintShop Proに関する最も包括的な情報源は、プログラムから使用できるヘルプです。[ヘルプ] システムは、情報を探すための 2 種類の方法を提供します。目次ページからトピックを検索する、または検索ページを使用して特定の語句を検索する、という方法です。またヘルプのヒントを印刷することもできます。

インターネットに接続している場合は、アプリケーションは Web ベースのヘルプが表示されます。インターネットの接続が利用できない場合は、アプリケーションはローカルのヘルプ システムを検索します。

ヘルプ システムを使用するには

- 1 次のいずれかの操作を行います。
 - [ヘルプ] ▶ [ヘルプ トピック] をクリックします。
- 2 ヘルプ ウィンドウで、以下のいずれかのタブをクリックします。
 - [目次] – [ヘルプ] 内のトピックを順に表示できます。
 - [検索] – [ヘルプ] の全文を対象に特定の単語や句を検索できます（引用符は必要ありません）。たとえば、特定のツールまたはコマンドについての情報を検索する場合、「バックライト」などのツールまたはコマンドの名前を入力して、関連トピックのリストを表示することができます。

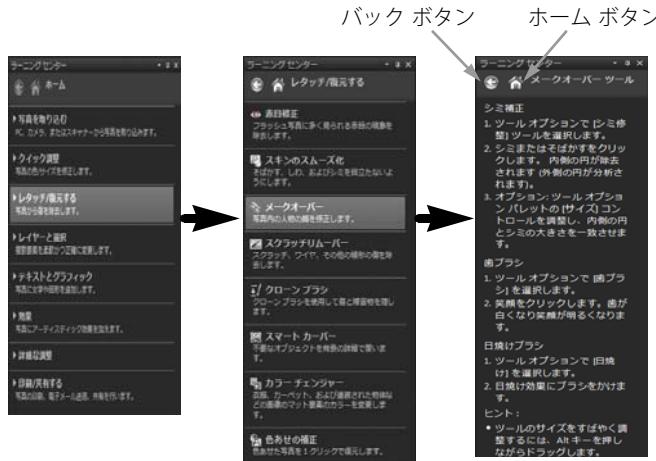
目的

特定のヘルプ トピックを印刷する [ヘルプ] トピックを開き、Internet Explorer® メニューから [ファイル] ▶ [印刷] を選択します。

ダイアログ ボックスのヘルプを表示する ダイアログ ボックスの下の方にある [ヘルプ] をクリックします。

[ラーニング センター] パレットを使用する

[ラーニング センター] パレットには、経験のあるユーザーの作業を早くするだけでなく、初めて使用者を助ける、Corel PaintShop Pro のタスク、コマンド、ツールについての役に立つ情報が用意されています。[ラーニング センター] パレットのホームページには、タスク別のワークフローが用意されており、写真をプログラムに取り込むことから始めます。そこから、ワークフローに従って、写真の検索や整理、写真の調整やレタッチ、レイヤーや選択の使用、テキスト、グラフィック、効果の追加、作成物の印刷と共有などのタスクを実行します。



[ラーニング センター] ホームページで、タスクをクリックしてトピックをクリックします。

[ラーニング センター] パレットを表示または非表示にするには

編集ワークスペース

- [表示] ▶ [パレット] ▶ [ラーニング センター] を選択します。



既定では、[ラーニング センター] パレットは表示されます。編集ワークスペースの左側に表示されます。

[ラーニング センター] パレットを使用するには

編集ワークスペース

- 1 ホームページで、タスクをクリックします。

タスクに関するトピックが表示されます。

- 2 トピックをクリックします。

トピックに関する手順が表示されます。

- ツールについて記述するトピックでは、そのツールがアクティブになります。ツール オプション パレットと他の関連パレットが表示されます。
- ダイアログ ボックスに関するトピックでは、ダイアログ ボックスが表示されます。

- 3 ツールまたはコマンドの使用に関する処理を読みます。



画像が開かれていない場合は使用できないタスクとコマンドがあります。

Corel ガイドを使用する

Corel ガイドは、プログラムに関する最新情報を提供しています。ヒントを見る、プロジェクト用の新しいコンテンツをダウンロードする、写真を共有する新しい方法を探す、プログラムの最新アップデートの利用などが行えます。

Corel ガイドにアクセスするには

- [ヘルプ]▶[Corel ガイド]を選択します。

Web 上のリソースを利用する

Corel PaintShop Pro の [ヘルプ] メニューと Corel Web サイトから、カスタマー サポートやコミュニティ専用のさまざまな Web ページにアクセスすることができます。ダウンロード、チュートリアル、ヒント、ニュースレター、ニュースグループ、およびその他オンライン リソースなどのリソースを見つけることができます。

Web 上のリソースにアクセスするには

- [ヘルプ] メニューから、以下のいずれかの Web サイト リンクを選択します。
 - **連絡先情報** – このリンクは、カスタマー サービスやテクニカル サポートの連絡先情報などを掲載したカスタマー サポート ページを表示します。
 - [オンライン サポート / リソース] – Corel サポート サービス ページにアクセスして [Corel ナレッジベース] およびニュースグループで回答を検索したり、[テクニカル サポート] に質問を送信したり、フィードバックを送ったり、ソフトウェアの更新を検索したりすることができます。
 - [更新のチェック] – Corel 更新サービス Web サイトを確認して、お使いの Corel PaintShop Pro の更新があるかどうかを確認することができます。



www.corel.jp へアクセスして、サポート リンクをクリックしてサポート ページへアクセスすることができます。

Corel ラーニング リソースにアクセスするには

- インターネット ブラウザを使用して www.corel.jp に移動し、PaintShop Pro リンクをクリックしてから、[リソース] タブをクリックします。

ワークスペースの概要

Corel PaintShop Pro には画像を整理・編集することができる、管理、調整、編集の 3 つのメインワークスペースがあります。



使用できるオプションは、使用するソフトウェア バージョンによって異なります。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- ワークスペースを理解する
- ワークスペース間の切り替え
- ワークスペースの色を選択する
- パレットを使う
- ツールバーを使う
- ツールを使う

ワークスペースを理解する

Corel PaintShop Pro は、以下の 3 つのワークスペースから構成されています。

- 管理
- 調整
- 編集

各ワークスペースには、速く効果的にタスクを完了できる便利なツールとコントロールがあります。

すべての開いている画像とその拡大率、画面上での位置に加えて、パレット、ツールバー、ダイアログボックス、ウィンドウの位置や設定も含む、ワークスペースを保存できます。カスタム ワークスペースの使用詳細については、ヘルプの「カスタム ワークスペースを使用する」を参照してください。

管理ワークスペース

Corel PaintShop Pro を起動すると、管理ワークスペースが既定のワークスペースとして表示されます。



管理ワークスペースは以下のコンポーネントから構成されています。

- **ナビゲーションパレット** – 写真の検索と整理を行います。[検索] ボックスを使用するか、[コレクション] タブや [コンピューター] タブをクリックしてコンピューターのフォルダーを表示したり、コレクション、タブ、または評価で写真を並べ替えすることができます。
- **プレビュー領域** – 大きな単一画像ビューかマルチサムネイルビュー（拡張オーガナイザーパレット）のいずれかを選択することができます。
- **情報パレット** – 選択した画像についての情報を表示します。写真を撮影するのに使用される設定のカメラスタイルディスプレイと、タグや評価などの情報を追加できるタブ領域から構成されており、EXIF または IPTC データの完全リストを利用できます。
- **オーガナイザーパレット** – 3つのワークスペースで使用できます。このパレットでは、写真（サムネイルとして）を選択することができ、写真を管理するためのさまざまなコマンドやオプションを装備したツールバーがあります。
- **インスタント効果パレット** – 3つのワークスペースすべてで使用できます。このパレットでは、事前設定効果を選択し（サムネイルとして表示される）、写真に適用することができます。

管理ワークスペースについての詳細は、ページ 29 の「写真のレビュー、整理、検索」を参照してください。

調整ワークスペース

調整ワークスペースでは編集が簡単に行えます。最も一般的に使用されるツール一式を装備しており、写真を修正および最適化することができます。



調整ワークスペースに表示された写真

調整ワークスペースには以下のコンポーネントが含まれています。

- **プレビュー領域** – オーガナイザーパレット内に選択された写真を表示します。
- **オーガナイザーパレット** – 写真を選択します。写真を管理するためのさまざまなコマンドやオプションを装備したツールバーがあります。
- **評価の設定** – 好みの写真がすぐに見つかるように、各写真に評価を付けます。
- **ツールバー** – 共通の保存および表示コマンドを利用するためのボタンを表示します。
- **調整パレット** – 写真を調整するためのツールとコントロールを表示します。
- **インスタント効果パレット** – 写真に適用できる事前設定の効果を表示します。
- **ステータスバー** – 選択したツールについての情報を表示します。

調整ワークスペースについては、ヘルプの「調整ワークスペースを使用する」を参照してください。

編集ワークスペース

編集ワークスペースでは、さまざまな編集機能を利用できます。このワークスペースは、画像を作成/編集するための各種メニュー、ツール、パレットなどで構成されています。写真の編集に加えて、ペイントや描画などの作業もできます。



編集ワークスペースに表示された写真

編集ワークスペースには以下のコンポーネントが含まれています。

- ・ **メニューバー** — タスクを実行するためのコマンドを表示します。たとえば、[効果] メニューには、画像に効果を適用するためのコマンドが用意されています。
- ・ **ツールバー** — 一般的なコマンドのボタンを表示します。詳細については、ページ 21 の「ツールバーを使う」を参照してください。
- ・ **パレット** — 画像情報を表示し、ツールの選択、オプションの変更、レイヤーの管理、色の選択、編集タスクの実行などを行うことができます。詳細については、ページ 19 の「パレットを使う」を参照してください。
- ・ **ステータスバー** — 画像サイズ、色数、マウス ポインタの位置など、画像の情報に加えて、選択されているツール、メニュー コマンドに関する情報を表示します。ステータスバーはワークスペースの一番下に表示され、他のツールバーと違って、カスタマイズしたり移動したりすることはできません。画像情報の表示の詳細については、ページ 45 の「写真情報を表示および編集する」を参照してください。

ワークスペース間の切り替え

Corel PaintShop Pro により、最も効果的な方法で写真の管理・編集作業を行えるように、異なるワークスペース間ですばやく簡単に切り換えることができます。

ワークスペース間で切り換えるには

- アプリケーション ウィンドウの上部で、以下のいずれかのタブをクリックします。
 - 管理
 - 調整
 - 編集

ワークスペースの色を選択する

明暗さまざまなワークスペースの色を選択することができます。

ワークスペースの色を選択するには

1 [表示]▶[ワークスペース カラー] の順にクリックします。

2 以下のいずれかの色を選択します。

- ダーク グレー (デフォルト)
- ミディアム グレー
- ライト グレー
- 青

パレットを使う

Corel PaintShop Pro には、画像を編集するのに役立つ情報やコマンドを整理できる多くのパレットがあります。自動的に表示されるものと、特定のツールが有効になった場合に表示されるもの、または起動するように選択した場合にのみ表示されるパレットがあります。[表示]▶[パレット] を選択して、パレットを簡単に表示または非表示にすることができます。パレットによっては、特定のワークスペースでしか使用できません。

パレットには情報が表示されます。コントロールとコマンド ボタンの両方が含まれていることもあります。ツールバーと同様に、パレットは既定のドッキング位置から移動できます。

パレット	説明
ブラシ オプション	ペイント ブラシまたはその他のラスタ ペイント ツールを使用するときに、追加のブラシ オプションを設定できます。このパレットは、4 次元マウスや筆圧感知タブレットを使用しているときに特に便利です。たとえば、筆圧を適用することによって、ブラシストロークの不透明度を変えることができます。また、マウスでの作業に適しているオプションもあります。
ヒストグラム	画像内の赤、緑、青、グレースケール、色相、彩度、明度の分布のグラフを表示します。シャドウ、中間調、ハイライトの詳細の分布を分析することによって、どのような補正を行うかを決定します。

パレット	説明
履歴	現在の画像で行われるアクションの一覧を表示します。隣接するアクションまたは隣接しないアクションを元に戻したり、やり直したり、他の開いている画像に即座に適用できる クイックスクリプトを作成することができます。
情報パレット	(ワーク スペースの管理) 選択した画像についての情報を表示します。写真撮影に使用される設定のカメラスタイル表示と、タグや評価、EXIF または IPTC データ、場所や人物についての情報など情報を編集および表示できる写真やタブ領域から構成されています。
インスタント効果	写真に適用できる事前設定効果のサムネイルへ簡単にアクセスできます。
レイヤー	画像レイヤーの表示、整理、調整ができます。
ラーニング センター	共通タスクをすばやく効率よく実行できるワークフロー、ツール、およびコマンドに関する情報を表示します。
マテリアル	ペイント、ドロー、塗りつぶし、レタッチに使用する色やサンプルを選択できます。
ミキサー	[油彩 ブラシ] ツールや [パレット ナイフ] ツールで使用する絵の具を出し、混ぜることができます。リアルな油彩ペイントのストロークを [アート メディア] レイヤーで作成できます。
ナビゲーション パレット	写真の検索と整理を行います
オーガナイザー	さまざまなフォルダーから写真を集めて表示し、選択、編集、電子メール、印刷します。ワークフローに合わせて、パレット内のカスタム トレイの追加、削除、名前の変更を行うことができます。
オーバービュー	現在の画像のサムネイルを表示し、ズーム レベルを適正に設定し、画像情報を表示します。
スクリプト出力	スクリプトを実行したときのアクションと結果の一覧を表示します。
ツール オプション	現在のツールの設定とコントロールを表示します。

パレットの表示 / 非表示を切り替えるには

編集ワークスペース

- [表示]▶[パレット]を選択してから、パレット名を選択します。
現在表示されているパレットには、チェックマーク が付けられています。



[F2] を押して、フロート パレットを表示または非表示にします。

パレットのサイズを変更するには

編集ワークスペース

- パレットの角または端をドラッグします。



パレットのタイトルバーの右上隅にある [パレットの最小化] 、または [パレットの最大化] ボタンをクリックして、ドッギングされたパレットのサイズを変更することもできます。

ツールバーを使う

3つのワークスペースすべてに、一般的なタスクを実行するのに役立つボタン付きのツールバーが表示されます。ポインタをボタンの上に置くと、ツールヒントにそのボタンの名前が表示され、ステータスバーにはコマンドの追加情報が表示されます。さらに、編集ワークスペースで、[ラーニングセンター] がツールの使用法のアドバイスを表示します。

編集ワークスペースは、以下のツールバーのメイン アクセス ポイントです。

- **効果** – 画像に効果を適用するためのコマンドが表示されます。
- **フォト** – 写真修整のためのコマンドが表示されます。
- **スクリプト** – スクリプトを作成 / 実行するためのコマンドが表示されます。
- **標準** – 既定でワークスペースの上部に表示され、画像の保存、元に戻す、切り取り、貼り付けなど、最も一般的なコマンドが表示されます。
- **状態** – 既定でワークスペースの下部に表示され、選択したツールの情報が表示されます。
- **ツール** – ペイント、ドロー、トリミング、テキストの入力などの画像編集タスクを実行するためのツールが含まれます。
- **Web** – Web 用の画像を作成 / 保存するためのコマンドが表示されます。

ツールバーの表示 / 非表示を切り替えるには

編集ワークスペース

- [表示] ▶ [ツールバー] を選択して、表示または非表示にするツールバーをクリックします。
メニュー内のツールバーナーの横にあるチェック マークは、そのツールバーが表示されていることを示します。



特定のツールバーを非表示にするには、そのタイトルバーの [閉じる] ボタン をクリックします。

[F2] を押して、フロート パレットを表示または非表示にします。

ツールを使う

ツールを使用して、様々な画像編集とクリエイティブな作業を実行することができます。ポインタをボタンの上に置くと、ツールヒントにツールの名前とショートカット キーが表示され、ステータスバーにはツールの使用のヒントが表示されます。

調整ワークスペースには画像を簡単に修正するツールがあまりありません。編集ワークスペースには画像の作成から編集ツールまで多数の高度なツールがあります。編集ワークスペースには、[ツール] ツールバー上に専用の領域を持つツールもあります（トリミング、移動、テキストなど）。しかしほんどのツールは、似たタスクを実行するツール同士でグループ化されています。ツールのグループは、使用中のツールの右側の小さなポップアップ矢印で表されます。



一部のツールはポップアップでグループ化されています。ポップアップの中のツールには、アクティブツールの横に表示されるポップアップ矢印をクリックすると、アクセスできます。

編集ワークスペースの [ツール] ツールバーの移動、表示 / 非表示に関する詳細については、ページ 21 の「ツールバーを使う」を参照してください。

以下の表で、編集ワークスペースの [ツール] ツールバーにある各ツールを説明します。これらのツールの一部は調整ワークスペースでも使用できます。

ツール	説明
パン	画像ウィンドウに表示する画像の部分をコントロールすることができます。
ズーム	クリックで拡大、右クリックで縮小します。ドラッグして拡大する領域を決定できます。
ピック	ラスタ レイヤーを移動、回転、形状変更します。または、ベクタ オブジェクトを選択、変更します。
移動	キャンバス上のラスタ レイヤーまたはベクタ レイヤーを移動します。
選択範囲	幾何学的な形状の選択範囲を作成します(矩形、楕円、三角形など)。
自由選択	不規則な形状の選択範囲を作成します。
自動選択	特定の許容レベル内のピクセル値を基準にして選択を行います。
色の選択	前景/枠線の色(左クリック)または背景/塗りつぶす色(右クリック)を選択します。
トリミング	不要なエッジをトリミングまたは消去します。
傾き補正	傾いた写真を回転させて傾きを補正します。
遠近補正	傾いて見える建物などのオブジェクトの遠近を補正します。
赤目	写真でよく見られる赤目をすばやく補正します。
メークオーバー	シミ補正、歯ブラシ、色の選択、日焼け、スリムの 5 つのモードで写真の被写体に顔の見栄えをよくする修整を適用します。
クローン	画像の別の部分で上から重ねてペイントすることで、傷やオブジェクトを除去することができます。
スクラッチ除去	デジタル写真からシワや線などの線状の欠陥を除去したり、スキャンした写真からスクラッチを除去します。
オブジェクト除去	同じ写真内の隣接するテクスチャを使用して、写真の不要な要素にブラシをかけます。
ペイントブラシ	色、テクスチャ、グラデーションで画像をペイントします。
エアブラシ	エアブラシやスプレーでペイントする効果を適用します。
ライト/ダーク	ドラッグした領域を明るく(左クリック)したり、ドラッグした領域を暗く(右クリック)します。この効果は、[覆い焼き]、[焼き込み]ツールより強力です。
覆い焼き	写真的領域を明るく(左クリック)したり、暗く(右クリック)します。
焼き込み	写真的領域を暗く(左クリック)したり、明るく(右クリック)します。
にじみ	クリック アンド ドラッグして、新しい色でピクセルをにじませます。または、右クリック アンド ドラッグして、新しい色なしでピクセルをプッシュします。

ツール	説明
プッシュ	クリック アンド ドラッグして、新しい色を選択せずにピクセルをプッシュします。または、右クリック アンド ドラッグして、新しい色を選択してピクセルをにじめます。
ソフトネス	ドラッグしたピクセルをソフトに(左クリック)したり、ドラッグしたピクセルをシャープに(右クリック)します。
シャープネス	ドラッグしたピクセルをシャープに(左クリック)したり、ドラッグしたピクセルをソフトに(右クリック)します。
エンボス	ドラッグした色を抑え、端をトレースして、エンボス効果を作成します。
彩度	色を鮮やかにしたり(クリックしてドラッグ)、色の鮮やかさを減らします(右クリックしてドラッグ)。
色相	ピクセルの色相を上げたり(クリックしてドラッグ)、下げます(右クリックしてドラッグ)。
ターゲット	細部を維持したままピクセルに色を付け直します。
カラー消しゴム	クリックまたはドラッグすると背景/内部の色が前景/枠線の色に置き換えられ、右クリックまたはドラッグすると前景/枠線の色が背景/内部の色に置き換えられます。
消しゴム	ラスター レイヤーのピクセルを消去して透明にします。
背景消しゴム	維持する領域のエッジの周囲を写真から消去します。
塗りつぶし	類似した許容レベルのピクセルを塗りつぶします。塗りつぶしには、左クリックで現在の前景/枠線のマテリアルを使用し、右クリックで現在の背景/内部のマテリアルを使用します。
カラー チェンジャー	元の色のシェーディングと明度を保持したまま、オブジェクトの色を変更します。
ピクチャチューブ	ピクチャチューブ(主題に基づくアーティスティックな要素)を画像に配置します。
テキスト	画像にテキストを配置します。
図形	あらかじめ定義された図形(吹き出し、矢印、星形など)を画像に追加します。
矩形	長方形または正方形を作成します。
楕円	楕円または円を作成します。
対称図形	対称または星型のオブジェクトを作成します。
ペン	連結している線分、連結していない線分、フリーハンド曲線、ベジエ曲線の線分を描画します。
ワープ ブラシ	ピクセルを縮小、拡大、回転、歪ませます。
メッシュ ワープ	点をオーバレイ グリッドに沿ってドラッグして写真を歪めます。
油彩ブラシ	アート メディア レイヤーで油彩ブラシストロークを再現します。
チョーク	アート メディア レイヤーでチョークの描画を再現します。

ツール	説明
 パステル	アート メディア レイヤーでパステルの描画を再現します。
 クレヨン	アート メディア レイヤーでクレヨンの描画を再現します。
 色鉛筆	アート メディア レイヤーでカラー鉛筆の描画を再現します。
 マーカー	アート メディア レイヤーでインク マーカーの描画を再現します。
 水彩画ブラシ	アート メディア レイヤーで水彩画ブラシ ストロークを再現します。
 パレット ナイフ	アート メディア レイヤーで(ブラシの代わりに)ナイフを使用した油彩ペイントを再現します。
 にじみ	アート メディア レイヤーに適用したすべての色素の種類をにじませます。
 アート消しゴム	アート メディア レイヤーに適用したすべての色素の種類を消去します。

はじめに

さまざまな方法で Corel PaintShop Pro に画像を取り込むことができます。転送した写真をコンピューターへインポート、画像をアプリケーションに直接スキャン、コンピューター画面から画像をキャプチャすることができます。または画像を作成することができます。

アプリケーションに画像を取り込んだら、さまざまな基本的コマンドを使用して画像や画像情報を表示することができます。切り取り、コピー、元に戻す、繰り返しなどの基本操作を使用します。

基本操作については、ヘルプの「Corel PaintShop Pro を初めて使う」を参照してください。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- Corel PaintShop Pro に写真を取り込む
- 画像を開く / 閉じる
- 画像の保存
- 画像を削除する

Corel PaintShop Pro に写真を取り込む

写真をコンピュータに転送して (Windows か、カメラのソフトウェアを使用して)、写真を Corel PaintShop Pro にインポートします。フォルダーを参照して写真をインポートします。フォルダー内の写真は、データベース内で自動的にカタログ化されます。これによって、写真情報の検索、編集、更新を簡単に行うことができます。

いずれかのワークスペースからフォルダーを参照することができますが、管理ワークスペースは複数の写真のレビューおよび管理用にデザインされています。

写真を Corel PaintShop Pro にインポートするには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックし、[別のフォルダーを参照] をクリックします。
- 2 [フォルダーの参照] ダイアログ ボックスで、必要なフォルダーへ移動します。
- 3 [OK] をクリックします。

フォルダーはフォルダー リストへ追加され、すべての画像はアプリケーション データベースでカタログ化されます。



オーガナイザーパレットから [ナビゲーションを表示 / 非表示] ボタン をクリックして、いずれかのワークスペースからナビゲーションパレットを開きます。

画像を開く / 閉じる

ほとんどの画像フォーマットを Corel PaintShop Pro で開くことができます。メニュー バーを使用するか、管理ワークスペースを使用して画像を開くことができます。JPEG、TIF、PNG といった特定のファイル形式を Corel PaintShop Pro に関連付けて、それらをダブルクリックした際に、ファイルが Corel PaintShop Pro で開くようにできます。ファイル形式の関連付けとサポートされているファイルタイプについては、ヘルプの「ファイル形式の関連付けを設定する」および「Corel PaintShop Pro でサポートされているファイル」を参照してください。RAW ファイルの詳細については、ページ 51 の「サポートされる RAW ファイル形式」を参照してください。

画像を開くには

編集ワークスペース

- [ファイル] ▶ [開く] を選択します。
- [ファイルの場所] ドロップリストから、ファイルが保存されているフォルダーを選択します。
- 開くファイルの名前をクリックします。
複数のファイルを開く場合は、Ctrl キーを押したままファイル名をクリックします。
- [開く] をクリックします。

目的

画像の情報を表示する

[ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、ファイル名をクリックし、[詳細] をクリックします。

プレビュー エリアにサムネイルを表示する [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、[プレビュー表示] チェック ボックスをチェックします。

管理ワークスペースから画像を開くには

管理ワークスペース

- サムネイルをクリックしてファイルを選択します。
別のフォルダーのサムネイルを表示するには、ナビゲーションパレットにある [別のフォルダーを参照] をクリックし、表示される [フォルダーの参照] ダイアログ ボックスから、必要なフォルダーを選択します。フォルダーが [フォルダー] リストに表示されます。
管理ワークスペースでファイルを使用するか、[調整] タブまたは [編集] タブをクリックして別のワークスペースでファイルを編集することができます。

RAW 写真画像を開くには

編集ワークスペース

- 次のいずれかの操作を行います。
 - [ファイル] ▶ [開く] を選択します。
 - RAW 画像のサムネイルをダブルクリックします。
 - Ctrl キーを押したまま、複数開くファイルのファイル名またはサムネイルをクリックします。
- カメラ RAW ラボ ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスでは、RAW 写真ファイルと共に保存される設定を調整できます。

画像を閉じるには

- ・ [ファイル] ▶ [閉じる] を選択します。



編集ウィンドウで、画像の上の [閉じる] ボタン をクリックして画像を閉じることができます。

画像の保存

画像を保存する前に、どのファイル形式で保存するかを検討します。また、後で必要になる可能性があるため、元の画像は上書きしないようにします。

Corel PaintShop Pro の PsplImage ファイル形式は、画像の作成に使用するレイヤー、アルファ チャネルなどの機能に対応します。画像は「PsplImage」のファイル形式で保存して編集することをお勧めします。その後、ファイルを一般的なファイル形式に保存できます。また、ページ レイアウト アプリケーション、電子メール アプリケーション、Web ページ デザイン アプリケーションなどの別のアプリケーションで使用するために画像を最適化する場合は、[Office 用に保存] コマンドを使用します。

画像を保存するときに使用できるオプションについては、ヘルプの「画像を保存する」を参照してください。

重要！ [元の画像の自動保持] 設定を使用すると、元の画像が上書きされないようにできます。既定では、この機能はオンになっています。この設定に関する詳細については、ヘルプの「自動保持の設定を行う」を参照してください。

新しい画像を保存するには

編集ワークスペース

- 1 [ファイル] ▶ [保存] を選択します。

[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 [保存する場所] ドロップリストから、ファイルの保存先フォルダーを選択します。

- 3 [ファイル名] フィールドにファイルの名前を入力します。

- 4 [ファイルの種類] ドロップリストでファイル形式を選択します。最も頻繁に使用される形式が最初に表示されます。

ファイル形式の既定設定を変更する場合は（例えば、圧縮または色のプロファイル）、[オプション] をクリックして必要な設定選択します。

- 5 [保存] をクリックします。



[標準] ツールバーで [名前を付けて保存] ボタン をクリックしても、現在のファイルを上書きしないで作業を保存することができます。

[ファイル] ▶ [環境設定] ▶ [全般の設定] を選択して、左側のリストで [表示とキャッシュ] をクリックすると、最後に使用したファイル形式で保存することができます。[表示] グループ ボックスで、[保存時に指定したファイル タイプを次回も使う] チェック ボックスを選択します。

作業を保存するには

編集ワークスペース

- [ファイル] ▶ [保存] を選択します。

[元の画像の自動保持] 設定が有効になっており、画像に加えた変更を初めて保存しようとしている場合は、編集前の元の画像のコピーを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[元の画像の自動保持] が有効になっていない場合は、元の画像が変更後の画像で上書きされます。



[名前を付けて保存] コマンドを使用すると、現在のファイルが上書きされないようにできます。



[標準] ツールバーで [保存] ボタン をクリックしても、作業を保存できます。

画像を削除する

オーガナイザーパレットを使って画像を削除することができます。

画像を削除するには

編集ワークスペース

- オーガナイザーパレットでサムネイルを右クリックして、コンテキストメニューから [削除] を選択します。

写真のレビュー、整理、検索

管理ワークスペースは、簡単に写真編集の作業の流れをプレビュー、整理、簡素化できる多機能デジタル画像管理機能です。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- 管理ワークスペースを設定する
- フォルダーで写真を検索する
- コンピューターから画像を検索する
- 保存した検索を使用する
- 画像にキーワードタグを追加する
- タグ別に写真を表示する
- カレンダーを使用して画像を検索する
- 写真から人物を検索する
- 場所情報を追加する
- 管理ワークスペースでサムネイルを使用する
- 編集を取得して複数の写真に適用する
- 写真情報を表示および編集する
- クイックレビューを使用して写真をレビューする
- トレイを使用する

管理ワークスペースを設定する

Corel PaintShop Pro を初めて起動すると、管理ワークスペースが以下の 4 つのコンポーネントからなるメイン ワークスペースとして表示されます。ナビゲーションパレット、プレビュー領域、オーガナイザーパレット、および情報パレット。これらのパレットの詳細については、ページ 16 の「管理ワークスペース」を参照してください。

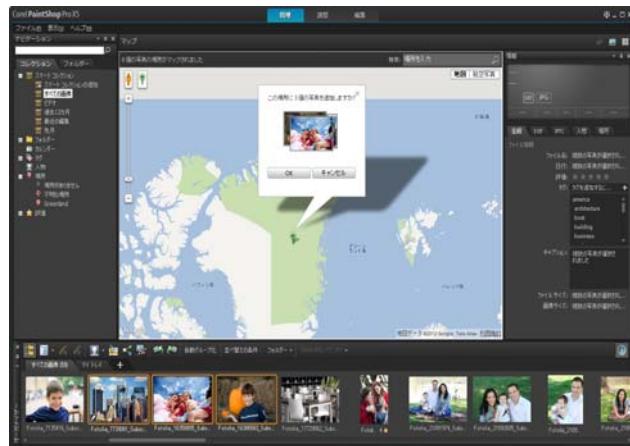


プレビュー モードの管理ワークスペース

必要に応じて、管理ワークスペースは、プレビュー モード、サムネイル モード、またはマップ モードを選択し、各パレットのサイズ変更、移動、または非表示にして、表示やファイル設定を選択してカスタマイズできます。詳細については、ヘルプの「管理ワークスペースの環境設定を行う」を参照してください。



サムネイル モードの管理ワークスペース



マップモードの管理ワークスペース

プレビュー モード、サムネイル モード、マップ モードを切り替えるには

- 管理ワークスペースの右上隅にある次のボタンのいずれかをクリックします。
 - ・**プレビュー モード** – 1つの画像を大きなプレビュー領域で表示します
 - ・**サムネイル モード** – プレビュー領域のオーガナイザーパレットのコンテンツを拡張およびロックします
 - ・**マップ モード** – 写真を特定の場所に合わせることができるマップを表示します

写真の地理的タグ付けの詳細については、ヘルプの「場所情報を追加する」を参照してください。

ナビゲーションパレットと情報パレットを表示/非表示にするには

管理ワークスペース

- オーガナイザーパレットで、オーガナイザーツールバーの以下のいずれかのボタンをクリックします。
 - ・**ナビゲーションを表示/非表示** – ナビゲーションパレットの表示/非表示を切り替えます。
 - ・**画像情報** – 情報パレットの表示/非表示を切り替えます。



オーガナイザーパレット(またはいずれかのパレット)を最小化するには、パレットタイトルバーの[自動的に隠す]ボタン をクリックすると簡単に行えます。詳細については、ヘルプの「ツールバーやパレットをロールアップするには」を参照してください。

フォルダーで写真を検索する

ナビゲーションパレットの [コレクション] タブと [コンピューター] タブを使用して、コンピューターから写真を検索します。

- [コレクション] タブは仮想または実際のフォルダーのライブラリです。お気に入りの写真を簡単に検索することができます。
- [コンピューター] タブは、ハードドライブとデスクトップのすべてのフォルダーを一覧表示します。

ナビゲーションパレットのフォルダーを選択すると、フォルダー内の写真がオーガナイザーパレットにサムネイルとして表示されます。フォルダーを開くと、フォルダー内のコンテンツは Corel PaintShop Pro にインポートされます。詳細については、ページ 25 の「Corel PaintShop Pro に写真を取り込む」を参照してください。

フォルダー内の写真を表示するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、以下のいずれかのタブをクリックします。
 - コレクション – カタログ化されたフォルダーのカスタムリストと仮想コレクションのリストを表示します。
 - コンピューター – コンピューター内のすべてのフォルダーと装置のリストを表示します。
- 2 フォルダーをダブルクリックして含んでいるサブフォルダーを表示します。
- 3 表示する写真を含んでいるフォルダーをクリックします。
選択したフォルダー内のサポートされている写真やビデオファイルすべてのサムネイルが、オーガナイザーパレットに表示されます。



また、フォルダーのサブフォルダーのリストは、その名前の隣のマイナス記号をクリックして非表示にすることもできます。

コレクションページにフォルダーを追加するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 フォルダーリストで、[別のフォルダーを参照] アイコン をクリックします。
[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 表示する画像が含まれたフォルダーに移動して、[OK] をクリックします。
そのフォルダーがフォルダーのリストに追加されます。



さらに、[フォルダーの参照] ダイアログボックスで [新しいフォルダーの作成] ボタンをクリックして、コンピューター内に新しいフォルダーを作成します。

カタログ化されたすべてのフォルダーを表示するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 スマートコレクションリストで、[すべての画像] ボタン をクリックします。

コンピューターから画像を検索する

ナビゲーションパレットから写真を移動して Corel PaintShop Pro に取り込む場合は、自動的にカタログ化されます。カタログ化された画像は、[検索] ボックスから簡単に速く検索することができます（リアルタイム フィルタリング）。単純なテキストベースの検索、高度な検索オプションを使用して、またはカレンダーを使用して特定の日付や日付の範囲に関連付けられた画像を検索することができます。

詳細検索を実行した場合は、スマートコレクションとして検索ルールと結果を保存することができます。

画像をすばやく検索するには

管理ワークスペース

- ナビゲーションパレットで、[検索] ボックスに検索用語を入力します。



オーガナイザー パレットに検索結果が表示されます。

注意：検索する文字列には、ファイル名（拡張子を含む）、画像が保存されているフォルダーの名前（ドライブ文字を含む）、タグ、キャプションのテキスト、または画像のメタデータ（EXIF データまたは IPTC データ）を使用できます。



画像に割り当てることができるタグの詳細については、ページ 34 の「画像にキーワード タグを追加する」を参照してください。キャプションのテキストと画像のメタデータの詳細については、ページ 45 の「写真情報を表示および編集する」を参照してください。

高度な検索機能を使用するには

管理ワークスペース

- ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- [スマートコレクション] をダブルクリックしてリストを開き、[スマートコレクションの追加] をクリックします。
[スマートコレクション] ダイアログ ボックスが表示されます。
- [一致する画像の検索] ドロップリストで、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - [すべて] – 指定したすべての規則に一致する画像を検索します
 - [不特定] – 指定した規則のいずれかに一致する画像を検索します
- 左側の最初のドロップリストで、次の検索オプションを選択します。
- 次のドロップリストから、オプションを選択して、さらに検索を絞り込みます。
ドロップリストに表示されるオプションは、前のドロップリストで選択した検索オプションによって異なります。
- テキスト フィールドに、検索用語を入力するか選択します。
- [プレビュー] をクリックします。
オーガナイザー パレットに検索結果が表示されます。

保存した検索を使用する

スマートコレクションとして検索条件のカスタム セットを保存すると、[コレクション] タブでこの検索条件をクリックするだけで、もう一度この検索を実行できます。また、保存した検索の変更、名前の変更、削除を行うこともできます。

保存した検索を実行するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 [スマートコレクション] をダブルクリックしてリストを開きます。
- 3 検索に使用するスマートコレクションをクリックします。

画像にキーワードタグを追加する

キーワードタグを使用すると、説明的で自然な言語の条件を画像に割り当てるすることができます。「家族」、「子供」、「誕生日」などのタグを作成してリストから目的のタグをクリックするだけでタグに関連する写真のサムネイルをすばやく表示して、特定の写真を簡単に特定できるようにします。作成したタグはタグカタログに保存され、[ナビゲーション] パレットからアクセスできます。画像にはタグをいくつでも作成して割り当てることができます。

タグカタログにキーワードタグを追加するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 [タグ] をダブルクリックしてリストを開きます。
- 3 [タグ] リストで、[タグを追加] ボタン  をクリックします。
[タグを追加] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 タグのテキストを入力して [OK] をクリックします。
新しいタグが [タグ] リストに表示されます。

タグカタログからキーワードタグを削除するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 [タグ] をダブルクリックしてリストを開きます。
- 3 タグを右クリックし、[削除] を選択します。

1つ以上の画像にキーワードタグを割り当てるには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 [タグ] をダブルクリックしてリストを開きます。
- 3 オーガナイザー パレットで、タグを割り当てる画像のサムネイルを選択します。
- 4 サムネイルを [タグ] リストにドラッグします。



また、情報パレットの全般ページの [タグ] ボックスにテキストを入力し、テキスト フィールドの右側の [タグを追加] ボタン をクリックして、選択したサムネイルにタグを割り当てることができます。

1つ以上の画像からキーワード タグを除去するには

管理ワークスペース

- 1 オーガナイザー パレットで、サムネイルを選択します。
- 2 情報パレットで、[全般] タブをクリックしてタグ情報を表示します。
- 3 [タグ] ボックスの下に表示されているリストで、削除する 1 つまたは複数のタグをクリックし、タグ名の右側に表示されている [タグの削除] ボタン をクリックします。



[情報] パレットが表示されない場合は、[オーガナイザー] ツールバーで [画像情報] ボタン をクリックします。

タグ別に写真を表示する

画像にタグを割り当てたら、タグをクリックするだけで画像を検索できるようになります。

タグ別に写真を表示するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 [タグ] をダブルクリックしてリストを開きます。
- 3 タグをクリックします。

タグに関連する写真が、オーガナイザー パレットにサムネイルとして表示されます。



ナビゲーションパレットの上部にある [検索] ボックスにタグ名を入力することもできます。タグリスト内の [タグなし] ボタン をクリックして、タグのない写真を表示することもできます。

カレンダーを使用して画像を検索する

[カレンダーの検索] は撮影された日付に該当する写真を検索します。特定の日付で選択することも、日付の範囲を選択することもできます。画像の作成日がカレンダー上に強調表示されます。

注意：写真を編集して保存した場合は、カレンダーの検索では変更日も取得されます。

カレンダーを使用して画像を検索するには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーションパレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 [カレンダー] ボタン をクリックします。

[カレンダーの検索] ダイアログ ボックスが表示されます。赤色で表示されている日付は、その日付に作成された画像を示します。

- 3 次のいずれかのオプションを選択します。
 - 今日撮影された写真の場合は、[今日] ボタン  をクリックします。
 - 特定の日と月の場合は、[前の年]/[前の月] ボタン   と [次の月]/[次の年] ボタン   をクリックして、日付を選択します。
 - 日付の範囲で検索する場合は、[前の年]、[前の月] ボタンや [次の月]、[次の年] ボタンを使用して、年と月を選択し、Shift キーを押しながら範囲の最初の日付をクリックしてから、最後の日付をクリックします。
 - 連続していない複数の日付で検索する場合は、[前の年]、[前の月] ボタンや [次の月]、[次の年] ボタンを使用して年と月を選択し、Ctrl キーを押しながら日付をクリックします。

日付または日付の範囲をクリックすると、オーガナイザー パレットに日付検索条件に一致した写真のサムネイルが表示されます。

- 4 [閉じる] ボタンをクリックして [カレンダーの検索] ダイアログ ボックスを閉じます。

写真から人物を検索する

写っている人物によって写真を分類すると、写真の素晴らしい整理方法になります。写真に写っている人物をタグ付けする方法は 2 つあります。

- [顔認識] – 顔の特徴を分析し、参照写真を使用して、考えられる一致のリストを作成します。類似の特徴を持った人物は、グループ分けされ、写真から人物を特定し易くします。同一人物のすべての写真が 1 つのグループになるまで、グループ間で写真を移動できます。その後で、グループに名前を入力すると、その人物の名前があるグループのすべての写真を自動的にタグ付けします。
- [手動タグ付け] – 写真の中の人物を手動でタグ付けできます。人物の名前で、同じ写真、タグ オブジェクトまたは写真の他の領域に複数のタグを付けて、写真をアップロードすると通知を受け取るようにできます。

共有サイトから友だちのリストをインポートする

Facebook や Flickr などの共有サイトから友だちのリストをインポートして、あなたの写真の中の名前を、共有サイトからの名前とリンクできます。Corel PaintShop Pro 内のローカル タグが、共有サイトのタグにリンクされると、写真がサイトにアップロードされると、写真に写っている人物は自動的に通知を受けます。彼らに再びタグ付けする必要はありません！

人物で写真を並べ替えるには

管理ワークスペース

- 1 ナビゲーション パレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 並べ替える画像が入ったフォルダーに移動します。
- 3 [オーガナイザー] パレットで、[オーガナイザー] ツールバーの [人物を検索] ボタン  をクリックし、次のオプションのいずれかを選択します。
 - 選択した写真をスキャン
 - 現在のフォルダーをスキャン
 - サブフォルダーも探す

写真が選択されていない場合は、顔認識はフォルダー全体に適用されます。

顔認識を実行すると、写真が人物のグループに分類され、「無題」のフォルダーに配置されます。

- [管理] ワークスペースがサムネイル モードではない場合は、グループを表示する [管理] ワークスペースの右上隅にある [サムネイル モード] ボタン をクリックします。
- 写真の一番多いグループが最初にリストされます。各グループ内では、一番新しい写真が最初に表示されます。一枚の写真にのみ現われる人物は、グループ解除と呼ばれるグループに分類されます。
- グループのタイトルバーをクリックして、グループの名前を入力します。
グループのすべての写真は、その名前がタグ付けされます。



顔認識の精度を向上するには、同じ人物のはっきりと撮影された写真を 10 枚選んで、これらの写真で顔認識を最初に実行します。これらの基準写真は、その人物の将来の顔一致精度を向上します。



グループの名前を入力すると、そのグループは、「無題」フォルダーから [ナビゲーション] パレットの新しく名付けられたフォルダーに移動されます。

共有サイトから友だちのリストをインポートするには

管理ワークスペース

- ナビゲーション パレットで、[コレクション] タブをクリックし、人物のリストで名前をクリックします。
- [リンク タグ] 領域で、友だちのリストのインポート元になる共有サイトのアイコンをクリックします。
現在、共有サイトにログインしていない場合は、Corel PaintShop Pro がサイトにアクセスできるようするため、サイトへのログインを求められます。

人物を手動でタグ付けするには

管理ワークスペース

- [プレビュー] モードで、タグ付けする写真を選択します。
- [情報] パレットの [人物] タブで、[人をタグ付けする] をクリックします。
前のウィンドウの写真の中央に正方形のフレームが表示されます。
- [これは誰ですか?] ボックス内をクリックします。
名前ピッカーが表示され、ローカル名前リストとともに、インポートした共有サイトの連絡先が表示されます。
- 次のいずれかの操作を行います。
 - ボックスに名前を入力して、[新しい人を追加] をクリックします。

- 名前のローカル リストから名前を選択します。
- 共有サイト タブをクリックして、リストから名前を選択します。

場所情報を追加する

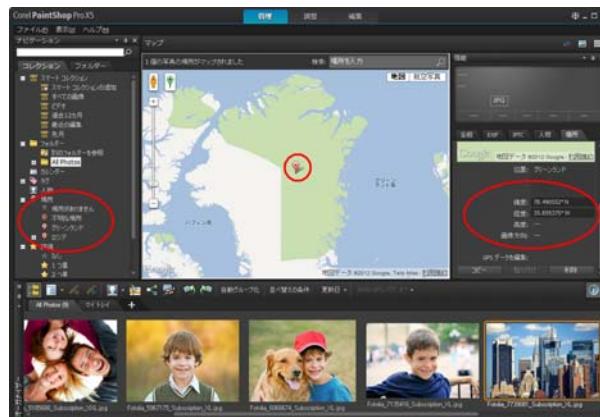
写真が撮影された場所についての情報を追加するには、いくつかの方法があります。

- [自動] – カメラやスマートフォンに GPS が搭載されている場合は、撮影した各写真の経度と緯度が自動的に記録され、その情報が写真とともにインポートされます。
- [手動] – マップ上で特定の場所を探すか、場所をインタラクティブに選択して、場所情報を [マップ] モードに手動で追加できます。
- [他の写真から場所情報をコピーする] – ある写真から場所情報をコピーして、別の写真に貼り付けることができます。これは、スマートフォンを使って写真を取り、場所情報をコピーして、同じ場所で撮影した複数の写真に貼り付ける場合に便利です。
- [Facebook チェックイン ポイントから] – Facebook チェックイン機能を使用すると、チェックインの場所を写真と一致させることができます。
- [GPS デバイスから] – ご使用のカメラが場所データを記録しない場合は、独立した GPS デバイスやスマートフォンのアプリを使用してカメラのタイム ゾーンに同期させると、あなたが移動して写真を撮る経度と緯度を追跡することができます。さらに、GPS デバイスのデータを KML ファイルにインポートすることができます。KML は、Google マップやその他のアプリケーションに表示できる地理データの保存のための標準的なファイル形式です。

写真に場所情報をタグ付けすると、インタラクティブなフォトムービーを作成して、オンラインで共有することができます。詳細については、ページ 132 の「[マップビューで写真を共有] プロジェクトを作成する」を参照してください。

場所情報を表示する

場所を写真に割り当てるとき、位置マーカーが [マップ] モードのマップに表示され、タグ付けされた写真のサムネイルに追加されます。場所情報は [ナビゲーション] パレットと [情報] パレットにも表示されます。



[マップ] モードでは、場所情報をインタラクティブ マップ(中央)、[ナビゲーション] パレット(左)、[情報] パレット(右)に表示できます。

- ナビゲーションパレット** – タグ付けされた写真は [場所] フォルダーの場所によって整理され、国、地域、都市、道路の階層構造に従います。マップに照合できない場所情報を持った写真は、「不明な場所」フォルダーにリストされます。このような写真は、手動による操作や、インポートによる場所データのマッチングによってタグ付けできます。写真はタグ付けされると、場所に対応するフォルダーに移動されます。
- 情報パレット** – 場所情報は [場所] タブに表示されます。マップに位置マーカーを表示できます。また、対応する場所の名前が下の [場所] ボックスにリストされます。情報パレットも編集可能な経度と緯度情報を表示します。

マップモードは Google マップと一体化しており、ズームインやズームアウト、Google ストリートビューなどのさまざまな表示オプションを提供しています。使用できるオプションの詳細については、Google マップヘルプを参照してください。



マップモードは、Google マップのすべての標準的機能を提供しています。1) 黄色のペグマンをマップにドラッグして、ストリートビューを有効化する、2) スライダーのドラッグによるズームインとズームアウト、3) 場所の検索、4) マップビューの選択、を行なうことができます。

また、場所による写真の並べ替えや、場所情報の写真からの削除が行えます。

プライバシーの注意 : 共有サイトは異なる方法で場所情報を無効にします – 一部のサイトでは情報を削除たり、情報を非表示にする（しかし、存在している）場合があります。Corel PaintShop Pro を使用すれば、家庭、学校、職場などの公開したくない情報を含んだ写真をアップロードする前に、場所情報を削除できます。

マップモードに切り替えるには

管理ワークスペース

- [管理] ワークスペースの右上隅にある [マップモード] ボタン をクリックします。



選択した写真に場所情報がすでに含まれている場合は、マップのズームレベルが既存のすべての位置マーカーに合うように調整されます。写真が選択されていない場合は、マップは現在のフォルダーに関連付けられたすべての場所を表示します。

写真が 1 枚選択されており、写真に方向情報が含まれている場合は、マップは既定の Google ストリートビューを表示します。

管理ワークスペースの異なるモードについての詳細は、ページ 30 の「管理ワークスペースを設定する」を参照してください。



マップ上で位置マークをクリックすると、その場所で写真にタグ付けされた情報が表示されます。

場所情報を手動で追加するには

管理ワークスペース

- 1 ワークスペースがマップモードでない場合は、[管理] ワークスペースの右上隅にある [マップモード] ボタン をクリックします。
 - 2 オーガナイザーパレットで、特定の場所にタグ付けするすべての写真を選択します。
写真が選択されていない場合は、場所タグは現在のフォルダーにあるすべての写真に追加されます。
 - 3 次のいずれかの操作を行います。
 - 検索ボックスに場所の名前の入力を始めると、表示されるリストから場所を選択します。
 - [場所を追加] ボタン をクリックしてから、マップの上を直接クリックして、選択した写真に選んだ場所をタグ付けします。
 - [情報] パレットの [場所] タブで、ボックスに経度と緯度を入力します。このオプションは、マップ、サムネイル、プレビューの各モードで使用できます。
- 位置マークがマップに追加され、また、タグ付けされた各写真の右下隅にもマークが表示されます。



写真を 21 枚以上選択すると、確認のダイアログ ボックスが表示されます。選択した写真をすべてタグ付けするには、[はい] をクリックします。

場所情報をコピーして、貼り付けるには

管理ワークスペース

- 1 場所情報のコピー元の写真を選択します。
- 2 情報パレットで、[場所] タブをクリックし、[コピー] をクリックします。
- 3 コピーした情報の適用先となる写真を 1 枚または複数枚選択します。
- 4 情報パレットで、[貼り付け] をクリックします。

[場所] タグが写真に追加されます。

場所情報をインポートするには

- 1 場所情報をインポートする写真を選択します。
- 2 [場所情報をインポート] ボタン をクリックします。
- 3 [場所情報をインポート] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを有効にします。
 - Facebook チェックイン リストから場所情報をインポートします。
 - GPS トラッカーから場所データをインポートします (KML ファイル)。

GPS トラッカーからデータをインポートする場合は、[インポート] をクリックし、使用する KML ファイルを指定します。タイムゾーン リストからオプションを選択します。

4 [追加] をクリックします。



選択した写真に場所情報がすでに含まれている場合は、ダイアログ ボックスが表示され、既存の情報を優先するか、インポートしたデータで置き換えるかを選択するように求められます。

KML データが写真に一致しない場合は、警告が表示されます。

場所情報が RAW ファイルに追加される場合は、情報はアプリケーションにのみ保存され、ファイルは変更されません。



[詳細] タブをクリックすると、選択した場所についてのマップとその他の詳細を表示できます。

場所で写真を並べ替えるには

管理ワークスペース

- 1 サムネイル モードで、[オーガナイザー] ツールバーの [並べ替えの条件] ドロップリストをクリックします。
- 2 [場所] 並べ替えオプションをクリックします。

選択した写真は、国、地域、都市、道路によって並べ替えられ、一番最近の場所が各グループ内で最初にリストされます。

場所情報を削除するには

管理ワークスペース

- 1 場所のタグを削除する写真を選択します。
- 2 情報パレットで、[場所] タブをクリックし、[削除] をクリックします。

選択した写真から場所情報が削除されます。

管理ワークスペースでサムネイルを使用する

管理ワークスペースでは、サムネイルを使用して写真をプレビューして整理することが簡単に行えます。

写真の表示が大きすぎる場合は、[プレビュー] モードを使用してサムネイルを拡大縮小するか、[クリック レビュー] を使用してフルスクリーン モードで写真を表示します。名前、評価、日付などの条件でサムネイルを並べ替えできます。また、サムネイルを使用して写真を回転したり、ファイルの削除や名前の変更も行えます。

複数画像の撮影では、[自動グループ化] や [RAW/JPG ペア] を使用すると、プラケット設定や JPEG+RAW ファイルペアに基づいて、サムネイルをグループ化したり、表示できます。

サムネイルでは、[編集の取得] と [編集の適用] を使用して複数の写真を編集することができます。詳細については、ページ 44 の「編集を取得して複数の写真に適用する」を参照してください。

さらに、RAW ファイルのサムネイルを選択して、ファイルを別の形式へ変換することができます。詳細については、ページ 53 の「RAW 写真を別のファイル形式に変換する」を参照してください。

管理ワークスペースで画像をプレビューするには

- オーガナイザー パレットで、サムネイルをクリックします。
プレビュー モードになつてない場合は、アプリケーション ウィンドウの右上隅にある [プレビュー モード] ボタン  をクリックします。
プレビュー領域に写真が表示されます。

目的

キーボードを使用して、プレビュー領域に [左矢印] または [右矢印] キーを押します。

次の画像や前の画像を表示する

フルスクリーン モードで画像をプレ
ビューする

[表示] ▶ [全画面表示] をクリックするか、サムネイルをダブルク
リックして [クイック レビュー] を開きます。詳細については、
ページ 47 の「クイック レビューを使用して写真をレビューする」
を参照してください。

サムネイルを拡大または縮小するには

- 管理ワークスペースがサムネイル モードでない場合は、[サムネイル モード] ボタン  (管理ワー
クスペースの右上隅にある) をクリックします。
- オーガナイザー ツールバーで、[ズーム] スライダーを左に移動して縮小するか、右に移動して拡大
します。



管理ワークスペースが [プレビュー] モードになつている場合には、[ズーム] スライダーは使用で
きません。

サムネイルを並べ替るには

管理ワークスペース

- オーガナイザー ツールバーで、[並べ替えの条件] ドロップリストをクリックします。
- 並べ替えオプションを選択します。

撮影時刻に基づいてサムネイルをグループ化するには

- オーガナイザー ツールバーで、[自動グループ化] をクリックして、時間間隔を設定します。
時間間隔内にキャプチャされた写真が集合として表示されます (集合の間に区切りが表示されます)。

RAW ペアと JPEG ペアの表示方法を制御するには

- オーガナイザー ツールバーで、[RAW/JPG ペア] ボタンをクリックして、次のオプションのいずれか
を選択します。
 - [オン - JPG バージョンを表示] – サムネイルとして JPEG バージョンを表示し、RAW バージョンを
非表示にします
 - [オン - RAW バージョンを表示] – サムネイルとして RAW バージョンを表示し、JPEG バージョン
を非表示にします
 - [オフ] – RAW と JPEG バージョンの両方のファイルにサムネイルを表示します



RAW//JPG ペアオプションがオンになると、サムネイルが削除される場合は、両方のバージョンのファイルはごみ箱に移されます。

複数のサムネイルを選択するには

管理ワークスペース

- 次のいずれかの操作を行います。
 - 隣接するサムネイルを選択するには、**Shift** キーを押しながら、サムネイル順の最初と最後のサムネイルをクリックします。
 - 隣接していないサムネイルを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら選択するサムネイルをクリックします。

サムネイルからビデオを再生するには

管理ワークスペース

- 管理ワークスペースがサムネイル モードでない場合は、[プレビュー モード] ボタン (管理ワークスペースの右上隅にある) をクリックします。
- オーガナイザーパレットで、ビデオサムネイルをクリックします。
- プレビュー領域の下にある [再生] ボタン をクリックします。



ビデオサムネイルの例



ビデオからフレームを抽出して画像として保存するには、[一時停止] ボタンをクリックして保存するフレームのビデオを停止して、[キャプチャ] ボタン をクリックします。

オーガナイザーパレットで 1 つ以上の画像を回転または移動するには

管理ワークスペース

- サムネイルを選択します。
- オーガナイザーパレットで、以下のいずれかのボタンをクリックします。
 - 右に回転 – サムネイルを時計回りに 90 度回転します
 - 左に回転 – サムネイルを反時計回りに 90 度回転します



サムネイルを右クリックして、コンテキストメニューから [右に回転] または [左に回転] を選択します。

管理ワークスペースで写真を削除するには

- 1 サムネイルを選択して、[Delete] キーを押します。

[ファイルの削除] ダイアログ ボックスまたは [複数の項目の削除] ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 [はい] をクリックすると、画像はごみ箱に移動します。



サムネイルを選択し、選択したサムネイルを右クリックして、コンテキストメニューの [削除] をクリックします。

管理ワークスペース内のファイルの名前を変更する

- 1 名前を変更するファイルのサムネイルを右クリックし、[名前の変更] を選択します。
- 2 [名前の変更] ダイアログ ボックスで新しいファイル名前を入力して、[OK] をクリックします。

編集を取得して複数の写真に適用する

管理ワークスペースで、任意の写真で行った変更をコピーして他の写真にそれを適用することができます。例えば、光源補正を複数の写真に適用したり、同じ境界線とサイズ変更オプションを Web サイト用の写真に適用することができ、簡単に行うことができます。

調整や編集のワークスペースで写真を変更すると、小さな編集アイコンが写真のサムネイルに表示されます。管理ワークスペースに戻ると、編集の取得と編集の適用のコマンドを使用して変更を他の写真へコピーすることができます。



サムネイルの左下隅のアイコンは、写真への変更をコピーして他の写真へ適用することができることを表します。

変更を取得して複数のファイルタイプに適用できますが、RAW ファイルへの変更は他の RAW ファイルだけに適用することができます。写真に適用した変更を元に戻すことができます。

編集を取得するには

管理ワークスペース

- 1 調整ワークスペースや編集ワークスペース、またはカメラ RAW ラボで画像を変更したら、変更を保存して管理ワークスペースに戻ります。
- 2 変更した写真のサムネイルを選択します。

サムネイルの左下隅に表示される鉛筆アイコンや RAW アイコンは、画像が変更されていることを表しています。

3 オーガナイザー ツールバーの [編集の取得] ボタン をクリックします。



現在のセッションだけの開いているファイルと閉じているファイルの両方の編集を取得できます。プログラムを閉じると、取得されたすべての編集が自動的に削除されます。



選択したサムネイルを右クリックし、[編集の取得] を選択することによって編集を取得することもできます。

取得した編集を適用するには

管理ワークスペース

1 オーガナイザー パレットで、サムネイルを選択します。

2 オーガナイザー ツールバーの [編集の適用] ボタン  をクリックします。

3 [一括処理の進行状況] ダイアログ ボックスの [OK] をクリックします。

RAW ファイルの場合は、[カメラ RAW ラボ] ダイアログ ボックスから保存された設定が適用されます。



プログラムを閉じると、取得されたすべての編集が自動的に削除されます。



選択したサムネイルを右クリックし、[編集の適用] を選択することによってキャプチャした編集を適用することもできます。

編集の適用を元に戻すには

1 オーガナイザー パレットで、サムネイルを選択します。

2 選択したサムネイルを右クリックして、コンテキストメニューから [現在の編集を元に戻す] を選択します。



編集した写真のサムネイルを選択し、選択したサムネイルを右クリックして、コンテキストメニューから [全ての編集を元に戻す] を選択して複数の写真の編集を元に戻すこともできます。

写真情報を表示および編集する

管理ワークスペースの情報パネルでは、ファイル名、サイズ、作成日など写真に関する情報や、EXIF と IPTC メタデータを表示、追加、編集できます。写真にタグ、キャプション、星の評価を追加することもできます。写真情報の追加および更新は、写真の整理や検索を容易にします。たとえば、キャプションテキストで検索することができます。

情報パレットの上部に、選択した写真で使用されたカメラ設定を簡単に確認できるカメラスタイルが表示されます。



ホワイトバランス シンボル

	カスタム		フラッシュ
	日光		曇り
	蛍光灯		影
	電球		部分測光
	自動ホワイトバランス		

測光シンボル

	カスタム測光		スポット測光
	平均測光		マルチスポット測光
	中央重点測光		パターン測光

画像に評価を割り当てるには

管理ワークスペース

- 1 サムネイルを選択します。
- 2 情報パレットで、星(左が星1つで、右に向かって星数が増えます)をクリックし、評価を設定します。たとえば、5つ星の評価を当てる場合には、右端の星をクリックすればすべての星が選択されます。

目的

コンテキストメニューを使用して評価を 選択したサムネイルを右クリックし、[評価の設定]を選択し、割り当てる星の数をクリックします。

キーボードのショートカットを使用して評1枚または複数のサムネイルを選択し、Ctrl + 割り当てる星の数を 価を割り当てる 押します。たとえば、1つ星を割り当てる場合には、Ctrl + 1を押します。

画像の評価を削除するには

管理ワークスペース

- サムネイルを右クリックして、[評価の設定]を選択し、現在画像に割り当てる星数を選択します。たとえば、3つ星の画像の評価を削除するには、[評価の設定]▶ *** (3つ目の星)を選択します。

1つ以上の画像にキャプションを追加するには

管理ワークスペース

- 1 サムネイルを選択します。
- 2 情報パレットで、[全般]タブをクリックして [キャプション] ボックスにテキストを入力します。

1枚または複数の画像からキャプションを削除するには

管理ワークスペース

- 同じキャプションを持つサムネイルを選択します。
- 情報パレットで、[全般] タブをクリックします。
- [キャプション] ボックスで、削除するテキストをハイライトします。
- Delete キーを押します。

詳細画像情報を表示するには

管理ワークスペース

- 情報パレットで、[EXIF] タブ または [IPTC] タブをクリックします。
画像の EXIF データか、IPTC データが表示されます。
注意：エントリ フィールドのある EXIF データ または IPTC データにみを変更することができます。

クイック レビューを使用して写真をレビューする

クイック レビューを使用すると、画像を全画面モードでレビューすることができます。たとえば、カメラから写真をダウンロードし、クイック レビューを使用してすべての写真をレビューし、必要な写真を削除し、写真を回転し、星評価を適用することができます。

フルスクリーン モードで画像をプレビューするには

管理ワークスペース

- オーガナイザー パレットで、レビューするフォルダートレイのサムネイルをダブルクリックします。
クイック レビュー ウィンドウが開きます。
- 次の表にある作業を実行します。

目的	操作方法
次の写真を表示する	[次の画像] ボタン ➡ をクリックします。
前の写真を表示する	[前の画像] ボタン ⏪ をクリックします。
星評価の適用	写真の下の星（左が星 1 つで、右に向かって星数が増えます）をクリックし、評価を設定します。
倍率を変更	ズーム スライダーをドラッグして、[拡大] 🔍 または [縮小] 🔍 ボタンをクリックするか、[実寸表示] ボタン 🟩 または [ウィンドウに合わせる] ボタン 🟩 をクリックします。
写真を削除する	[削除] ボタン 🗑 をクリックします。
写真を回転する	[右に回転] ボタン ⚡ または [左に回転] ボタン ⚡ をクリックします。
クイック レビューを終了する	[終了] ボタン ✘ をクリックするか、Esc を押します。



ツールマウス ホイールを使用してズーム レベルを変更することもできます。

トレイを使用する

トレイを使用すると、さまざまなフォルダーにある画像をまとめることができます。画像は元の場所に残っていますが、トレイで参照され、サムネイルをクリックしてアクセスできます。

ワークフローに応じて、トレイを追加、削除、名前変更できます。たとえば、編集、コラージュ、印刷、電子メール送信などに使用する画像のトレイを作成できます。トレイはオーガナイザー パレットに作成されます。

既定のトレイは、ナビゲーション パレットで現在選択されているフォルダーやコレクションの写真を自動的に表示します。カスタム トレイ（またはマイ トレイ）は自動的に作成される空のトレイです。トレイの詳細については、ヘルプの「トレイを使用する」を参照してください。

トレイを追加するには

管理ワーカースペース

- 1 [オーガナイザー] パレットの [オーガナイザー] ツールバーで、[その他のオプション] ボタン  をクリックして、[トレイの追加] をクリックします。
- 2 [名前] フィールドに新しいトレイの名前を入力し、[OK] をクリックします。

トレイの名前を変更するには

管理ワーカースペース

- 1 [オーガナイザー] パレットで、名前を変更するトレイを選択します。
- 2 [オーガナイザー] ツールバーの [その他のオプション] ボタン  をクリックして、[トレイ名の変更] をクリックします。
- 3 [名前] フィールドにトレイの新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。

トレイを削除するには

管理ワーカースペース

- 1 オーガナイザー パレットで、削除するトレイを選択します。
注意：トレイを削除しても、トレイ内の写真は削除されません。
- 2 [オーガナイザー] ツールバーで [その他のオプション] ボタン  をクリックして、[トレイの除去] をクリックします。



既定のトレイ「マイ トレイ」は削除できません。

トレイに写真を追加するには

管理ワーカースペース

- 1 [オーガナイザー] パレットで、トレイに追加する写真のサムネイルを選択します。
- 2 選択したサムネイルを右クリックし、[トレイに追加] を選択します。
写真がマイ トレイに追加されます。



写真をカスタム トレイに追加するには、写真のサムネイルを選択して、それを [オーガナイザー] パレットのカスタム トレイ タブにドラッグします。

トレイから写真を削除するには

管理ワークスペース

- 1 オーガナイザー パレットで、トレイをクリックします。
- 2 削除する写真を選択します。
- 3 **Delete** キーを押します。

トレイの内容をフォルダーに保存するには

- 1 ナビゲーション パレットで、[コレクション] タブをクリックします。
- 2 [別のフォルダーを参照] をクリックして、希望する場所に移動し、[新しいフォルダーの作成] をクリックします。
- 3 フォルダーの名前を入力して、[OK] をクリックします。
- 4 オーガナイザー パレットで、トレイのすべての写真を選択します（これには、**Ctrl + A** を押します）。
- 5 写真を新しいフォルダーにドラッグします。

カメラ RAW 写真を使った作業

ほとんどのデジタル一眼レフカメラには、RAW モードで撮影するオプションがあります。RAW モードでは、一般的な JPEG より多くの画像データが記録されます。RAW 画像データは加工されたり圧縮されることないので、写真のネガのように自分の好みに応じてプリントできます。Corel PaintShop Pro のカメラ RAW ラボは、RAW 現像の機能により、RAW ファイルに個人的なタッチを加えることができます。

RAW 画像を処理した後で、読み取り専用の RAW ファイルとして残したり、JPEG、GIF、または PNG ファイルにエクスポートして編集することができます。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- サポートされる RAW ファイル形式
- カメラ RAW ラボを使用する
- RAW 写真を別のファイル形式に変換する

サポートされる RAW ファイル形式

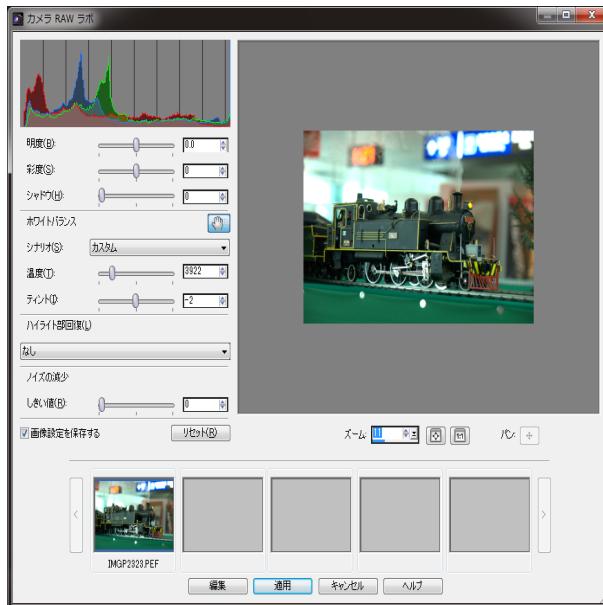
カメラ RAW ラボは、大手カメラメーカーの一般的な RAW 形式で使用できます。最新の情報については、www.corel.jp で入手できます。

サポートされる RAW ファイル形式を見つけるには

- 1 www.corel.jp/paintshop にアクセスします。
- 2 Paintshop Pro 製品ページ内の「RAW ファイル」をクリックします。
- 3 対応するカメラのリストが表示されます。

カメラ RAW ラボを使用する

カメラ RAW ラボでは、さまざまな処理設定を保存して RAW 画像を作成できます。RAW 画像を処理した後で、読み取り専用の RAW ファイルとして残したり、それを編集ワークスペースで開いて、JPEG、GIF、または PNG などの異なるファイル形式で保存することができます。



カメラ RAW ラボ

カメラ RAW ラボを起動するには

- 次のいずれかの操作を行います。
 - [管理] ワークスペースで、[ファイル]▶[開く]▶[ファイル名]を選択します。
 - [編集] ワークスペースで、[オーガナイザー] パレットから画像ウィンドウにサムネイルをドラッグするか、サムネイルをダブルクリックします。
- [カメラ RAW ラボ] ダイアロブ ボックスが画像とともに開きます。

RAW 写真の設定を調節するには

- [カメラ RAW ラボ] ダイアロブ ボックスで、次の操作のいずれかを行います。
 - 画像全体を素早く調整するには、[明るさ]、[彩度]、または [シャドウ] のスライダーをドラッグします。
 - ホワイトバランス領域で、[シナリオ] ドロップリストからプリセットされた照明オプションをクリックしてカラーを調整するか、プレビュー領域をクリックして [ドロッパー] ツールでホワイトポイントを設定します。また、[温度] および [ティント] スライダーで調整や微調整が行えます。
 - ハイライト部回復領域で、ドロップリストのオプションをクリックします。ハイライト部回復は、露出過度の画像に特に有効です – 細部が飛んでしまった領域の復元に役立ちます。

- ノイズの減少領域で [しきい値] スライダーをドラッグして、デジタルノイズを滑らかにします。写真に加えられ変更は、プレビュー領域でプレビューできます。
- 設定を今後の使用のために保存する場合は、[画像設定を保存する] チェックボックスを選択します。
- 2 次のいずれかをクリックします。
- [リセット] – 設定を元の値にリセットします。
 - [編集] – 設定を適用し、写真を編集ワークスペースで開きます RAW 写真を編集する場合は、その写真を JPEG、TIFF、あるいはその他の書き込み可能なファイル形式で保存する必要があります。
 - [適用] – 設定を適用し、カメラ RAW ラボを終了します。
 - [キャンセル] – 写真の設定を調節せずにカメラ RAW ラボを終了します。



RAW 画像の画像設定は、データベースに保存されます。ファイル名やファイルの場所への変更は、Corel PaintShop Pro で変更が行われた場合のみ、追跡が可能になります。

RAW 写真を別のファイル形式に変換する

RAW ファイル形式は読み取り専用であり、RAW ファイルの設定は別のヘッダーとして保存されます。カメラ RAW ラボで調節できるのはこれらの設定です。ただし、調整および編集ワークスペースで編集機能を使用するには、RAW ファイルを JPEG、TIFF、またはネイティブ形式の .pspimage などの異なるファイル形式に保存する必要があります。ファイルを素早く変換するには、[RAW を変換] を使用できます。

RAW ファイルをその他のファイルタイプに変換するには

管理ワークスペース

- [オーガナイザー] パレットで、1 つまたは複数の RAW ファイルのサムネイルを選択します。
- 選択したサムネイルを右クリックして、[RAW を変換] をクリックします。
- [一括処理] ダイアログ ボックスで、[種類] ドロップリストからファイル形式を選択します。
既定の変換設定を変更する場合は、[オプション] をクリックして、設定を調整します。
- [参照] をクリックして、変換されたファイルが保存されるフォルダーを選択します。
- [開始] をクリックします。



変換したファイルの名前を変更するには、[変更] をクリックして、[名前の変更オプション] リストからオプションを選択し、[追加] をクリックします。

画像を調整する

Corel PaintShop Pro で写真を表示した時に、不具合を補正したい場合があります。写真によっては、被写体が暗すぎる、というように問題がはっきりしている場合があります。また、写真によっては、改善の必要を感じても、何を修整すればいいのかわからない場合もあります。Corel PaintShop Pro を使用すると、写真の特定の外観の修整、またはプログラムによる基本的な写真調整することができます。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- 画像を回転する
- 画像をトリミングする
- 画像の傾きを補正する
- 写真の遠近のひずみを補正する
- 基本的な写真補正を自動的に実行する
- デジタルノイズを取り除く
- ホワイトバランスを調整する
- 明るさ、コントラスト、明確化を調整する
- 被写界深度を制御する

光やレンズの歪みの補正、ノイズの制御、ぼかしの付加、画像のシャープ化など、画像の調整についての詳細は、ヘルプの「画像を調整する」を参照してください。

画像を回転する

画像を 90 度回転させ、その方向を横(水平)または縦(垂直)に変えることができます。縦置き方向で撮影した写真にタグを付けるセンサーがカメラに備わっている場合、写真は自動的に正しい方向に回転されます。



Corel PaintShop Pro で画像を回転できます。

画像は回転角度を指定することでどのような角度にも回転させることができ、キャンバス上で動的に回転させることもできます。画像内の基準ポイント（水平軸など）に従って画像の傾きを補正するための回転の詳細については、ページ 58 の「画像の傾きを補正する」を参照してください。

また、管理ワークスペースを使用すると、元の画像データをすべて維持したまま、画質を劣化させずに JPEG 画像を回転させることができます。

画像を回転するには

編集ワークスペース

- 画像を選択し、次の表にあるタスクを実行します。

目的	操作方法
画像を時計回りまたは反時計回りに 90 度[画像]▶[右に回転]を選択するか、[画像]▶[左に回転]を選択します。	
画像を指定の角度で回転する	[画像]▶[自由回転]を選択します。[自由回転]ダイアログ ボックスで、[右]オプションまたは[左]オプションを選択して回転の方向を設定します。[角度]グループボックスで[カスタム]オプションを選択し、コントロールに値を入力/設定します。
画像を動的に回転する	[ツール]ツールバーで、[ピック]ツール  を選択します。回転ハンドル（回転軸と線で結ばれている四角）をドラッグして、画像を回転します。ポインタを回転ハンドルの上に置くと、ポインタが 2 本の曲がった矢印の形に変わります。



標準ツールバーで [右に回転]  または [左に回転]  ボタンをクリックしても画像を回転できます。

画像を動的に回転する前に、回転の中心を変更したい場合は、Ctrl キーを押したまま、回転の中心点（画像の中心にある円）を新しい位置にドラッグします。

画像をトリミングする

画像の構図を明確にしたり、画像内の特定の領域に注目してもらうために、画像内の不要な部分を削除することができます。Corel PaintShop Pro には、よく使用される画像サイズの設定（4 x 6 インチ、10 x 15 センチなど）が用意されており、トリミングに便利です。

トリミングすると、画像の保存に必要なハードディスク容量が減ります。また、余分な色がある領域をトリミングによって除去すると、色補正の結果が向上する場合があります。トリミングと色補正の両方が必要な写真の場合は、まず画像をトリミングしてから、色補正を適用してください。



[トリミング]ツールのフロートツールバー

重要！ トリミング矩形外の画像領域は完全に削除されます。元の写真を残しておくには、[名前を付けて保存]コマンドを使用して、トリミング後の画像を新しいファイル名で保存します。

画像をトリミングするには

編集ワークスペース

- 1 [ツール]ツールバーで、[トリミング]ツールを選択します。

既定では、画像にトリミング矩形が表示され、トリミング矩形の外側が陰影になります。

- 2 いずれかのハンドルまたは端をドラッグして、トリミング領域のサイズを調整します。トリミング矩形の位置を変更するには、矩形内にカーソルを置いてドラッグします。

[トリミング]ツールのフロートツールバーにある[設定]ドロップリスト、または[ツールオプション]パレットにあるドロップリストからオプションを選択すると、あらかじめ用意されているトリミングサイズを使用できます。

- 3 画像をトリミングする準備ができたら、[トリミング]ツールのフロートツールバーにある[ツールオプション]パレットで[適用]ボタンをクリックします。

目的

マウス、またはキーボードでトリミング トリミング領域の内側でダブルクリックするか、Enter を押します。を適用する

[ツールオプション]パレットでトリミング [幅] と [高さ] のコントロールに [ピクセル単位のサイズ] の値を指すか、[幅]、[高さ]、[単位] コントロールに [印刷時のサイズ] 値を指定します。

トリミング領域の現在の縦横比率を保持 [ツールオプション]パレットで [縦横の比率を維持する] チェックする ボックスをチェックします。このオプションは、カスタム定義のトリミング領域にのみ使用できます。

トリミング領域を 90 度回転させる [トリミング矩形の回転] ボタン をフロートツールバーでクリックします。

特定の角度でトリミング矩形を回転させる [ツールオプション] パレットの [角度] コントロールに回転角度を入力します。

トリミング矩形を自由に回転させる 回転ハンドルの端にある四角形または角の点をドラッグします。この機能は、歪んでスキャンされた写真を傾き補正してトリミングする場合に便利です。

トリミング矩形の中心に回転軸ポイントを移動する [中心点] ボタン を [ツールオプション] パレットでクリックします。

目的

トリミング領域をクリアする

[クリア] ボタン  を [トリミング] ツールのフロートツールバーでクリックします。

印刷用に画像をトリミングするには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[トリミング] ツール  を選択します。
- 2 画像内でドラッグしてトリミング領域を定義します。
- 3 [ツールオプション] パレットの [印刷サイズの指定] チェックボックスを選択します。
注意：[印刷サイズの指定] チェックボックスを選択している場合、[ピクセル単位のサイズ] または [印刷時のサイズ] いずれかの [高さ] と [幅] のコントロール値を変更すると画像の解像度が変わります。現在の解像度が [単位] ドロップリストの右横に表示されます。
- 4 [単位] ドロップリストから、[インチ] または [センチ] を選択します。
注意：印刷用のトリミングでは、[ピクセル] オプションは選択できません。
- 5 [高さ] と [幅] の各コントロールに寸法の値を設定 / 入力します。
最終的なトリミング領域が指定どおりにサイズ変更され、必要に応じて画像解像度が増加 / 減少されます。
- 6 [適用] ボタン  を [ツールオプション] パレットか、[トリミング] ツールのフロートツールバーでクリックします。

画像の傾きを補正する

傾き補正バーを画像に合わせて置くことで、傾いた画像を簡単にまっすぐにすることができます。

Corel PaintShop Pro は、傾き補正バーが完全に水平および垂直になるように画像を回転します。この機能は、画像内に水平 / 垂直の対象物（ビルや水平線など）がある場合に、特に便利です。



[傾き補正] ツールを使用して、画像内に傾き補正バーを配置できます。

画像の傾きを補正するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[傾き補正] ツール  を選択します。
両端にハンドルを持った傾き補正バーが画像上に表示されます。
- 2 傾き補正バーのハンドルをドラッグして、まっすぐにする画像の一部と平行になるように調整します。

3 [ツールオプション] パレットで、[モード] ドロップリストから次のオプションを選択します。

- ・自動 – 傾き補正バーの位置に基づいて画像の傾きを自動的に補正します。
- ・縦にする – 傾き補正バーが垂直になるように画像を回転します。
- ・横にする – 傾き補正バーが水平になるように画像を回転します。

4 [適用] ボタン をクリックします。

目的

傾き補正バー用に特定の角度を選択する [ツールオプション] パレットの [角度] コントロールに値を入力/設定します。

傾きを補正した後に画像が矩形になるようにトリミングする [ツールオプション] パレットの [トリミング] チェックボックスをチェックします。

画像の端の部分を背景色で塗りつぶす [ツールオプション] パレットの [トリミング] チェックボックスのチェックを外します。



画像をダブルクリックしてコマンドを適用することもできます。

写真の遠近のひずみを補正する

縦長または横長の被写体を写真に撮ると、写真に遠近のひずみが発生して、被写体が傾いたり、角度がついたように見える場合があります。カメラと被写体の間に角度がつくと、このひずみが発生します。

[遠近補正] ツールを使用すると、角度が付いた建物の壁面などの遠近のひずみを補正できます。[ピック] ツールを使用して、写真の遠近のひずみをレイヤー全体で修整することもできます。



[遠近補正] ツールを使用して、建物の角度を変更します。

写真の遠近のひずみを補正するには

編集ワークスペース

1 [ツール] ツールバーで、[遠近補正] ツール を選択します。

コーナーハンドルの付いた四角い枠が画像上に表示されます。

2 [ツールオプション] パレットで、次のコントロールの設定を選択します。

- ・[グリッド線] – 表示するグリッド線の数を入力/設定します。

- ・[トリミング] – 遠近補正適用後、画像を矩形に再トリミングします。

注意：[トリミング] チェックボックスをチェックすると、矩形の中に入らない画像の領域が削除されます。

3 補正対象となるオブジェクトのコーナーの各ハンドルをドラッグして長方形になるようにします。

4 [適用] ボタン ✓ をクリックします。



画像をダブルクリックして、コマンドを適用することもできます。

遠近補正の枠線を元に戻すには、[ツール オプション] パレットの [キャンセル] をクリックします。

基本的な写真補正を自動的に実行する

写真にどのような調整が必要かがわからない場合は、[自動修整] コマンドまたは [スマート修整] コマンドを適用して結果を確認できます。[自動修整] コマンドは、ホワイトバランスやシャープ化などあらかじめ定義された修整を写真に自動的に適用します。コマンドを選択するだけで、修整を実行できます。修整を適用する前に修整を微調整するオプションが必要な場合は、[スマート修整] コマンドを使用できます。



[自動修整] コマンドを使用すると、画像の露出やホワイトバランスをすばやく容易に改善できます。



[スマート修整] では、画像に適用される修整の量と種類を制御できます。

[スマート修整] 機能の詳細オプションを使用すると、写真内の中間色領域（黒、グレー、白）を識別し、その領域をサンプリング ポイントとして使用することで、ホワイト バランスを調整できます。また、ホワイト バランスを変えずに、写真の最も暗いピクセルや最も明るいピクセルを変更することもできます。高度なオプションについては、ヘルプの「スマート修正の高度なオプションを使用するには」を参照してください。

[自動修整] を使用して基本的な修整を適用するには

編集ワークスペース

- [調整] ▶ [自動修整] を選択します。

少し待つと、いくつかの基本的な修整が写真に適用されます。



適用される修整は、[スマート修整]機能で推奨された設定を受け入れた場合に適用される修整と同じです。



写真に加えられた変更が十分ではない場合は、[編集] ▶ [元に戻す] を選択します。次に、[調整] ▶ [スマート修整] を選択して、設定を調整します。また、[明るさとコントラスト] ▶ [カーブ]、[明るさとコントラスト] ▶ [レベル]などの他の [調整] メニュー コマンドを使用することもできます。

[スマート修整] を使用して基本的な修整を微調整するには

編集ワークスペース

- 1 [調整] ▶ [スマート修整] を選択します。

[スマート修整] ダイアログ ボックスが表示されます。ダイアログ ボックス上部の [変更前] プレビューには、元の写真が表示されます。[変更後] プレビューには、推奨される基本調整を適用した後の写真の状態が表示されます。

- 2 次の表の作業を行って、[OK] をクリックします。

目的	操作方法
写真を明るく / 暗くする	[明るさ] グループ ボックスで、[全体]、[シャドウ]、および [ハイライト] の各コントロールに値を入力 / 設定するか、それぞれのスライダーで調整します。 注意：正の値を設定をすると写真が明るくなり、負の値を設定すると写真が暗くなります。
彩度を増加 / 減少する	[彩度] コントロールに値を入力 / 設定するか、スライダーを調整します。 注意：正の値に設定すると写真の鮮やかさが増加し、負の値に設定すると鮮やかさが減少します。
写真の端をシャープにする	[フォーカス] コントロールに値を入力 / 設定するか、スライダーを調整します。



すべての設定を初期値にリセットするには、[推奨設定] をクリックします。空の設定にリセットするには、[既定値に戻す] ボタン をクリックします。

[スマート修整] 機能の詳細設定を使用するには、[詳細オプション] チェック ボックスにチェックを付けます。

デジタルノイズを取り除く

写真における「ノイズ」とは、画像の明瞭感を低下させる小さな斑点を指します。この斑点は、通常、照明不足またはデジタルカメラのセンサの限界が原因で発生します。たとえば、澄んだ青空の写真を拡大すると、オレンジ、赤、パープル、緑などの色の小さな斑点に気づくことがあります。

Corel PaintShop Proには、写真からノイズを取り除くために、[自動ノイズ除去]と[デジタルノイズ除去]という2つの高速で強力なコマンドが用意されています。ノイズ除去コマンドを使用すると、写真を分析してノイズによる劣化が特定され、重要なエッジ部分の細部を維持したまま、特定された領域に基づいて修整が適用されます。



左側の画像はデジタルカメラノイズのためざらついて見えます。右側の画像は、ノイズが除去された後で、より滑らかでざらつきが少なく見えます。

[自動ノイズ除去]コマンドを使用すると、写真にノイズ補正を自動的に適用できます。より総合的な[デジタルノイズ除去]コマンドを使用して、同様の補正をどのように適用するかをより正確に制御することもできます。このコマンドの詳細については、ヘルプの「デジタルノイズを除去する」を参照してください。

デジタルノイズをすばやく取り除くには

編集ワークスペース

- [調整]▶[自動ノイズ除去]を選択します。
少し待つと、ノイズが自動的に取り除かれます。

ホワイトバランスを調整する

カラーを調整すると、写真が格段によくなることがあります。さまざまな種類の照明、カメラ、およびカメラ内で行われる処理が原因で、写真の配色が正しくならない場合があります。スキャンした画像にも不自然な色の傾向が付く場合があります。

ホワイトバランスを調整するには

編集ワークスペース

- 1 [調整]▶[ホワイトバランス]を選択します。
[ホワイトバランス]ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [スマートホワイトバランス]チェックボックスをチェックします。
これにより、Corel PaintShop Proは画像を評価して自動的にわずかな補正を加えることができます。
- 3 [温度]スライダーを左にドラッグすると寒色(青)が増加し、右にドラッグすると暖色(オレンジ)が増加します。
- 4 [OK]をクリックします。



写真に必要な色温度がわかっている場合は、[詳細オプション] チェック ボックスをチェックし、[ホワイトバランス] グループ ボックスの [温度] コントロールと [ティント] コントロールに温度値を入力/設定して、正確なトーンバランスの値を設定できます。[ホワイトバランスの調整] グループ ボックスで、[温度] コントロールと [ティント] コントロールの値を調整して、色を微調整できます。

色あせを補正するには

編集ワークスペース

- 1 [調整] ▶ [色] ▶ [色あせの補正] を選択します。

[変更前] プレビューで、画像の重要な部分（人物の顔など）の中心にドラッグします。

- 2 [補正の量] コントロールで、画像が最も自然に見えるように値を調整します。

既定値は 45 です。

注意：できるだけ小さな値を設定したほうがよい結果を得られます。過度の修整を適用すると、ハイライトとシャドウの部分で細部やオブジェクトが見えなくなることがあります。

- 3 [OK] をクリックします。

色の傾向を変更するには

編集ワークスペース

- 1 [調整] ▶ [色] ▶ [RGB カラー] を選択します。

[RGB カラー] ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 [赤]、[緑]、[青] コントロールで値を設定/入力して、各色の割合を変更します。

0% は元の値を意味します。色を増やすには正の数値を入力します。色を減らすには負の数値を入力します。

注意：青の量を減らすと、画像にイエローの傾向が加わります。緑の量を減らすと、画像にマゼンタの傾向が加わります。赤の量を減らすと、画像にシアンの傾向が加わります。

- 3 [OK] をクリックします。

明るさ、コントラスト、明確化を調整する

Corel PaintShop Pro では、写真の明るさ、コントラスト、明確化を調整できます。コントラストとは、写真の最も明るいピクセルと最も暗いピクセルの差です。明確化では、ローカルエリア内のコントラストを分析して画像の詳細レベルを調整することができます。

カーブ、レベル、ヒストグラム調整を含む明るさ/コントラストの調整フィルターについての詳細は、ヘルプの「明るさ、明確化、コントラストを調整する」を参照してください。

明るさまたはコントラストを変更するには

編集ワークスペース

- 1 [調整] ▶ [明るさとコントラスト] ▶ [明るさ/コントラスト] を選択します。

[明るさ/コントラスト] ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 [明るさ] コントロールに値を入力/設定します。

正の数値は写真を明るくし、負の数値は写真を暗くします。ゼロ (0) は元の設定を意味します。

- 3 [コントラスト] コントロールに値を入力/設定します。
正の数値はコントラストを強め、負の数値はコントラストを弱めます。ゼロ(0)は元の設定を意味します。
- 4 [OK] をクリックします。



ダイアログ ボックス内のズーム コントロールを使用して、[変更前] および [変更後] プレビューの画像の表示方法を設定できます。

暗い部分を明るくして、明確化を調整する

編集ワークスペース

- 1 [調整] ▶ [明るさとコントラスト] ▶ [フィルライト / 明確化] を選択します。
[フィルライト / 明確化] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [フィルライト] コントロールに値を入力/設定します。
正の数値は写真の暗い部分を明るくし、負の数値は明るい部分を暗くします。ゼロ(0)は元の設定を意味します。
- 3 [明確化] コントロールに値を入力/設定します。
正の数値は詳細を強め、負の数値は詳細とフォーカスを弱めます。ゼロ(0)は元の設定を意味します。
- 4 [OK] をクリックします。

深度とフォーカスを強調するには

編集ワークスペース

- 1 [調整] ▶ [明るさとコントラスト] ▶ [ローカルトーンマッピング] を選択します。
[ローカルトーンマッピング] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [強度] コントロールに値を入力/設定します。
満足できる結果が得られる最小の値を設定してください。値が大きすぎると、写真に不要なノイズが現れます。
- 3 [OK] をクリックします。



ダイアログ ボックス内のズーム コントロールを使用して、[変更前] および [変更後] プレビューの画像の表示方法を設定できます。

被写界深度を制御する

被写界深度を制御してフォーカス エリアを作成して、写真の被写体に注意を引き付けることができます。たとえば、花畠の中に人物が写っている写真では、人物にピントを合わせたまま、周囲の花にピンぼけ効果(ぼかし)を適用できます。



被写界深度効果を適用して、写真の被写体に注意を引き付けることができます。

[被写界深度]効果を使用してフォーカスエリアを作成するには

編集ワークスペース

- 1 編集ワークスペースで、焦点を合わせる領域を選択します。

画像の領域の選択に関する詳細については、ページ 119 の「選択範囲を作成する」を参照してください。

- 2 [調整]▶[被写界深度]を選択します。

[被写界深度]ダイアログ ボックスが表示されます。

- 3 [ぼかし]スライダーを移動して、フォーカスエリア外に適用されるぼかしの量を調整します。

目的

選択領域を反転する

[反転] チェック ボックスをチェックします。

ぼかし領域の絞りの形を制御する

次のいずれかのボタンをクリックします。

• 円形の絞りの形

• 六角形の絞りの形

フォーカスエリアとぼかし領域の境界を
調整する

[境界ぼかし]スライダーを調整します。スライダーを右に移動すると
と境界のぼかしが強くなり、左に移動するとぼかしが弱くなります。
この設定を 0 にすると、エッジがはっきりとして、多くの場合は目的に合いません。通常は、このスライダーを 2 または 3 より小さく
設定しないでください。

フォーカスエリアのサイズを微調整する

[フォーカス範囲]スライダーを左に移動すると、フォーカスエリア
を縮小できます。スライダーを右に移動すると、フォーカスエリア
を選択範囲の端まで拡大できます。



範囲が選択されていない場合には、[被写界深度]ダイアログ ボックス内にある以下のいずれかの
選択ツールを使用して焦点領域を選択することができます。円形 、フリーハンド 、矩形 、
または ラスター選択 .

画像をレタッチして保存する

Corel PaintShop Pro には画像をレタッチする数多くの方法があります。小さな傷の除去や背景全体の消去、あるいは単なる赤目補正でも、必要なツールが見つかります。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- 赤目を修整する
- 美容補正を適用する
- スクラッチを除去する
- 画像の傷とオブジェクトを除去する
- 画像領域を消去する
- 画像領域を切り取る
- 画像領域の色を付け直してリアルな効果を演出する
- 境界線を追加する
- [スマート カーバー] による写真の拡大 / 縮小

覆い焼きおよび焼き込み、画像領域の塗りつぶし(色、グラデーション、またはパターンを使用)、反転、拡大縮小、または画像の変形など、画像のレタッチに関連したトピックについては、ヘルプの「画像のレタッチと復元」を参照してください。

赤目を修整する

赤目は、写真で頻繁に発生する問題です。写真の赤目は、カメラのフラッシュが写真の被写体の網膜に反射すると発生します。Corel PaintShop Pro には、写真から赤目を取り除く方法が 2 つあります。

赤目をすばやく取り除くには、[赤目修整] ツールを使用します。より強力な修整が必要な場合は、高度な [赤目修整] コマンドを使用して、目の色を変更することができます。高度な赤目修整の方法については、ヘルプの「赤目修整の詳細オプションを使用するには」を参照してください。



[赤目修整] ツールは、被写体の瞳の赤をダーク グレーに置き換えて自然に見えるように修復します。

ワンタッチ修整ツールを使用して赤目を修整するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーから、[赤目] ツール を選択します。
- 2 [ツール オプション] パレットで [赤目のサイズ] コントロールを調整して、ポインタを赤目の領域の約 2 倍の大きさにします。
- 3 目の上に直接ポインタを置いて、クリックします。



必要に応じて、写真を拡大して [**赤目修整**] ツールをより容易に使用できるようにします。
Alt キーを押しながら、目の領域で [**赤目修整**] ツールをドラッグすると、動的にピクセルのサイズを変更することができます。

美容補正を適用する

次の美容補正を実行すると、写真の被写体の外観を簡単に見せることができます。

- ・シミの除去 – [**メークオーバー**] ツールの [**シミ補正**] モードを使用します。
- ・歯のホワイトニング – [**メークオーバー**] ツールの [**歯ブラシ**] モードを使用します。
- ・充血した目の修整 – [**メークオーバー**] ツールの [**目ぐすり**] モードを使用します。
- ・日焼けの追加 – [**メークオーバー**] ツールの [**日焼け**] モードを使用します。
- ・被写体の細身効果 – [**メークオーバー**] ツールの [**スリム**] モードを使用します。
- ・しわの除去 – [**スクラッチ除去**] ツールを使用します。
- ・スキントーンのすばやいスムーズ化 – [**調整**] メニューの [**スキンのスムーズ化**] コマンドを使用します。



シミの除去、歯のホワイトニング、日焼けの調整を行うことができます。

顔のシミを除去するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーの [**メークオーバー**] ツール を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、[**シミ補正**] モードを選択します。
マウス ポインタが同心円に変わります。
- 3 [ツールオプション] パレットで、[**サイズ**] コントロールを最小サイズに調整して、内側の円にシミが囲まれるようにします。
外側の円はシミを覆うマテリアルに使用されます。
- 4 [ツールオプション] パレットで、[**強度**] コントロールを調整します。
値は 1 から 100 までの範囲です。値が高いほど、多くのソース マテリアル（外側の円に囲まれている）がシミ領域（内側の円に囲まれている）に適用されます。
- 5 シミを直接クリックします。



写真を拡大して、[**メークオーバー**] ツールを使いやすくします。

歯をホワイトニングするには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーの [メークオーバー] ツール  を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、[歯ブラシ]  モードを選択します。
- 3 [ツールオプション] パレットで、必要に応じて [強度] コントロールを調整します。
値を大きく設定するとホワイトニングの効果は強くなりますが、外観が不自然になります。
- 4 歯を直接クリックします。
歯に隙間があったり、部分的にはっきりしていない場合は、このツールをそれぞれの歯に個別に適用する必要があります。



[メークオーバー] ツールの [歯ブラシ] モードは、カラー写真にしか利用できません。

目のホワイトニング効果を適用するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーの [メークオーバー] ツール  を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、[目ぐすり]  モードを選択します。
- 3 [強度] コントロールに値を入力/設定します。
値を大きくすると、目をより白くできますが、修整したい領域より広い範囲までホワイトニング効果が広がる場合があります。
- 4 必要に応じて画像を拡大して、注意しながら目の充血した部分をクリックしてください。

日焼けを適用するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーの [メークオーバー] ツール  を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、[日焼け]  モードを選択します。
- 3 [サイズ] コントロールに値を入力/設定します。
- 4 [強度] コントロールに値を入力/設定します。
値を大きくすると、より黒い日焼けになります。
- 5 被写体の肌の上を注意しながらドラッグしてください。

細身効果を適用するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーの [メークオーバー] ツール  を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、[スリム]  モードを選択します。
- 3 [強度] コントロールに値を入力/設定します。
値を大きくすると、横方向により多くのピクセルが圧縮されます。
- 4 被写体の中央をクリックします。
クリックした場所の両側のピクセルが圧縮されます。クリックを繰り返すと、細身効果が強まります。

顔のしわを除去するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[スクラッチ除去] ツール  を選択します。
 - 2 [ツールオプション] パレットで、[直角エッジ]  または斜角エッジ  選択ボックスを選択します。
 - 3 [幅] コントロールに値を入力 / 設定して、除去するしわをドラッグする範囲ボックスの内側の部分に合わせます。
 - 4 しわのすぐ外側にピントを配置して、内側の矩形にしわが囲まれるように、しわの上を注意しながらドラッグします。
- しわが周囲の肌のテクスチャで覆われます。



やり直す必要がある場合は、補正を元に戻し、[幅] コントロールを調整し、もう一度ドラッグします。

しわが直線ではないときには、少しづつ補正します。

スキンの色調をスマージングするには

編集ワークスペース

- 1 [調整] ▶ [スキンのスムーズ化] を選択します。
 - 2 [スキンのスムーズ化] ダイアログ ボックスで、[量] スライダーを調整します。
- スライダーを右に移動すると強めにスマージングされ、左に移動すると弱めにスマージングされます。



[スキンのスムーズ化] コマンドは、すばやくスキントーンをスマージングしてしわやキズを減らします。



[スキンのスムーズ化] コマンドは、自動的にスキントーンを検出してスマージングし、目や唇には影響ありません。ただし、写真の他の領域がスキントーンと色が似ているために影響を受ける場合は、選択範囲を使用してスマージングする領域を分離できます。選択範囲の詳細については、ページ 119 の「選択範囲を作成する」を参照してください。

スクラッチを除去する

[スクラッチ除去] ツールを使用して、スクラッチ、キズなどの望ましくない画像領域を写真から除去することができます。



[スクラッチ除去] ツールを使用すると、個々のスクラッチを修復することができます。

ツールを使用して傷のある領域を囲み、その領域を周囲の維持する画像で塗りつぶすことができます。背景が比較的に滑らかであれば、たいていの場合良好な結果が得られます。模様の付いた背景や複雑な背景からスクラッチを取り除くには、[クローン ブラシ] ツールを使った方が効果的な場合があります。[クローン ブラシ] ツールの詳細については、ページ 72 の「画像の傷とオブジェクトを除去する」を参照してください。

小さなスクラッチが多くある画像では、[スクラッチの自動除去] コマンドを使用できます。詳細については、ヘルプの「スクラッチを除去するには」を参照してください。

スクラッチを除去するには

編集ワークスペース

- 1 [レイヤー] パレットで、除去したい領域のあるレイヤーを選択します。
 - 2 [ツール] ツールバーで、[スクラッチ除去] ツール を選択します。
 - 3 [ツールオプション] パレットで次のいずれかのオプションを選択して、[スクラッチ除去] ツールの形状を指定します。
 - 直角エッジ — オブジェクトのエッジに対して垂直なスクラッチ、オープンな領域にあるスクラッチ、または同一色のスクラッチを補正します。
 - 斜角エッジ — オブジェクトのエッジに対して角度のついたスクラッチを補正します。
 - 4 ポインタをスクラッチの一方の端のやや外側に置き、マウスの左ボタンを押しながらドラッグして、範囲ボックスをスクラッチの上に表示します。
 - 5 マウスのボタンを放します。
- 囲んだ領域が周囲のピクセルで置き換えられます。

目的

範囲ボックスの開始地点を 1 - ピクセルずつ移動する
マウス ボタンを放す前に矢印キーを押します。

選択ボックスの幅を 1 ピクセルずつ増加 / マウス ボタンを放す前に Page up キーまたは Page down キーを押します。

周囲のピクセルを使用して選択ボックスのマウス ボタンを放す前に Shift キーを押します。
エッジに垂直に領域を塗りつぶす このテクニックは、レンガの壁のように直線的な模様がはっきりした領域が背景に含まれる写真に適しています。



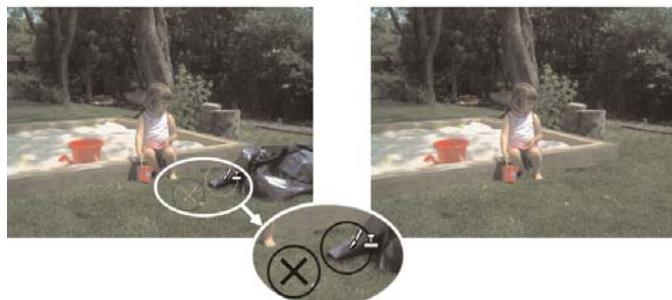
スクラッチ周囲の領域で重要な部分が除去されないようにするには、選択範囲を作成して補正を制限します。選択範囲の作成については、ページ 119 の「選択範囲を作成する」を参照してください。

結果に満足できない場合は、[元に戻す] ボタン をクリックし、スクラッチを選択し直して、さまざまな幅のツールを試してください。

スクラッチがさまざまな背景の場所に点在している場合は、一度に全体を除去するのではなく、何回かに分けて除去します。

画像の傷とオブジェクトを除去する

[クローンブラシ] ツールや [オブジェクト除去] ツールを使用して、画像の傷とオブジェクトを除去することができます。[クローンブラシ] ツールを使用すると、画像の別の部分で上から重ねてペイントすることで、画像の傷とオブジェクトを除去することができます。同じレイヤー、画像内の別のレイヤー、結合された画像、または別の画像のレイヤーの一部をペイント元にすることができます。



[クローンブラシ] ツールを使用して、左側の写真からごみ箱を除去しました。

周囲の領域の色やテクスチャが相当に均等であれば、[オブジェクト除去] ツールを使用して、オブジェクトを除去することができます。このツールは、[クローンブラシ] ツールと同様に除去する領域を指定し、領域を覆う背景を選択できます。



[オブジェクト除去] ツールを使用して、海面から 1 隻のボートを消去しました。

画像の一部を複製するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[クローンブラシ] ツール を選択します。
 - 2 [ツールオプション] パレットから、ブラシの形状、サイズ、不透明度と他の設定を選択します。
- [クローンブラシ] ツールを使用して、ペイントを再開するたびにソース ポイントをリセットするには、[位置を合わせる] チェック ボックスをチェックします。ペイントする領域をドラッグし続けることで、元の画像で塗りつぶすことができます。チェック ボックスのチェックを外すと、元のソース ポイントからストロークごとに同じデータがコピーされます。

結合されたすべてのレイヤーからのデータを複製する場合は、[すべてのレイヤーを使う] チェックボックスをチェックします。現在のレイヤーの情報をのみを複製する場合は、チェックボックスのチェックを外します。

- 3 元の画像で、ソースエリアの中心点を右クリックします。

画像に複数のレイヤーがある場合、ソースエリアを定義する前に、[レイヤー] パレットでレイヤーの名前をクリックします。

- 4 画像をドラッグして、複製した領域をペイントします。



画像領域を複製する場合は、データがあるソースエリアを選択する必要があります。

画像に選択範囲が含まれている場合は、選択範囲の内側で右クリックして、複製元を設定する必要があります。鉛筆タブレットを使用する場合、Shift キーを押したままにする場合と同じ結果が得られます。



Shift キーを押しながら画像をクリックして、ソースポイントを設定することもできます。

Alt キーを押しながら画像ウィンドウをドラッグして、動的にブラシのサイズを変更することができます。

写真からオブジェクトを取り除くには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[オブジェクト除去] ツール を選択します。

- 2 [ツールオプション] パレットで、[選択モード] ボタン を選択します。

- 3 除去するオブジェクトの周りをドラッグします。

- 4 [ツールオプション] パレットで、[ソースモード] ボタン を選択します。

画像ウィンドウに、1 つの矩形が表示されます。

- 5 以前の選択範囲を置き換える領域の上に、範囲ボックスを配置します。

- 6 サイズを変更するには範囲ボックスのハンドルをドラッグし、回転させるには範囲ボックスの回転ハンドルをドラッグします。

矩形は、除去する領域と同じかそれよりもわずかに大きくすることが推奨されています。

- 7 [ツールオプション] パレットで、[適用] ボタン をクリックします。

- 8 [選択範囲] ▶ [選択の解除] を選択して、選択範囲を解除します。



[オブジェクト除去] ツールを有効にする前に、選択ツールのいずれかを使用して選択範囲を作成することもできます。

Ctrl + D キーを押して、選択範囲を解除することもできます。

画像領域を消去する

[消しゴム] ツールを使用して、レイヤーの領域を消去して透過にすることができます。[消しゴム] ツールをラスター レイヤーに使用すると、ツールのパス内のすべてのピクセルが透過になります。グレーと白のチェック模様部分は、透過領域を示します。



[背景消しゴム] ツールを使用すると、画像の背景をすばやく取り除くことができます。

[背景消しゴム] ツールを使用して、ピクセルを選択的に消去することができます。たとえば、山の風景写真から空の部分を消したり、あるオブジェクトを周辺の画像領域から分離することができます。

[背景消しゴム] ツールに使用できる設定については、ヘルプの「画像領域を消去する」を参照してください。

画像領域を消去するには

編集ワークスペース

- [ツール] ツールバーで、[消しゴム] ツール を選択します。
- [ツール オプション] パレットで、必要なブラシ オプションを選択します。
- 画像をドラッグして消去します。

目的

消去したピクセルを復元する	マウスの右ボタンを押しながら、消去された領域をドラッグします。
直線を消去する	線の始点をクリックし、Shift キーを押しながら、線の終点をクリックします。続けて直線を消去するには、次の位置に移動して、Shift キーを押しながらクリックしてください。



背景レイヤーを消去する場合、[消しゴム] ツールは透明に消去して、レイヤーは自動的にラスター レイヤーに変換されます。

画像の背景領域を消去するには

編集ワークスペース

- [レイヤー] パレットで、消去する画像が含まれるレイヤーをクリックします。
- [ツール] ツールバーで、[背景消しゴム] ツール を選択します。
- [ツール オプション] パレットで、必要なブラシ オプションを選択します。
- 消去する画像領域のエッジの周りをドラッグします。

ゆっくり慎重にストロークを使用すると最良の結果が得られます。消去する領域の上にブラシの中心を置き、保持する領域の上にブラシのエッジを置いて、ドラッグしてください。

目的

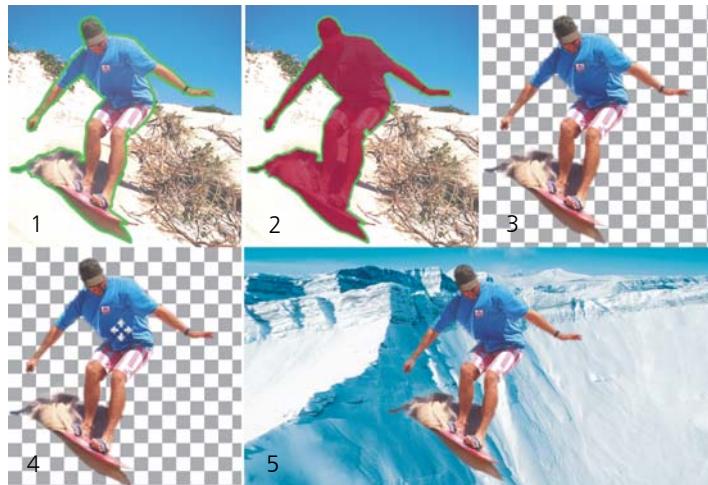
消去したピクセルを復元する	右クリックしドラッグします。
直線を消去する	開始点を一度クリックしてから、Shift キーを押しながら終了点をクリックします。続けて直線を消去するには、次の位置に移動して、Shift キーを押しながらクリックしてください。
[消しゴム] ツールに切り替える	Backspace キーを押しながらマウスをドラッグします。



[背景消しゴム] ツールを使用する場合、背景レイヤーは自動的にラスター レイヤーに変換されます。

画像領域を切り取る

[オブジェクトの抽出] を使用して、周囲の背景から画像領域を切り取ることができます。その後、切り取った領域を背景とは別に編集し、異なる背景に表示したり、他の画像と組み合わせたりできます。



オブジェクトの抽出のワークフロー：(1) 画像領域のエッジをなぞります；(2) 塗りつぶします；(3) 切り取った領域をプレビューし、必要に応じてタッチアップします；(4) 切り取った領域を画像ウィンドウに持って行きます；(5) 切り取った領域を異なる背景画像に貼り付けます（オプション）。

画像領域を切り取るには

編集ワークスペース

- [レイヤー] パレットで、切り取る画像領域が含まれるレイヤーをクリックします。
- [画像] ▶ [オブジェクトの抽出] を選択します。
[オブジェクトの抽出] ダイアログボックスが表示され、既定ではブラシツール が有効になります。
- ブラシ サイズスライダーを移動してブラシのサイズを調整します。
- プレビュー領域で、切り取る画像領域のエッジに沿って線を引きます。
選択範囲の枠線が周囲の背景よりもわずかに大きく、その領域を完全に囲んでいて、線の両端が閉じていることを確認します。

5 [塗りつぶし] ツール  を選択し、切り取る領域の内側をクリックします。

オーバレイがクリックした領域の画像を覆います。

注意：選択範囲の枠線が閉じていないと、画像全体が塗りつぶされます。そうなった場合は、[消しゴム] ツール  をクリックして塗りつぶしをクリアしてから、ブラシツールで選択範囲の枠線を開じます。

6 [実行] をクリックして結果をプリビューします。

結果に満足できない場合は、[マスクの編集] をクリアして前のビューに戻り、切り取りをタッチアップします。

目的

選択範囲の枠線の一部分を消去する [消しゴム] ツール  を選択し、削除する選択範囲のマーキーの上にドラッグします。

最終結果のエッジの細かい部分を整形する オブジェクトの枠線が入り組んでいたり複雑な場合には [精度] スライダーを高い値に移動します。
[精度] スライダーは [実行] をクリックした後にのみ使用できます。

画像を初期状態に戻す [リセット] をクリックします。[リセット] ボタンは [実行] をクリックする前にのみ使用でき、塗りつぶしと選択範囲の枠線をクリアします。

塗りつぶしオーバレイとエッジの枠線 [マスクを隠す] チェック ボックスをチェックします。

ブラシまたは消しゴムの先にぴったりのサ [ブラシ サイズ] ボックスに値を入力 / 設定します。
イズを指定する

拡大 / 縮小 [ズーム] ボックスに値を入力 / 設定します。

画像を実際のサイズで表示する [実寸表示] ボタン  をクリックします。

画像をプレビュー領域全体に表示する [画面をウィンドウに合わせる] ボタン  をクリックします。

画像の別の領域にパンする [パン] ツール  を使用して、見たい領域が見えるまで画像をドラッグします。



[オブジェクトの抽出] コマンドを使用すると、背景レイヤーは自動的にラスタレイヤーに変換されます。



プレビュー領域で右クリックし、ドラッグすることにより、ブラシツールから消しゴムツールに切り替えられます。

画像領域の色を付け直してリアルな効果を演出する

[カラー チェンジャー] ツールを使用すると、画像内のオブジェクトまたは領域の色をリアルに付け直すことができます。[カラー チェンジャー] ツールの設定は、他のツールやコマンド ([塗りつぶし] ツール、ブラシのレタッチの一部、[単色効果] コマンド、[色相/彩度/明度] コマンド、[色相の補正] コマンドなど) とは異なり、特定の色の陰影を考慮します。[カラー チェンジャー] ツールは、画像の明るさを検出および分析し、照明に基づいて色を付け直します。

許容値やエッジのソフトネスの [ツール オプション] パレットの設定を調整して、[ツール オプション] パレットの設定または [マテリアル] パレットの色を変更すると、現在の色の付け直しが更新されます。

[カラー チェンジャー] ツールは、衣服、カーペット、ペイントしたオブジェクトなど、単色のマット オブジェクトで最も効果を発揮します。光沢のあるオブジェクトや反射するオブジェクトではありません。



クリックするだけで、少女の服の色を変更できます。

[カラー チェンジャー] ツールで色を塗り直すには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[カラー チェンジャー] ツール を選択します。

[カラー チェンジャー] ツールは [塗りつぶし] ツールと同じグループにまとめられています。

- 2 [マテリアル] パレットで、[色] ボタン をクリックして、[スタイル] ドロップリストから単色を選択します。
[マテリアル] パレットが非表示の場合は、[表示] ▶ [パレット] ▶ [マテリアル] を選択します。
リアルな色にするには、([マテリアルのプロパティ] ダイアログ ボックスで) [彩度] の値を 255 (彩度 100%) より 100 に近い値に設定します。
- 3 [カラー チェンジャー] ポインタを画像内の変更する色に置き、左クリックして前景 / 枠線の色で色を付け直すか、右クリックして現在の背景 / 内部の色で色を付け直します。
- 4 [適用] をクリックして、オブジェクトに色の変更を設定します。

目的

現在の画像に含まれる色を使用する

[色の選択] ツール を選択し、画像内の使用したい色をクリックした後、[カラー チェンジャー] ツールを選択して再びアクティブにします。

適用する色をすばやく変更する

[適用] をクリックする前に、[マテリアル] パレットで色をクリックします。

色の適用を調整する

[適用] をクリックする前に、[ツール オプション] パレットで次のコントロールのいずれかを調整します。

- [許容値] – 現在の色がどの程度その色と一致したら色を付け直すかを決定します。大きい値を設定すると、より多くのピクセルの色が付け直されます。
- [エッジのソフト] – 色を付け直されるピクセルの周辺のピクセルに影響を与える度合いを決定します。値を大きく設定すると、色の付け直しがより拡散されます。



[カラー チェンジャー] ツールを使用している間は、色の調整や[ツールオプション]パレットの設定の調整などの操作を元に戻したり、やり直すことができます。



色を付け直す領域を分離するには、選択範囲を作成します。選択範囲の作成の詳細については、ページ119の「選択範囲を作成する」を参照してください。

変更しない写真の領域に[カラー チェンジャー]の効果が及ばないようにするには、写真があるレイヤーを複製し、その新しいレイヤーに[カラー チェンジャー]を適用します。次に、[消しゴム]ツールを使用して、色が変更された領域のうち復元する領域を消去します。その後、2つのレイヤーを結合します。

境界線を追加する

画像の周囲に色の付いた枠線や境界線を加えることができます。画像に境界線を加える場合、画像サイズは境界線に合わせられます。

複数のレイヤーからなる画像に対しては、境界線を加える前に、レイヤーを結合するようにCorel PaintShop Proから求められます。ただし、キャンバスのサイズを変更することで、レイヤーを結合することなしに境界線を加えることもできます。詳細については、ヘルプの「キャンバスのサイズを変更する」を参照してください。



画像の周りに容易に境界線を加えることができます。

画像に境界線を加えるには

編集ワークスペース

1 [画像]▶[境界線を加える]を選択します。

[境界線を加える]ダイアログボックスが表示されます。

2 次のいずれかの操作を行います。

- [左右対称] チェックボックスをチェックして、画像の周囲に等幅の境界線を作成します。
- さまざまな幅の境界線を作成するには、[左右対称] チェックボックスのチェックを外して、[ピクセル単位のサイズ] グループボックスにあるコントロールの境界の幅の値を設定します。

3 [色] ボックスをクリックして、境界線の色を選択します。

4 [OK] をクリックします。



[元のサイズ] グループ ボックスのドロップリストからオプションを選択して、境界線のための測定の単位を変更することができます。

[スマート カーバー]による写真の拡大 / 縮小

[スマート カーバー]により、写真の内容を歪ませずに、写真を狭く、広く、短く、または長くできます。写真内の構成的な詳細の少ない部分を自動的に検出・除去することにより、画像を大きく変更せずに縦横比を変えることができます。詳細の程度にかかわらず、写真から特定の部分も除去したり、特定のオブジェクトや画像領域を保持する事もできます。



[スマート カーバー]は画像を拡大 / 縮小するときの領域を選択して削除または保護します。

[スマート カーバー]を使用してオブジェクトを除去 / 保持するには

編集ワークスペース

- 1 [画像]▶[スマート カーバー]を選択します。

[スマート カーバー]ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 写真内のオブジェクトまたは領域を除去 / 保持するには、以下のどちらかまたは両方の操作を行います。

- [除去] ボタン をクリックし、写真の除去する部分に **除去** ブラシを適用します。
- [保持] ボタン をクリックし、写真の保持する部分に **保持** ブラシを適用します。

オブジェクト除去領域で、**ブラシ サイズ**スライダーを左に移動するとブラシ サイズが小さくなり、右に移動するとブラシ サイズが大きくなります。

- 3 1つまたは複数の [スマート カーバー]オプションを適用して、写真を拡大 / 縮小します。

目的

ブラシストロークの削除	[消しゴム] ボタン をクリックし、消去するブラシストロークに適用します。
拡大 / 縮小表示する	ズームボックスで、拡大レベルを入力するか、スライダーまたは矢印を使用してズームレベルを調整します。
パンして写真の隠されたエリアを表示	[パン] ボタン をクリックして、プレビュー領域でドラッグします。
プレビュー領域のブラシストロークを隠す [マスクを隠す] チェック ボックスをチェックします。	
写真の元の状態にリセットする	[リセット] をクリックします。

[スマートカーバー]で写真を拡大／縮小するには

編集ワークスペース

1 [画像]▶[スマートカーバー]を選択します。

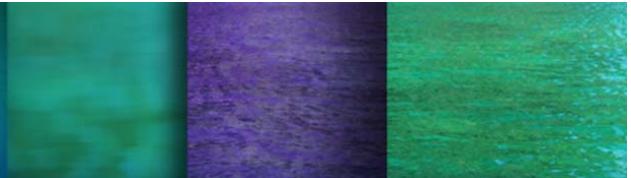
[スマートカーバー]ダイアログボックスが表示されます。

2 スマートカービング領域で、次の表から1つまたは複数の作業を実行し、[OK]をクリックします。

プレビュー領域で拡大／縮小の結果を見ることができます。

目的	操作方法
写真の幅を設定する	[幅]ボックスに値を入力／設定します。 注意：最大幅は元の写真の幅の2倍です。
写真の高さを設定する	[高さ]ボックスに値を入力／設定します。 注意：最大高さは元の写真の高さの2倍です。
画像の幅を1ピクセルずつ減少する	画像が希望の幅になるまで、[水平画像縮小]ボタン  をクリックします。
画像の高さを1ピクセルずつ減少する	画像が希望の高さになるまで、[垂直画像縮小]ボタン  をクリックします。
画像の幅を1ピクセルずつ増加する	画像が希望の幅になるまで、[水平画像拡大]ボタン  をクリックします。
画像の高さを1ピクセルずつ増加する	画像が希望の高さになるまで、[垂直画像拡大]ボタン  をクリックします。
[除去]ブラシを適用した領域を自動的に削除するために、画像の幅を減少する	[自動水平縮小]  ボタンをクリックして赤で塗られた部分を除去します。
[除去]ブラシを適用した領域を自動的に削除するために、画像の高さを減少する	[自動垂直縮小]  ボタンをクリックして赤で塗られた部分を除去します。

露出とコンテンツの結合



2枚以上の写真を組み合わせると、印象的な結果を作り出すことができます。以下が行えます。

- HDR（ハイ ダイナミック レンジ）露出結合を使って、完全な露出の画像を作成する。
- 不要な部分（車、人、フレームを横切って飛んでいく鳥など）を適切な背景と継ぎ目なく交換する。
- 複数の写真の要素を1つの画像にクリエイティブに組み合わせる。

デジタル一眼レフカメラを使用している場合には、同じシーンの複数の写真を撮影する上で役立つ機能が使えるでしょう。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- HDRについて
- HDR処理用の写真撮影
- HDR露出結合の使用による写真の結合
- 1枚のRAW写真を使って、HDR効果を作成する
- 写真のバッチをHDR画像に結合する
- スマートリムーブで写真を結合する

HDRについて

写真技術では、HDRはハイダイナミックレンジを意味します。ダイナミックレンジとは、最も暗いシャドウから最も明るいハイライトまでの写真でキャプチャできる光の範囲です。

人間の眼とは異なり、デジタルカメラのセンサー（または従来のカメラのフィルム）は、大きな窓がある室内のような、非常に明るい領域と非常に暗い領域の両方を持った撮影シーンの場合、限定されたダイナミックレンジしかキャプチャできません。HDR処理は、二倍の情報量を持った32ビット画像を作成します。そのため、階調の間に通常のJPGよりも多くの段階があります。さらに、このHDR画像は均等に露出され、最明部の鮮明度を失わずに最暗部の細部が分離されます。また、「修正可能な」境界を越えた場合には、HDRは非現実的な、プラスチック状、または「ハイパリアルな」トーンを作り出すことができ、それ自体がクリエイティブな技法となっています。一般的に、HDRファイルは最終出力では16ビット画像形式に戻す必要があります。



上部の写真は異なる露出レベルで撮影された後で、美しい露出の1枚の画像を作り出すために合成されました。

HDR処理用の写真撮影

HDR処理の経験がない場合は、以下の情報が役立つでしょう。

HDRに合うカメラの機能

お持ちのカメラにオートブラケットがある場合は、これを使うことができます。または、絞り優先モードを使い、シャッター速度を調節して異なる露出を実現できます。被写界深度が変化して写真にぶれが発生するので、絞りの変更は避けます。オートブラケットオプションや絞り優先モードについては、カメラのユーザーマニュアルを参照してください。

HDR用に撮影する写真枚数

通常は、3枚の写真が基準（最低2枚）となります。コントラストが非常に強いシーンを撮影するには、5枚以上（最大9枚）撮影します。

使う露出設定

写真間で初期設定として露出2.0(EV)を試してください。多くの写真枚数を撮影する場合は、露出設定を低い増分値に設定できますが、広い範囲の露出をカバーするのに十分な撮影枚数があることを確認してください。オートブラケットを使用する場合は、カメラの露出値間隔が制限される場合があります（最大+/-1.0など）。

三脚を使う

三脚を使うことが最善ですが、少なくとも手を安定させる必要があります（たとえば、壁に接して安定させる、など）。三脚を使うと、HDR処理を使用する際に写真の整列の問題が少なくなります。

HDR 露出結合の使用による写真の結合

露出結合を使って、HDR（ハイ ダイナミック レンジ）処理により 2 枚以上の写真を結合できます。



露出結合

露出結合に適した写真撮影については、ページ 82 の「HDR 処理用の写真撮影」を参照してください。

露出結合は、次の 3 つの手順の処理を使います。

- **結合** – 必要に応じて結合設定を選択し、カスタム編集を適用します。
- **HDR 調整** – 写真を結合したら、調整を行い、結合と微調整を決定する前に、結果を編集可能な HDR ファイルに保存できます。
- **微調整** – ノイズ除去やシャープニングのオプションや、調整ワークスペースのその他のツールを使って、画像を仕上げます。作業が終わったら、標準的なファイル形式に保存して、露出結合を閉じます。

各手順の詳細については、以下のトピックを参照してください。

手順 1: 結合

結合の設定には次のものがあります。

- **カメラ応答カーブ プロファイル** – ご使用のカメラのセンサーの既知の特性に基づいて、画像にカーブ調整を適用します。
- **配置** – フィーチャベース（写真のフィーチャを検出）か エッジベース（写真内のエッジを検出）を選択します。
- **カスタム編集** – 各写真で残す領域（ブラシイン）か除去する領域（ブラシアウト）を選択します。カスタム編集は、しばしば「ゴースト」を除去するために適用されます – 移動する対象を撮影した写真の結合により発生した半透明の効果。

手順 2: HDR 調整

写真を結合したら、プリセットの適用、プリセットのカスタマイズ、またはゼロから外観を作成して、結果の HDR 画像を調整できます。実験してみることが重要です。新しいプリセットととしてカスタム設定を保存できます。事前設定は、保存、読み込み、削除、リセットにより管理できます。

HDR 調整ウィンドウ内のすべての調整オプションが、HDR、32 ビットファイルで使用できます。HDR ファイルはすべての設定とともに保存することができ、後で開いて、変更することができます。手順 2 を完了したら、最後の手順 3 に移動します。アプリケーションは 16 ビット画像に保存して出力用に画像を準備します。

手順 3: 微調整

最後の手順では、露出結合を終了する前に、結合した画像を微調整します。微調整ウィンドウのコントロールボタンは、調整ワークスペースのコントロールボタンに基づいています。

微調整のヒント :

- デジタルノイズ除去は、写真を結合した際に発生したノイズを除去する素晴らしいツールです。
- 高域シャープネスは、写真の間の移動により発生したぼやけた部分を減らすことができます。
- スマート修整とホワイトバランスは、カラーを微調整できます。
- イメージ全体を明るくするには、明るさ / コントラストの調整を試してみます。暗い部分だけを明るくするには、フィルライト / 明確化を試してみます。
- ローカルトーンマッピングとフィルライト / 明確化は、画像の細部をさらに強調するために使用できます。

露出結合の結合オプションを選択するには (手順 1)

1 管理ワークスペースで、結合する写真のサムネイルを選択します。

オレンジ色の輪郭が選択した写真のサムネイルの周りに表示されます。

2 [ファイル] ▶ [HDR] ▶ [露出結合] をクリックします。

3 手順 1: 結合ウィンドウで、[カメラ応答カーブ プロファイル] ドロップリストからプロファイルを選択します。

何を選べばいいか分からない場合は、[自動選択] を選択します。

EV 間隔スライダーが表示されている場合は、写真間に使用した露出値を設定します。

4 配置領域で、[方式] ドロップリストから配置タイプを選択します。

重なっていないエッジをトリミングするには、[自動トリミング] チェックボックスを選択します。

5 [整列] をクリックします。

結果を見るには、[配置のプレビュー] チェックボックス (パネルの下部付近) を有効にします。

6 個々の写真から特定の領域を保持または除去するには、カスタム編集領域のコントロールを使用します。ページ 85 の「露出結合の劣化をブラシインまたはブラシアウトするには」を参照してください。

7 [実行] をクリックします。

結合設定が適用され、手順 2: HDR 配置ウィンドウが表示されます。

結合設定を微調整するには、[戻る] をクリックして手順 1 ウィンドウに戻ります。



HDR 露出結合とスマートリムーブは、同じ結合ユーティリティの一部であるため、同時に開くことはできません。

三脚を使っていない場合や、安定した状態で撮影されていない場合は、写真の間に配置のずれが発生する可能性があります。配置のずれが大きい場合は、その写真を HDR に使用できない場合があります。



結合トレイに写真を追加したり、削除するには、露出結合ウィンドウの下部のトレイにある [写真の追加] ボタン または [写真の除去] ボタン をクリックします。

露出結合の劣化をブラシインまたはブラシアウトするには

- 1 手順 1: 結合プレビュー領域の下に表示されるトレーで、サムネイルをクリックします。
- 2 カスタム編集領域で、次のいずれかを行います。
 - [ブラシイン] をクリックし、プレビュー領域で、保持したい領域の上をドラッグします。正確に行う必要はありません。
 - [ブラシアウト] をクリックし、プレビュー領域で、除去したい領域の上をドラッグします。
 - アプリケーションの自動検出により、ゴーストを除去したい場合は、[自動ブラシ] をクリックします。自動ブラシは、三脚なしで撮影した写真のフィーチャーエッジに沿ったゴーストの除去に効果的に機能します。車や人などの大きなゴーストの対象には、推奨されません。
- 3 編集する写真のそれぞれにプロセスを繰り返します。

目的

ブラシのサイズを変更する	[ブラシサイズスライダー] をドラッグします。
ブラシストロークの整形または消去	[消しゴム] をクリックして、プレビュー領域のブラシストロークの上をドラッグします。
ブラシストロークをすべて除去する	[クリア] をクリックします。
ブラシストロークの色を変更する	[ブラシイン] または [ブラシアウト] の色サンプルをの横にある矢印をクリックして、新しい色をクリックします。
プレビュー領域のブラシストロークの表示 / 非表示	[ブラシストロークを表示する] チェック ボックスを選択または選択解除します。

露出結合で HDR 画像を調整するには (手順 2)

- 1 手順 2: HDR 調整ウィンドウ、希望する外観にするには、次のいずれかを行います。
 - 設定領域で、事前設定サムネイルをクリックします。
 - [ホワイトバランス] チェック ボックスを選択して、[自動] をクリックするか、[色の選択ツール] をクリックして、ホワイトポイントを設定するために画像をクリックします。[温度] スライダーをドラッグして、画像の色を暖色または寒色にして、[ティント] スライダーをドラッグして、色を微調整します。
 - [コントラスト]、[ハイライト]、[中間調]、および [シャドウ] スライダーをドラッグして、トーンとコントラスト全体を調整します。
 - [自然な彩度] スライダーをドラッグして、色の彩度を上げ下げします。
 - 詳細ドロップリストから、[ナチュラル詳細] または [クリエイティブ詳細] を選択し、それぞれのスライダーをドラッグして、ローカル詳細の量を調節します。
- 白黒処理に重点を置く場合は、設定領域の下にある [白黒] タブをクリックします。カラー処理を再び有効にするには、[カラー] タブをクリックします。

- 2 HDR 画像を将来編集できるように保存するには、[HDR ファイルの作成] をクリックして、希望するフォルダーに移動し、ファイル名を入力して、[保存] をクリックします。
これは画像の内容を保存します。調整を設定として保存することもできます。
- 3 [実行] をクリックします。
設定が画像に適用され、最終出力の準備として 16 ビット ファイルとして保存されます。手順 3: [微調整] ウィンドウが表示されます。

露出結合で事前設定を管理するには

- 手順 2 の設定領域の HDR 調整ウィンドウで、次の表のタスクを実行します。

目的	操作方法
調整を設定として保存する	[設定の保存] ボタン をクリックして [設定の保存] ダイアログ ボックスに名前を入力します。設定領域にサムネイルが追加されます。
設定ファイルのインポート	[プリセットオプション] ボタン をクリックし、[ロード] をクリックしてファイルに移動します。
設定の削除	設定のサムネイルをクリックし、[プリセットオプション] ボタンをクリックして、[削除] をクリックします。
既定の事前設定リストを復元する	[プリセットオプション] ボタンをクリックし、[リセット] をクリックします。確認ダイアログ ボックスで [はい] をクリックします。カスタムの事前設定がすべて削除されます。
事前設定を表示または非表示にする	矢印キー ▶ を [設定] バーでクリックします。

HDR 処理した画像を微調整して保存するには (手順 3)

- 手順 3: 微調整ウィンドウで、ツールまたは調整オプションのいずれかを適用して、最終画像を調整します。
- 次のいずれかの操作を行います。
 - 写真の編集を続ける場合は、[編集] をクリックして、[編集] ワークスペースでファイルを開きます。[露出結合] ウィンドウは開いたまま残ります。
 - [保存して閉じる] をクリックしてファイルを保存し、[露出結合] を閉じて、最後に使ったワークスペースに戻ります。



ズームイン画像のサイズがプレビュー領域のサイズを超えると、パンツール をクリックして、矩形を移動してプレビュー領域を選択できます。

1 枚の RAW 写真を使って、HDR 効果を作成する

1 枚の RAW 写真を 3 つの露出に分割し、HDR 効果を作成するために露出を再び結合します。これは「本当の」HDR ではありませんが（複数の写真を結合してトーン範囲を拡張していません）、強力な HDR ツールを使って、1 枚の写真のトーンの範囲を最適化できます。



1 枚の RAW 写真を使用して HDR 効果を作成し、その写真的トーン範囲を最適化したもの。

1 枚の RAW 写真を使って、HDR 効果を作成するには

- 1 管理ワーカースペースで、RAW 写真のサムネイルを選択します。
オレンジ色の輪郭が選択した写真のサムネイルの周りに表示されます。
 - 2 [ファイル] ▶ [HDR] ▶ [1 枚の RAW から作成] をクリックします。
 - 3 手順 1: [写真を分割] ウィンドウで、[カメラ応答カーブ プロファイル] ドロップリストからプロファイルを選択します。
何を選べばいいか分からぬ場合は、[自動選択] を選択します。
 - 4 [EV 間隔] スライダーをドラッグして、シミュレートした露出間隔を設定します。この値は、写真を 3 つのバージョンに分割するために使用されます。
真ん中の露出を 0 に設定したくない場合は、[中心露出] スライダーをドラッグして新しい値に設定します。
 - 5 [写真を分割] をクリックして、写真を 3 つのバージョンに分割します。3 つのサムネイルがトレイに表示されます。
 - 6 結果が満足できるものであれば、[実行] をクリックします。
- これで、手順 2 と手順 3 のウィンドウの HDR コントロールを使用して、写真を最適化できます。詳細については、ページ 85 の「露出結合で HDR 画像を調整するには（手順 2）」およびページ 86 の「HDR 处理した画像を微調整して保存するには（手順 3）」を参照してください。

写真のバッチを HDR 画像に結合する

オートブラケットを通常使用している場合は、HDR（ハイ ダイナミック レンジ）画像として処理できる多くの写真を蓄積できます。一括結合機能を使用すると、段階露出した写真の各セットを HDR 画像に素早く結合できます。その後で、露出結合機能でより強力な HDR ツールの候補となるセットを評価できます。場合によっては、一括結合だけで必要な HDR 処理が行える場合があります。

一括結合は、写真間の時間（定義された時間枠内）や、定義されたセット当たりの写真枚数に基づいて、写真をセットで構成します。

写真のバッチを HDR 画像に結合するには

- 1 管理ワークスペースで、結合する写真のサムネイルを選択します。
オレンジ色の輪郭が選択した写真のサムネイルの周りに表示されます。
- 2 [ファイル] ▶ [HDR] ▶ [一括結合] をクリックします。
デフォルトでは、写真是 3 つのグループに分類されます。
設定領域で、サムネイルをクリックして処理スタイルを設定します。設定の詳細については、ページ 86 の「露出結合で事前設定を管理するには」設定調整を適用する代わりに、アプリケーションに標準の HDR 処理を実行させたい場合は、この手順を省略します。
- 3 [处理済みファイルの保存先] ボックスの横にあるフォルダー アイコンをクリックして、処理したファイルを保存するフォルダーを検索します。
- 4 [名前を付けて保存] ドロップリストからファイルのタイプを選択します。
JPEG を選択する場合は、[JPEG 画質] スライダーをドラッグして、処理する画像のファイル サイズと画質を設定します。
処理するファイルの .hdr バージョンを保存する場合は（これにより、露出結合で編集できます）、[.hdr ファイルを保存] チェック ボックスを選択します。
- 5 [写真グループの種類] ドロップリストで、次のいずれかを選択します。
 - [設定] – [写真数 / セット] ボックスで数を選択できます。このオプションは、所定のバッチで段階露出の撮影を一貫して行う場合に、効果的に機能します。
 - [時間] – [秒 / グループ] ボックスで時間間隔を選択できます。このオプションは、段階露出のセットで写真枚数を変える場合に効果的に機能します。
- 6 写真を三脚なしで撮影した場合は、[自動整列] チェック ボックスを有効にして、[方式] ドロップリストから配置オプションを選択します。
写真の余白に沿って整列していないエッジをトリミングする場合は、[自動トリミング] チェック ボックスを選択します。
- 7 [実行] をクリックします。
処理には、写真のサイズや枚数に応じて多少時間がかかる場合があります。
これで、処理したファイルを保存した場所に移動して、それを評価することができます。



[一括結合] ウィンドウからサムネイルを除去するには、写真を選択して Delete キーを押します。

スマート リムーブで写真を結合する

スマート リムーブでは、同じシーンの 2 枚以上の写真を結合して、シーンから除去するものや、保持するものを正確に選択できます。以下に一部の例を示します。

- 人や車などの移動する物体を写真から除去します – 雜踏の街に誰もいない通りを作ることができます。
- 眼を閉じたり、横を向いた人がいるグループの撮影を修正します – 別の写真のより良いポーズと交換するだけです。
- 1 枚の写真に同一人物を複数回示して、クリエイティブな作品に仕上げます。



スマートリムーブを使って完璧なグループ写真が作成できます。

スマートリムーブを使うための写真の取り方

三脚を使用するか、カメラを安定した状態に保って、2枚以上の写真を数秒の間隔をあけて撮影します。すべての写真に同じカメラの設定を使用します。



写真のヒント：カメラの手動設定を使って、写真が同じサイズ、絞り、シャッター速度、およびISOで撮影できるようにします。

スマートリムーブを使用するには

- 1 管理ワークスペースで、ブレンドする写真のセットを選択します。
- 2 [ファイル]▶[スマートリムーブ]をクリックします。
- 3 配置領域で、[整列]をクリックします。

結果を見るには、[配置のプレビュー]チェックボックス(パネルの下部付近)を有効にします。

写真の余白に沿って整列していないエッジをトリミングする場合は、[自動トリミング]を選択します。

- 4 トレイでサムネイルをクリックします。

対応する写真がプレビュー領域に表示されます。

- 5 カスタム編集領域で、次のいずれかを行います。

- [ブラシイン]をクリックし、プレビュー領域で、保持したい領域の上をドラッグします。正確に行う必要はありません。
- [ブラシアウト]をクリックし、プレビュー領域で、除去したい領域の上をドラッグします。
- アプリケーションに画像の違いを自動検出させる場合は、[自動ブラシ]をクリックします。ブラシマークをそのまま残して、ゴーストやその他の差異が除去されるようにするか、カスタムブラシストロークの開始点として使用します。
- [動画オブジェクトを含む]チェックボックスを有効にし、[自動ブラシ]をクリックして写真間の違いを自動検出して保持します(たとえば、多目的画像を作成する場合など)。

- 6 トレイのサムネイルをクリックし、ブラシストロークを適用して、他の写真に編集処理を繰り返します。

- 7 [実行] をクリックします。
プレビュー領域で結果をレビューします。設定を調整したい場合や、編集を続行したい場合は、[戻る] をクリックします。
- 8 手順 2: [微調整] ウィンドウで、ツールまたは調整コントロールのいずれかを使用して、画像を微調整します。
- 9 次のいずれかの操作を行います。
 - 写真の編集を続ける場合は、[編集] をクリックして、[編集] ワークスペースでファイルを開きます。[スマートリムーブ] ウィンドウは開いたまま残ります。
 - [保存して閉じる] をクリックしてファイルを保存し、[スマートリムーブ] ウィンドウを閉じて、最後に使ったワークスペースに戻ります。

目的

ブラシのサイズを変更する	ブラシサイズスライダーをドラッグします。
ブラシストロークの整形または消去	消しゴムをクリックして、プレビュー領域のブラシストロークの上をドラッグします。
ブラシストロークをすべて除去する	[クリア] をクリックします。
ブラシストロークの色を変更する	[ブラシイン] または [ブラシアウト] の色サンプルをの横にある矢印をクリックして、新しい色をクリックします。
プレビュー領域のブラシストロークの表示 / 非表示	[ブラシストロークを表示する] チェックボックスを選択または選択解除します。



最良の結果を得るには、手順 1 ウィンドウのトレイで、変化が最も少ない画像のサムネイルをクリックし、[ロック] ボタン をクリックして、選択した画像を背景として使用します。背景をロック解除するには、[ロック] ボタンを再びクリックします。

色やマテリアルを使用する

画像に色を適用したり写真の色を修整する場合は、Corel PaintShop Pro がどのような方法で色を扱っているのかを理解することが重要です。このセクションでは、ペイント、描画、塗りつぶしなどの作業に画像で使用する色やマテリアルを選択する方法を説明します。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- マテリアルパレットを操作する
- カラーピッカーを使用して色を選択する
- 画像またはデスクトップから色を選択する

グラデーション、パターン、テクスチャなどの色やマテリアルの使用についての詳細は、ヘルプの「色やマテリアルを使用する」を参照してください。

マテリアルパレットを操作する

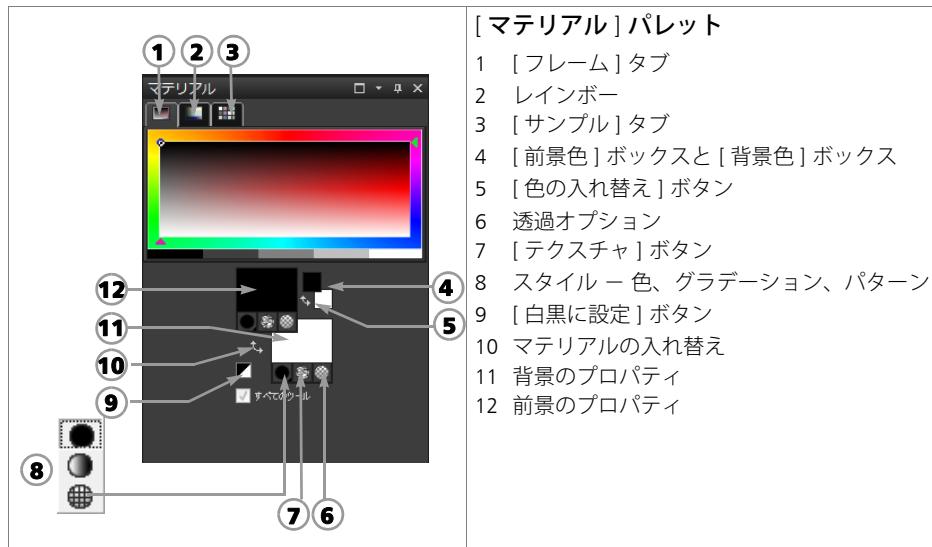
Corel PaintShop Pro を使用すると、多彩なスタイルとマテリアルを使用してペイントしたり、描画したり、塗りつぶすことができます。

- スタイルとは、単色、グラデーション、パターンのことです。
- スタイルにテクスチャを加えたのがマテリアルです。

スタイルとマテリアルは [マテリアル] パレットで選択できます。

[マテリアル] パレットはいつでも表示でき、作業中も開いたままにしておくことができます。[マテリアル] パレットを使用しないときは、閉じることができます。

前景と背景の色やマテリアルを反転することもできます。



マテリアル パレットの主なコンポーネント

- [フレーム] タブ – 外側の [色相] 領域と内側の [彩度] 領域が、白、3階調のグレースケール、黒に分かれた帯とともに表示されます。縦のスライダーをドラッグすれば明度、横のスライダーをドラッグすれば彩度を調整できます。
- [レインボー] タブ – [利用できる色] パネルを表示します。このパネルをクリックして色を選択します。このタブの一番下には、白色、黒色、3段階のグレーを選択するための部分があります。
- [サンプル] タブ – サンプルを表示します。サンプルとは、再び使用することができるよう保存されたマテリアルのことです。
- [前景のプロパティ] と [背景のプロパティ] ボックス – 現在の前景および背景マテリアルを表示します。これらのマテリアルはスタイル(色、グラデーション、またはパターン)とオプションのテクスチャで構成されています。これらのボックスをクリックして [マテリアル プロパティ] ダイアログボックスを表示し、マテリアルオプションを設定することができます。
- [前景色] と [背景色] ボックス – 現在の前景と背景色を表示します。現在のマテリアルに関係なく色を設定できます。
- [スタイル] ボタン – 現在選択されている色、グラデーション、またはパターン のスタイルを表示します。最近選択した色 / グラデーション / パターンの間で変更するには、ドロップリストから [スタイル] ボタンをクリックして新しいスタイルを選択します。
- [テクスチャ] ボタン – 現在選択しているテクスチャを適用するかどうかを切り替えます。
- [白黒に設定] ボタン – 前景色を黒に、背景色を白に設定します。選択範囲機能を使用する際に便利です。
- [透過] ボタン – 前景または背景のマテリアルが透明であることを示します。透明のマテリアルは主として、ベクター オブジェクトやベクター テキストに対して使用されます。前景のマテリアルが透明に設定されている場合は、輪郭線が現れません(オブジェクトやテキストは内部が塗りつぶされているだけとなります)。背景のマテリアルが透明に設定されている場合は、内部が塗りつぶされません(オブジェクトやテキストは輪郭線で囲まれているだけとなります)。

- [すべてのツール] チェック ボックス – 選択した前景および背景のマテリアルをすべてのツールに適用するかどうかを指定します。このチェック ボックスのチェックを外すと、選択したマテリアルは使用中のツールにのみ適用されます。[すべてのツール] チェック ボックスは [テキスト編集] コマンドには適用されません。

マテリアルパレットを表示/非表示にするには

編集ワークスペース

- [表示] ▶ [パレット] ▶ [マテリアル] を選択します。

前景色と背景色またはマテリアルを入れ替えるには

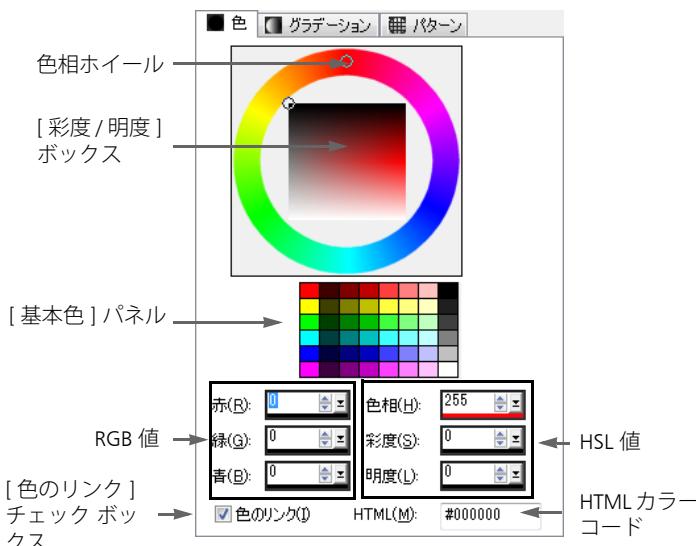
編集ワークスペース

- [マテリアル] パレットから、[色の入れ替え] ボタン をクリックするか、[マテリアルの入れ替え] ボタン をクリックします。

カラー ピッカーを使用して色を選択する

Corel PaintShop Pro で画像を編集する際、ペイント、描画、塗りつぶし、手動による色調補正や、新しいラスター画像の背景色の選択などを行う前に色を選択しておく必要があることがあります。カラー ピッカーは最も用途の広い、色を選択するためのツールです。

カラー ピッカーは、[背景のプロパティ] ボックス、[前景のプロパティ] ボックス、または 2 つの小さなカラー ボックスのいずれかをクリックすると表示されます。他のダイアログ ボックスにあるカラー ボックスをクリックしても表示されます。



カラー ピッカーの外観は現在の画像の色数によって異なります (16 ビット / チャネル、8 ビット / チャネル、256 色、16 色、または 2 色)。

カラー ピッカーには色を選択する数多くの方法が用意されています。

- カラー(色相)ホイールと[彩度/明度]ボックスを使用すると、色を選択してプレビューすることができます。
- [基本色]パネルには、よく使用する色が表示されます。
- RGB または HSL の各値により、赤/緑/青または色相/彩度/明度を指定して色を選択することができます。
- HTML カラー コードを使用すると、HTML カラー値を入力できます。
- カラー ピッカーを使用すると、現在の画像から色を選択することができます。

既定では、Corel PaintShop Pro はカラー ピッカー内の値を 10 進数で表示するようになっています。これらの数値は、HTML で色を表すために使用する 16 進数で表示することもできます。

カラー ピッカーを使用して色を選択するには

編集ワークスペース

1 [マテリアル] パレットで次のいずれかの操作を行います。

- 前景色を選択するには、[前景のプロパティ] ボックスまたは[前景色]ボックスをクリックします。
- 背景色を選択するには、[背景のプロパティ] ボックスまたは[背景色]ボックスをクリックします。
- [マテリアルのプロパティ] ダイアログ ボックスまたは[色] ダイアログ ボックスが表示されます。
- [マテリアルのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示された場合は、[色] タブをクリックします。

2 色相ホイールをクリック/ドラッグして、おおよその色を選択します。

3 [彩度/明度] ボックス内をクリックまたはドラッグして、選択した色の彩度と明度を設定します。 目印を左から右に動かすと彩度を調整し、上から下に動かすと明度を調整します。

目的

色サンプルをクリックして基本色を選択 カラー ホイールの下に表示される [基本色] パネルで色サンプルをする クリックします。

赤、緑、青 (RGB) 値を指定して色を選択 [赤]、[緑]、[青] の各ボックスに値を入力します。
する

色相、彩度、明度 (HSL) の値を指定して色 [色相]、[彩度]、[明度] の各ボックスに値を入力します。
を選択する

HTML コードを使用して色を指定する [HTML] ボックスに HTML カラー コードを入力します。

RGB または HSL の色の値を個々に、あるいは他の色との組み合わせで確認する [色のリンク] チェック ボックスのチェックを外し、RGB や HSL の各値のドロップダウン スライダーで選択した色を表示します(たとえば、赤のスライダは赤の度合い、0 から 255 のみ表示)。[色のリンク] チェック ボックスをチェックして、他の 2 色との組み合わせで現在の色を表示するようにします。



[マテリアル] パレットの [フレーム] タブまたは [レインボー] タブから直接色を選択することもできます。[フレーム] タブにはよりコンパクトな、カラー ホイールの矩形のバージョンとそのコントロールが含まれています。[レインボー] タブには選択できるすべての色が表示されます。前景色をクリックして選択するか、右クリックして背景色を選択します。

マテリアルパレットのカラー ボックスを右クリックすると、最近使用した色にアクセスできます。[最近使った色] ダイアログ ボックスで、[その他] をクリックして、[マテリアルプロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。

現在の色をすべてのツールで使用するには、[マテリアル] パレットで [すべてのツール] チェック ボックスをチェックします。このチェック ボックスのチェックを外すと、現在のマテリアルは使用中のツールでのみ使用されます。

画像またはデスクトップから色を選択する

前景色や背景色はすべての開いている画像、または Corel PaintShop Pro にあるすべての色（ツールバー上の色など）から選択できます。この機能は特定のアイコンの色を使用する、または Windows デスクトップの色に合わせる場合に役立ちます。Windows 2000 以降のバージョンの Windows を使用している場合は、他のアプリケーションから色を選択することもできます（ワープロ ソフトのウィンドウ上で表示されている色など）。

作業中の画像から色を選択するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーの [色の選択] ツール  を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、目的のオプションを設定します。
 - [サンプル サイズ] ドロップリスト – サンプリングする目的のピクセル適用範囲を指定します。
 - [すべてのレイヤーを使う] チェック ボックス – すべての画像レイヤーからサンプリングする場合は、このチェック ボックスをチェックします。
- 3 画像内で色をクリックするとその色が前景色に、右クリックするとその色が背景色に設定されます。



ブラシツール（[ペイント ブラシ] ツール、[消しゴム] ツールなど）を使用中に画像から色を選択するには、Ctrl キーを押しながら画像をクリックします。クリックすると前景色、右クリックすると背景色を選択できます。

カラー ピッカーを開いている場合、現在選択しているツールとは関係なく、すべての開いている画像から色を選択できます。

デスクトップから色を選択するには

編集ワークスペース

- 1 必要な色が画面に表示されていることを確認します。
- 2 [マテリアル] パレットやダイアログ ボックスの中にある [前景色]/[背景色] ボックスまたは [前景のプロパティ]/[背景のプロパティ] ボックスにマウス ポインタを置きます。
- 3 Ctrl キーを押しながら、マウス ポインタを割り当てたい色のあるデスクトップの領域に置きます。
- 4 クリックして色を選択します。

選択した色が選択した [前景色]/[背景色] ボックスまたは [前景のプロパティ]/[背景のプロパティ] ボックスに表示されます。

色の選択を変更する場合は、Ctrl キーを押しながらデスクトップの別の場所をクリックします。



サンプリングできる領域にマウス ポインターを置くと、ポインターの後に小さなウィンドウが表示され、その中にサンプリングの色の RGB 値が表示されます。

効果を適用する

Corel PaintShop Pro では、3D、アーティスティック、照明、反射、写真をはじめとした、数多くの特殊効果を画像に適用することができます。画像にフレームを追加したり、画像でペイントしたり、画像の領域を歪ませて、独特の効果を作成することもできます。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- 効果を選択する
- フォト効果を適用する
- レトロ ラボを使用する
- グラデーションフィルター効果を適用する
- タイム マシンでビンテージ スタイルの写真を作成する
- 写真にフィルムとフィルターの効果を適用する
- 画像にピクチャ フレームを追加する
- ピクチャ チューブ ツールを使用する
- 画像を歪ませる

Corel PaintShop Pro で使用できる効果のリストについては、ヘルプの「効果を適用する」を参照してください。

効果を選択する

効果メニュー、インスタント効果、または効果ブラウザーを使用して、効果を選択できます。

ほとんどの効果は、ダイアログ ボックスで設定を調整することでカスタマイズできます。効果を適用するためのダイアログ ボックスには、いくつかの共通した機能があります。

- [変更前] プレビューには元の画像が表示され、[変更後] プレビューでは、現在の設定を適用した画像をプレビューできます。
- [設定のロード] ドロップリストは、既定では「前回使った設定」に設定されています。[設定] を使用すると、複数の画像に同じ設定を適用できます。



効果のダイアログボックスの例。

インスタント効果パレットを使用する

インスタント効果パレットを使用すると、設定した効果を素早く適用できます。これは、複数のワークスペースで使用可能であり、コントロールを調整せずに効果を簡単に適用する方法です。任意の効果ダイアログボックスで設定を作成すると、その設定は自動的にインスタント効果パレットのユーザー定義カテゴリーに表示されます。



インスタント効果パレット

効果ブラウザを使用する

画像に効果を適用する前に複数の効果をプレビューする場合は、効果ブラウザを使用することができます。効果ブラウザには、Corel PaintShop Pro の既定の設定とユーザー作成の設定の両方が表示されます。

効果ブラウザでサムネイルのプレビューを表示するために、Corel PaintShop Pro は効果の既定の設定や既に保存されている設定を画像に適用します。設定は、Corel PaintShop Pro ファイル形式のスクリプト (PspScript) として保存されます。

[効果] メニューから効果を選択するには

編集ワークスペース

- 1 [効果] メニューから効果カテゴリーを選択し、効果を選択します。たとえば、[効果]▶[ゆがみ効果]▶[回転]を選択します。
ほとんどの効果の場合、ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 必要な設定を指定するか、[設定のロード] ドロップリストから設定を選択します。
[変更後] プレビューで効果をプレビューすることができます。
注意：すべての効果で [設定] を使用できるわけではありません。
- 3 [OK] をクリックします。

目的

再利用のために設定を保存する

[設定の保存] ボタン  をクリックして [設定名] ボックスに名前を入力し、[OK] をクリックします。

設定を既定値にリセットする

[設定のロード] ドロップリストから [既定] を選択します。

効果を特定の領域に限定する

効果を選択する前に選択範囲を作成します。
選択範囲の作成については、ページ 119 の「選択範囲を作成する」を参照してください。

インスタント効果パレットから効果を選択するには

- 1 インスタント効果パレットで、パレット上部にあるドロップリストからカテゴリーを選択します。
[インスタント効果] パレットが表示されていない場合は、[表示]▶[パレット]▶[インスタント効果]を選択します。
- 2 サムネイルをダブルクリックして、アクティブな画像または選択した画像に効果を適用します。
効果は重ねることができます。つまり、ダブルクリックするごとに、新しい効果が前の効果に追加されます。
効果を元に戻すには、パレット ([管理] ワークスペースのみ) に表示される [現在の編集を元に戻す] ボタンをクリックするか、[元に戻す] ボタン ([調整] および [編集] ワークスペース) をクリックします。[現在の編集を元に戻す] コマンドは、保存されていないすべての効果を元に戻すことに注意してください。



[管理] ワークスペースで、RAW ファイル形式の画像に効果を適用すると、画像の JPEG バージョンが作成されます。

カスタム設定 (任意の効果ダイアログ ボックスで保存したもの) は、次回アプリケーションを起動したときに、[インスタント効果] パレットの [ユーザー定義] カテゴリーに表示されます。

効果ブラウザーから効果を選択するには

編集ワークスペース

1 [効果]▶[効果ブラウザー]を選択します。

効果ブラウザーが表示されます。

2 左ペインの階層リストから、次のいずれかを実行します。

- 画像に適用されるすべての効果をプレビューするには、[設定] フォルダーをクリックします。
- 効果カテゴリーをプレビューするには、[効果] フォルダーのサブフォルダー (**3D効果**、**アーティスティック効果**、**写真効果**など) をクリックします。

Corel PaintShop Pro は、選択されたフォルダーをスキャンし、各効果設定を適用した画像のサムネイルを作成します。

3 効果の設定を選択するには、サムネイル画像をクリックします。

4 [適用] をクリックします。

目的

選択した設定を変更する

[変更] をクリックし、効果のダイアログ ボックスで設定を調整します。

注意: 調整できない効果の場合、このボタンは使用できません。

サムネイル プレビューをサイズ変更する

[ファイル]▶[環境設定]▶[全般の設定]を選択し、左側の [表示とキャッシュ] をクリックします。[効果ブラウザーサムネイル] グループ ボックスの [サイズ(ピクセル)] コントロールで値を設定します。

効果を特定の領域に限定する

効果を選択する前に選択範囲を作成します。
選択範囲の作成については、ページ 119 の「選択範囲を作成する」を参照してください。

フォト効果を適用する

画像にさまざまなフォト効果を適用して、従来の写真技術や現像処理を再現できます。

タイムマシン

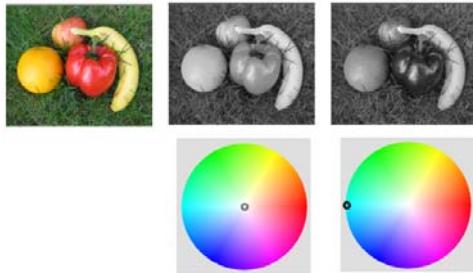
タイムマシンを使用すると、過去に流行した写真スタイルを複製することができます。タイムマシンでは、1839年から1980年までの7種類のスタイルを選択できます。タイムマシンの詳細については、ページ106の「タイムマシンでビンテージスタイルの写真を作成する」を参照してください。

フィルムとフィルター

Corel PaintShop Pro では、さまざまなタイプのカメラ フィルムやフィルターを使用した効果を再現できます。フィルムおよびフィルター効果の適用の詳細については、ページ106の「写真にフィルムとフィルターの効果を適用する」を参照してください。

白黒フィルム

写真を白黒フィルムで撮ったような効果を再現することができます。効果を変えるために、さまざまなRGB値を適用したり、画像の明るさとフォーカスを調整することができます。



【白黒フィルム】ダイアログボックスのフィルターの色調整を使用して、元の写真(上列左端)とは大きく異なる画像を作成できます。

セピア トーン

セピア フィルムを使用して写真を撮影したときの見かけを再現することができます。セピア トーンの画像は、白黒写真(グレースケール写真とも呼ばれます)に似ていますが、色調がグレーではなく茶色になります。

選択フォーカス

クイックミニチュア効果(またはティルトシフト効果)を作成して、写真のシーンをミニチュア モデルやオモチャに似せることができます。錯覚は、通常特定の水平線の向こう側へ、写真の彩度を増加して被写界深度を調整して作成されます。



都会のシーン(左)と変形されたミニチュア モデル(右)。

また、選択フォーカスを使用して写真へフィールドの奥行き効果を適用することもできます。フィールドの奥行きについては、ページ 64 の「被写界深度を制御する」を参照してください。

ヒント：高い地点から撮影された写真はミニチュア効果に適しています。

ビネット

写真のエッジをフェードしてビネット効果を作成することができます。形状と色(明るいまたは暗い)を選択し、ぼかし、光、フェザリングの量を調整してエッジの外観を制御します。



レトロ ラボ

LOMO、Diana、Holgaなどのトイカメラで自然に撮影した写真にヒントを得たレトロ ラボは、レトロ効果の楽しさを加えることができます。詳細については、ページ 104 の「レトロ ラボを使用する」を参照してください。

グラデーション フィルター

写真にカラー グラデーションを適用して、カメラのレンズにグラデーション フィルターを使った効果を再現できます。詳細については、ページ 104 の「グラデーションフィルター効果を適用する」を参照してください。

白黒フィルム効果を適用するには

編集ワークスペース

- 1 [効果]▶[写真効果]▶[白黒フィルム]を選択します。
[白黒フィルム]ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 必要に応じて設定を変更して、[OK]をクリックします。

セピア トーン効果を適用するには

編集ワークスペース

- 1 [効果]▶[写真効果]▶[セピア トーン]を選択します。
[セピア トーン]ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [強度]コントロールで値を入力/設定して、効果の強度を決定します。

選択フォーカスを使用してミニチュア効果を適用するには

編集ワークスペース

- 1 [効果]▶[フォト効果]▶[選択フォーカス]を選択します。
[選択フォーカス]ダイアログ ボックスが表示されます。ダイアログ ボックスを大きくして、プレビュー領域の[変更前]および[変更後]プレビューのサイズを広げることができます。
- 2 フォーカスの領域で、以下のいずれかのツールをクリックします。
 - 平面選択ツール フォーカスの線形領域設定の既定一ールです。写真のエッジに沿っていない道路、橋、またはその他線形要素に沿ったフォーカスの領域を設定するのに効果的です。

- ・半平面選択ツール – 写真のエッジに沿った線形のフォーカス領域を設定します。
 - ・放射型選択ツール – 放射型のフォーカス領域を設定します。
- 3 以前の領域の [変更前] プレビューでポインターが移動カーソル になったら、必要な領域にフォーカス領域をドラッグします。
- 4 回転ハンドル（短線の終端のボックス）をドラッグして、フォーカス領域を回転します。
- 5 サイズ変更ハンドル（実線上）をドラッグして、フォーカス領域のエッジを設定します。
- 6 次のいずれかのスライダーをドラッグして結果を微調整します。
- ・[ぼかしの量] – フォーカス領域外のぼかしの量を決定します。
 - ・[境界ぼかし] – フォーカスの領域とぼかし領域間の変形のソフト量を決定します。[変更前] プレビューのぼかしハンドル（点線上）をドラッグして対話的にぼかしを調整することもできます。
 - ・[彩度] – 写真の色の強度を決定します。彩度を増加すると、モデルやおもちゃに使用する鮮やかな色を模倣することができます。



[変更前] プレビューの要素: (1) 中央の線 (平面選択ツール) 、(2) 回転ハンドル、(3) サイズ変更ハンドル、(4) ぼかしハンドル



選択フォーカスを使用して写真へフィールドの奥行き効果を適用することができます。設定を調整して自然な感じにします。

ビネット効果を適用するには

編集ワークスペース

- 1 [効果] ▶ [フォト効果] ▶ [ビネット] を選択します。
- 2 [フォーカス エリア] で、選択ツールを選択して [変更前] プレビューにドラッグして、効果のエッジを設定します。
- 3 [暗い / 明るい] スライダーをドラッグして、エッジの色を設定します。
- 4 次のいずれかのスライダーをドラッグして結果を微調整します。
 - ・[ぼかし] – フォーカス領域外のぼかしの量を決定します。
 - ・[拡散光] – 発光の明るさの効果を追加して写真全体の詳細をソフトにします。
 - ・[境界ぼかし] – フォーカス エリアとエッジ効果間の変形のソフト量を決定します。

レトロ ラボを使用する

LOMO、Diana、Holgaなどのトイカメラで自然に撮影した写真にヒントを得たレトロ ラボは、レトロ効果の楽しさを加えることができます。「トイカメラ」効果と呼ばれることがあるこの写真スタイルは、ぼかしやビネット エッジを超えたカラーとコントラストに特徴があります。

素早く効果を得るには、設定を適用します。深く掘り下げたい場合は、一連のコントロールにアクセスして、自分専用の設定を作成し、保存できます。



元の写真(左)、レトロ ラボを使用後の写真(右)。[シュールリアル設定を適用し、範囲コントロールと彩度スライダーを使用して効果をカスタマイズしました。

レトロ ラボを使用してトイカメラ効果を作成するには

- [効果]▶[写真効果]▶[レトロ ラボ]を選択します。

設定を適用するには、[設定] ドロップリストの設定をクリックします。[OK] をクリックして適用し、ダイアログ ボックスを終了するか、次の手順を続行してカスタム効果を作成します。

- カスタム効果を作成するには、次のいずれかを行います。

- [範囲] 領域で [フォーカス エリア] ツールをクリックし、[プレビュー] 領域の [変更前] プレビューにドラッグして、フォーカス エリアを選択します。
- [範囲] 領域で設定を調整し、ビネット効果を調整します。個々のコントロールについては、ページ 103 の「ビネット効果を適用するには」を参照してください。
- [色調整] 領域で、スライダーをドラッグして欲しい色効果を調整します。
- [カーブ] 領域で斜線をクリックし、ドラッグしてトーンを調整するか、[チャネル] ドロップリストから色を選択して斜線をドラッグし、個々のカラー チャネルを調整します。カーブの詳細については、ヘルプの「カラー チャネルの明るさを変更するには」を参照してください。

設定を保存する場合は、[設定の保存] ボタン をクリックします。[設定名] ボックスに名前を入力し、[OK] をクリックします。

グラデーションフィルター効果を適用する

写真にカラー グラデーションを適用して、カメラのレンズにグラデーション フィルターを使った効果を再現できます。グラデーション フィルターは色が薄くなって透明になる単色で構成される場合がよくあ

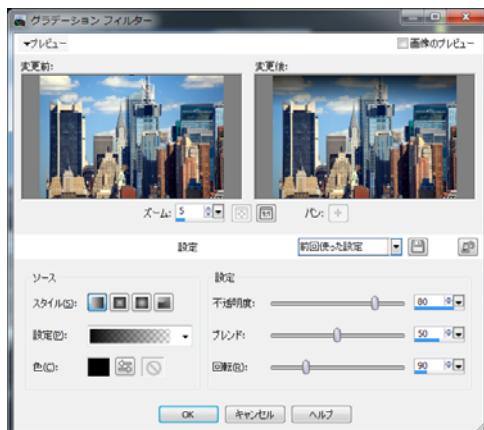
ります。これにより、写真の特定の領域の色を調整できます。たとえば、写真の明るい空をより青くしたい場合は、青のグラデーション フィルターを使用すると、写真の空の下の部分に影響を与えずに、空の青さを増すことができます。創造性を加えたい場合は、グラデーション フィルター効果で、異なるグラデーション形状や 2 色のオプションを選択できます。



元の写真(左)にグラデーション フィルター効果を適用して、日没の効果を作り出し、水の青を強めたもの。

グラデーション フィルター効果グラデーションを適用するには

- 1 [効果] ▶ [写真効果] ▶ [グラデーション フィルター] を選択します。
[グラデーション フィルター] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [スタイル] ボタンをクリックして、グラデーションの形状を決定します。
既定オプションの [線形グラデーション フィルター] は、従来のグラデーション フィルターを再現するのに最適です。
- 3 [変更前] プレビューでドラッグして、グラデーションのサイズと方向を設定します。ドラッグに応じて、線が表示されます。
- 4 [設定] ドロップリストで、ブレンドの種類を選択します。
- 5 [色] 領域で、色サンプルをクリックして色を選択します。
色や透明の方向を変更するには、[色の入れ替え] ボタン をクリックします。
- 6 [設定] 領域で、次のスライダーのいずれかを調整します。
 - [不透明度] – 色の透明度を指定します。値を小さくすると、より透明になります。
 - [ブレンド] – 色の移行の仕方を指定します。値を大きくすると、ブレンドがソフトになります。
 - [回転] – グラデーションの角度を度数で指定します。





写真の特定の領域を微調整する場合は、元のバージョンの上にレイヤーとして完了したバージョンを貼り付けることができます。その後で [消しゴム] ツールを使用して、元の色や細部を表すことができます。

タイム マシンでビンテージ スタイルの写真を作成する

タイム マシンを使用すると、ビンテージの写真スタイルを複製することができます。タイム マシンでは、1839 年から 1980 年までの 7 種類のスタイルを選択できます。



左の写真は元の写真であり、右の写真にはタイム マシン ダゲレオタイプのスタイルが適用されています。

タイム マシンでビンテージ スタイルの写真を作成するには

編集ワークスペース

- [効果] ▶ [写真効果] ▶ [タイム マシン] を選択します。
- タイムラインの上にあるサムネイルの 1 つをクリックして効果を選択します。
- 効果の外観を調整するには、[強さ] スライダーを動かします。



写真のエッジ効果を追加または除去することができます。強さスライダーの下の [フォト エッジ] チェック ボックスのチェックを外すと、エッジが除去され、チェックするとエッジが適用されます。

写真にフィルムとフィルターの効果を適用する

写真の初心者でも経験者でも、Corel PaintShop Pro を使用すると、さまざまなタイプのカメラ フィルムやフィルターを使用した効果を再現できます。

フィルム ルック

フィルム ルックは、従来のカメラでさまざまなタイプのフィルムを使用した場合に実現できる効果を再現します。写真全体に色を適用するクリエイティブ フィルターとは異なり、フィルム ルックでは一部の色を強くしたり弱くすることで、写真の中で強調する対象を変化させることができます。また、フィルム ルックには、写真のコントラストやソフトネスを変更する機能もあります。



鮮やかな葉のフィルム ルックでは、青と緑を強調します。

クリエイティブ フィルター

クリエイティブ フィルターは、カメラのレンズにカラー フィルターを使用した場合に得られる効果を再現します。色は写真全体に適用されますが、Corel PaintShop Pro は色のトーニング効果を出すために画像の明度を維持します。あらかじめ設定された色を使用することも、カスタム カラーを選択することもできます。



夕日のフィルターを使用すると、暖かみのあるオレンジ色の色調が加わります。

写真にフィルム効果およびフィルター効果を適用するには

編集ワークスペース

- [効果] ▶ [写真効果] ▶ [フィルムとフィルター] を選択します。
- [フィルムとフィルター] ダイアログ ボックスで、次の表から 1 つまたは複数の作業を実行し、[OK] をクリックします。

目的	操作方法
フィルム ルックの適用	[フィルム ルック] ドロップリストからスタイルを選択します。
フィルターの適用	[クリエイティブ フィルター] ドロップリストからフィルターを選択します。
カスタム フィルター色の選択	[フィルターの色] サンプルをクリックして、[カラー] ダイアログ ボックスから色を選択します。
フィルターによって適用した色の量を変更 [密度] ボックスに値を入力します。大きな値を入力すると色の量が多くなり、小さな値を入力すると色の量が少なくなります。	

画像にピクチャ フレームを追加する

ピクチャ フレームを追加して人目を引く画像に仕上げることができます。長方形または橢円形のフレーム、モダンまたはクラシック フレーム、写真用のマットやエッジなど、さまざまなスタイルを選択できます。フレームは個別のレイヤーに適用されるため、通常のレイヤーと同じように編集できます。



画像の周りにフレームを追加することができます。

画像にピクチャ フレームを追加するには

編集ワークスペース

- 1 [画像]▶[ピクチャ フレーム]を選択します。
[ピクチャ フレーム]ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 [ピクチャ フレーム]ダイアログ ボックスで、ドロップリストからフレームを選択します。
- 3 [方向]グループ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [フレーム キャンバス] – フレームをキャンバスのサイズに合わせます。フレーム レイヤーは、[レイヤー]パレットでは「ピクチャ フレーム」という名前になります。「ピクチャ フレーム 1」、「ピクチャ フレーム 2」などと名付けられたレイヤーに連続したフレームが保存されます。
 - [現在のレイヤーをフレーム] – フレームを現在のレイヤーのサイズに合わせます(キャンバスのサイズとは異なる場合もあります)。たとえば、スクラップブック用に写真のコラージュを作成する場合で、各写真が別々のレイヤーにある場合は、このオプションを使用して、各写真をフレームすることができます。フレーム レイヤーは、元の名前の後に「ピクチャ フレーム」といった名称が付加された名前になります。
- 4 次のいずれかのオプションを選択します。
 - [画像の内側] – 画像のキャンバスに収まるようにフレームをサイズ変更します。
 - [画像の外側] – キャンバスのサイズを拡大してフレームに合わせます。フレームが背景レイヤーに適用されると、追加されたキャンバスは現在の背景色を使用します。フレームがその他のレイヤーに適用されると、追加されたキャンバスは透明になります。
- 5 次のいずれかのチェック ボックスをチェックします。
 - [フレームの上下反転] – フレームの上下を反転します。
 - [フレームの左右反転] – フレームの左右を反転します。
 - [90 度時計回りに回転] – 画像が縦長な場合、フレームを時計回りに回転します。
- 6 [OK]をクリックします。

ピクチャ チューブ ツールを使用する

[ピクチャ チューブ]ツールを使用して、オブジェクトのコレクションでペイントすることができます。たとえば、蝶や昆虫をピクニックの写真に追加したり、花を使った写真のフレーム(枠)を作成することができます。Corel PaintShop Pro に含まれているピクチャ チューブを使用したり、オリジナルを作成することができます。



[ピクチャ チューブ]ツールを使用すると、設定したさまざまな画像を写真に適用して、オリジナルな効果を作成することができます。

ピクチャ チューブは、PspTube ファイルです。各ピクチャ チューブ ファイルは、セルと呼ばれる行と列に整列された一連の画像から構成されています。ピクチャ チューブには、いくつのセルでも持つことができます。[ピクチャ チューブ]ツールでペイントすると、Corel PaintShop Pro は、ピクチャ チューブの中の 1 つの画像でペイントして、その後に他の画像をペイントします。ピクチャ チューブの多くは、独立した画像(動物園の動物など)を作成しますが、チューブによっては、連続的な画像(草地など)のような効果を作成します。



各ピクチャ チューブ ファイルには、一連の画像が用意されています。

ピクチャ チューブの画像は、後で簡単に編集できるように別のレイヤーにペイントすると便利です。

重要！ [ピクチャ チューブ]ツールは、ベクター レイヤー上では使用できません。

ピクチャ チューブの詳細については、ヘルプの「ピクチャ チューブ ツールを使用する」を参照してください。

ピクチャ チューブでペイントするには

編集ワークスペース

1 [ツール] ツールバーの [ピクチャ チューブ] ツール  を選択します。

2 [ツールオプション] パレットで、[ピクチャ チューブ] ドロップリストからピクチャ チューブを選択します。

注意：ほとんどのピクチャ チューブのプレビューには、ピクチャ チューブ内のすべての画像ではなく最初の画像が表示されます。すべての画像を表示するには、ピクチャ チューブを選択してペイントするか、Corel PaintShop Pro で .PspTube ファイルを開きます。

- 必要に応じて、[スケール] や [ステップ] などの [ツールオプション] パレットの設定を調整します。
- 画像ウィンドウで、1つのピクチャチューブ画像でペイントするにはクリックし、複数のピクチャチューブ画像でペイントするにはドラッグします。



[ツールオプション] パレットで [設定] ボタン をクリックして、[ピクチャチューブの設定] ダイアログ ボックスで設定を調整すると、現在のピクチャチューブの動作をさらに変更することができます。

画像を歪ませる

ワープブラシを使用して、画像のピクセルにワープ効果を生成することで、画像領域を歪ませることができます。画像の領域を回転し、画像の一部を縮小または拡大して、さらに多くの面白い効果を作成することができます。ワープブラシの効果は時間に依存します。つまり、ブラシのある領域上に保持する時間が長いほど、ブラシの効果がより強くなるということです。



[ワープブラシ] ツールは戯画の作成用に使用されます。

グリッドを使用して画像を歪ませることもできます。[メッッシュワープ] ツールを使用するときには、画像上にグリッドまたはメッッシュを配置します。グリッドの交差点にはメッッシュ ポイントまたはポイントがあり、それらをドラッグして変形を行います。

グリッドを使用したワープの詳細については、ヘルプの「グリッドを使用して画像領域を歪ませるには」を参照してください。

ブラシを使用して画像領域を歪ませるには

編集ワークスペース

- [ツール] ツールバーで、[ワープブラシ] ツール を選択します。
- [ツールオプション] パレットの [ワープモード] グループボックスからワープのタイプを選択します。
 - [プッシュ] – じみペイントと同様にストロークの方向へピクセルを押します。このワープモードは時間に依存しません。
 - [拡大] – ピクセルをブラシの中心から離れる方向へ押します。
 - [縮小] – ブラシの中央地点を中心にピクセルを縮小させます。
 - [右回転] – ブラシの中心に対してピクセルを時計まわりに回転します。
 - [左回転] – ブラシの中心に対してピクセルを反時計まわりに回転します。
 - [ノイズ] – ブラシの下のピクセルをランダムに動かします。

- [アイロン] – 未適用のワープを削除します。このワープ モードは時間に依存しません。
- 消しゴム – 未適用のワープを削除します。

3 形状、サイズ、硬さなどのブラシ オプションを指定します。

注意：他のブラシとは異なり、[ワープ ブラシ] ツールのサイズは [ツール オプション] パレットのコントロールを使用してのみ調整できます。キーボードを使用して調整することはできません。

4 [強度] コントロールで値を入力/設定して、歪み効果の強さを決定します。

最大強度は 100%、最小強度は 1% です。

5 [エッジ モード]、[ドラフト品質]、および [最終適用] コントロールの設定を選択します。

6 画像内でドラッグします。

レイヤーを使用する

Corel PaintShop Pro のレイヤーを使用すると、画像への要素の追加、アーティスティック効果やイラストレーションの作成、画像の編集を簡単にすることができます。レイヤーは、追加したり、削除したり、重なりの順序を変更したり、さまざまな方法でピクセルをブレンドしたりすることができます。レイヤーは、結合しない限り、他のレイヤーに影響を及ぼさずに個別に編集できます。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- レイヤーを理解する
- [レイヤー] パレットを使用する
- レイヤーを作成する
- レイヤーの名前を変更する
- レイヤーを表示する
- 画像の中でレイヤーの順序を変更する
- レイヤーの不透明度を設定する

レイヤーの変換、複製、グループ化、リンク、ブレンドなどのレイヤーの詳細、および調整レイヤー使用の詳細については、ヘルプの「レイヤーを使用する」を参照してください。

レイヤーを理解する

Corel PaintShop Pro で画像を作成またはインポートした場合、その画像にはレイヤーは 1 つしかありません。この 1 つのレイヤーは、作成またはインポートした画像の種類に応じて、[背景]、[ラスター]、[ベクター]、[アートメディア] のいずれかのラベルが付けられます。写真を開いたり、スキャンしたり、画面キャプチャをした場合、この 1 つのレイヤーは、[レイヤー] パレットで [背景] のラベルが付けられます。

単純な補正やレタッチを行う場合は、画像にレイヤーを追加する必要はありません。ただし、画像を補正する前にレイヤーを複製するのが良いでしょう。そうすることで、複製されたレイヤーに変更と適用し、元の画像をその元のレイヤーに維持しておくことができます。画像に要素を追加する、写真を組み合わせる、テキストを追加する、その他の効果を適用するといった複雑な作業を実行する場合は、レイヤーを使用して作業することを強くお勧めします。



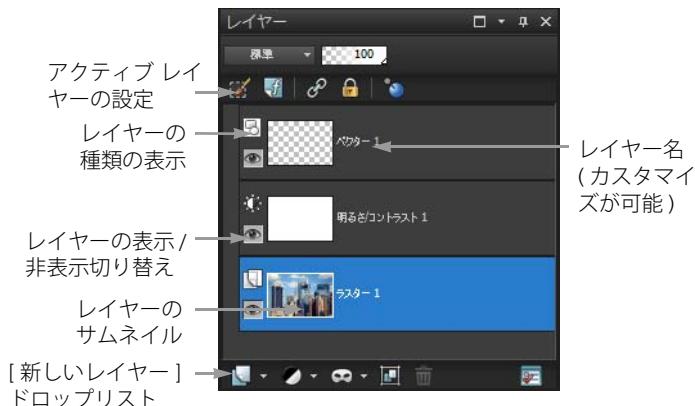
レイヤーは個別のシートのようなもので、これを組み合わせて最終的な作品を完成させます。

次の表に例を挙げます。

目的	操作方法
編集を始める前に元の画像を保存する	[レイヤー] ▶ [複製] を選択して、背景レイヤーの複製を作成します。複製されたレイヤーで作業を行うには、[レイヤー] パレットでそのレイヤーをクリックしてアクティブなレイヤーにします。
色調を補正する	直接画像に変更を加えずに、調整レイヤーを使用します。調整レイヤーの使用に関する詳細については、ヘルプの「調整レイヤーを使用する」を参照してください。
テキストやグラフィックを追加する	線分や図形などのテキストとグラフィックは、ベクター レイヤー上に作成すると編集がしやすくなります。テキストの追加についての詳細は、ページ 125 の「テキストを使用する」を参照してください。ベクター グラフィックスについての詳細は、ヘルプの「ベクター オブジェクトを描画 / 編集する」を参照してください。
効果を作成する	背景レイヤーを複製してできたレイヤーに効果を適用します。次に、レイヤーの不透明度やブレンド モードを変更して、2 つのレイヤーをブレンドします。
ペイントを作成する	[ツール] ツールバーから [アートメディア] (油彩ブラシなど) を選択し、[トレース] チェック ボックスをチェックします (アートメディア レイヤーが自動的に作成されます)。アートメディア ブラシを使用すれば、印象的な効果を作成できます。
写真を結合して、写真のコラージュを作成する	結合する写真を開き、基本の画像として使用する画像を決めます。この基本の画像に他の画像をコピーするには、コピーする画像をクリックし、[編集] ▶ [コピー] を選択した後、基本の画像をクリックして [編集] ▶ [新しいレイヤーとして貼り付け] を選択します。[移動] ツール  で各レイヤーを配置します。不透明度の設定とブレンド モードを使用して、それぞれのレイヤーがどの程度透けて見えるかを調整します。マスク レイヤーを使用して、レイヤーの一部分を隠したり、レイヤーの境界をぼかしたりします。
パノラマ写真を作成する	境界付近が少しづつ重なり合うように一連の写真を撮影します。パノラマ写真を表示するのに十分な大きさのキャンバスで画像を作成して、それぞれの写真を別々のレイヤーにコピーします。1 つのレイヤーの不透明度を下げて、下のレイヤーが透けて見えるようにします。[移動] ツール  を使用して、隣り合うレイヤーの端がぴったり合うようにします。すべてのレイヤーの位置を調整したら、不透明度の設定を 100 % に戻します。

[レイヤー]パレットを使用する

[レイヤー]パレットには、画像内のすべてのレイヤーが一覧表示されます。このパレットでのレイヤーの順序は、その画像の中でレイヤーがどのような順序で重なっているかを示しています。一番上のレイヤーが最初に表示され、一番下のレイヤーは最後に表示されます。レイヤーの種類によって、レイヤーパレットでレイヤーが重なる順序を変更することができます。



[レイヤー]パレット

レイヤー グループを作成すると、レイヤー パレットの管理が容易になります。また、レイヤーまたはグループをリンクして、[移動]ツールでそれらをまとめて移動することもできます。

既定では、レイヤーの内容を示すサムネイルの表示は、レイヤー名の左側に表示されます。サムネイルのサイズを設定したり、サムネイルを非表示にしたりすることができます。既定では、アクティブなレイヤーの設定は、一番上のサムネイル プレビューの上に表示されますが、これらの設定の外観は変更できます。

画像に複数のレイヤーが含まれている場合、作業を行うレイヤーを選択する必要があります。画像に対して行う作業は、選択したレイヤーにしか影響を及ぼしません(このレイヤーのことを「アクティブレイヤー」と呼びます)。一度に1つのレイヤーしか選択することができません。

レイヤーの種類についての詳細は、ヘルプの「レイヤーを理解する」を参照してください。

[レイヤー]パレットの表示 / 非表示を切り替えるには

編集ワークスペース

- [表示]▶[パレット]▶[レイヤー]を選択します。

このコマンドは[レイヤー]パレットの表示 / 非表示を切り替えます。

レイヤーを選択するには

編集ワークスペース

- [レイヤー]パレットでレイヤーの名前をクリックします。

ベクター レイヤーまたはレイヤー グループを展開 / 折りたたむには

編集ワークスペース

- 次の表にある作業を実行します。

目的	操作方法
グループを展開する	[レイヤー] パレットで、レイヤーまたはレイヤー グループの名前の前にあるプラス記号 をクリックします。
グループを折りたたむ	[レイヤー] パレットで、レイヤーまたはレイヤー グループの名前の前にあるマイナス記号 をクリックします。

レイヤーを作成する

[レイヤー] パレットからレイヤーを作成できます。レイヤーを作成する場合は、レイヤーの種類、不透明度、ブレンド モードなどのプロパティを指定できます。このプロパティは、レイヤーを操作するときにも変更できます。選択範囲、ベクター オブジェクト、または他の画像からレイヤーを作成することもできます。詳細については、ヘルプの「レイヤーを作成する」を参照してください。

[テキスト] ツール、[アートメディア] ツール、またはベクター ドローイング ツール ([ペン] ツール、[図形] ツールなど) を使用すると、レイヤーが自動的に作成されます。

[レイヤー] パレットからレイヤーを作成するには

編集ワークスペース

- [レイヤー] パレットで、新しいレイヤーを作成する位置の下になるレイヤーをクリックします。
- [レイヤー] パレットのツールバーにあるドロップリストからレイヤーの種類を選択します。
 - 新しいラスター レイヤー
 - 新しいベクター レイヤー
 - 新しいアート メディア レイヤー
 - 新しいレイヤー グループ
 - 新しいマスク レイヤー
 - 新しい調整レイヤー
- レイヤー プロパティの有効なコントロールを調整します。
- [OK] をクリックします。

アクティブ レイヤーの上に新しいレイヤーが追加されます。新しいレイヤーには、レイヤーの種類と番号で名前が付けられます（「ベクター 1」など）。



レイヤーの名前変更の詳細については、ページ 117 の「レイヤーの名前を変更する」を参照してください。

複数のラスター レイヤーを格納できるのは、グレースケールと True Color (24 ビット) の画像だけです（ベクター レイヤーは非ラスターベース レイヤーのみです）。新しいラスターベースレイヤーを 256 色インデックス画像などの別の色深度の画像に追加すると、Corel PaintShop Pro は、レイヤー画像を 1600 万色へ自動的に変換します。

レイヤーの名前を変更する

画像にレイヤーが追加されるにつれて、目的のレイヤーを探すのが困難になります。[レイヤー] パレットで目的のレイヤーを見つけやすくするように、レイヤーの名前を変更することができます。

レイヤーの名前を変更するには

編集ワークスペース

- 1 [レイヤー] パレットで、名前を変更するレイヤーをクリックし、少し待ってからもう一度クリックします。
ボックス内で名前がハイライト表示されます。
- 2 ボックスに新しい名前を入力し、**Enter** キーを押します。



また、レイヤーをダブルクリックして、[レイヤーのプロパティ] ダイアログ ボックスを開き、[名前] ボックスに新しいレイヤー名を入力して、名前を変更することもできます。

レイヤーを表示する

画像内のレイヤー、レイヤー グループ、ベクター オブジェクトの表示 / 非表示を切り替えることができます。見えないレイヤーは画像の中に残っていますが、非表示になっています。

レイヤーの表示 / 非表示を切り替えるには

編集ワークスペース

- 表示または非表示にするレイヤーに対して [レイヤーの表示 / 非表示] ボタンをクリックします。
 – レイヤー表示時の [レイヤーの表示 / 非表示] ボタン
 – レイヤー非表示時の [レイヤーの表示 / 非表示] ボタン



レイヤー グループを非表示にすると、グループ内のすべてのレイヤーも非表示になります。



選択したレイヤーのみを表示するには、[レイヤー] ▶ [表示] ▶ [現在のレイヤーのみ] を選択します。

すべてのレイヤーの表示 / 非表示を切り替えるには

編集ワークスペース

- 次の表にある作業を実行します。

目的	操作方法
すべてのレイヤーを表示する	[レイヤー] ▶ [表示] ▶ [すべて] を選択します。
すべてのレイヤーを隠す	[レイヤー] ▶ [表示] ▶ [なし] を選択します。

画像の中でレイヤーの順序を変更する

画像内のレイヤーの順序によって、その画像の見え方は大きく変化します。画像内のレイヤーを再配置する場合は、[レイヤー]パレットでレイヤーの重なり順を簡単に変更できます。レイヤーまたはレイヤーグループにベクター オブジェクトやグループ レイヤーなどのコンポーネントがある場合は、レイヤーまたはレイヤーグループの重なり順の位置を変更すると、すべてのコンポーネントも一緒に移動します。

レイヤーまたはレイヤーグループを移動するには

編集ワークスペース

- [レイヤー]パレットで、レイヤーまたはレイヤーグループを選択して、重なり順の新しい位置にドラッグします。
ドラッグすると、灰色の線によってレイヤーの位置が示されます。



レイヤーをドラッグすると、カーソルが手の形に変化します。カーソルがゼロ記号 になっている場合は、選択した項目をその位置に移動することができないことを意味します。



[レイヤー]▶[順序]を選択してから、オプションを選択しても、レイヤーやレイヤーグループを移動できます。

レイヤーの不透明度を設定する

レイヤーの不透明度を既定の 100% (完全に不透明) から 0% (完全に透明) の間でいろいろと変更することによって、さまざまな効果を作り出します。レイヤーが部分的に透過の場合、下位のレイヤーが透けて見えます。

レイヤーグループの不透明度を変更することもできます。

[レイヤー]パレットの[不透明度]の設定は、各レイヤーの不透明度を決定します。レイヤー全体の不透明度と個々のピクセルの不透明度は互いに独立しています。たとえば、不透明度が 50 % のレイヤーに不透明度が 50 % のピクセルがある場合、そのピクセルは 25 % の不透明度で表示されます。そのレイヤーが 50 % の不透明度のレイヤーグループ内にある場合、そのピクセルは 12.5 % の不透明度で表示されます。

レイヤーの不透明度を設定するには

編集ワークスペース

- 1 [レイヤー]パレットで、レイヤーまたはレイヤーグループを選択します。
- 2 [不透明度]スライダー を希望する割合までドラッグします。



また、レイヤーをダブルクリックし、[レイヤーのプロパティ]ダイアログ ボックスで[不透明度]の設定を変更し、[OK]をクリックして、レイヤーの不透明度を設定することもできます。

選択範囲を使う

編集のために画像の一部を選択することは、ワークフローの中でも重要な手順の1つです。選択範囲を作成することにより、選択範囲外の画像データを変更せずに、領域の編集を行うことができます。ドローツールやペイントツールを使用して、イメージ内の選択領域を変更できます。コマンドを適用して、選択領域で上下反転、コピー、トリミング、その他のアクションを実行することもできます。

選択領域の境界は選択範囲のマーキーで指定されます。これは黒と白の点線で、選択領域の枠線を表示します。

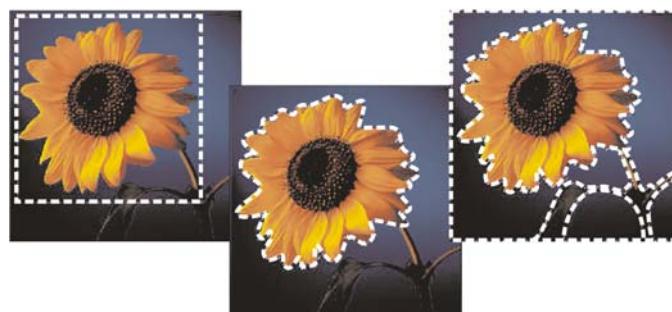
このセクションでは以下について説明しています

- 選択範囲を作成する
- 選択範囲を変更する
- 選択範囲を反転 / クリアする

選択範囲の移動や変更、ぼかしやアンチエイリアスの使用などの選択範囲についてのトピックは、ヘルプの「選択範囲を使う」を参照してください。

選択範囲を作成する

画像の一部を選択範囲として分離したい場合、選択範囲を作成することができます。たとえば、写真のある領域を調整またはレタッチするとき、または写真の一部をコピーして他の写真に貼り付けるときに、選択範囲を使用できます。選択範囲の作成方法は、ラスター レイヤーかベクター レイヤーのどちらを使用しているかによります。ラスター レイヤーとベクター レイヤーの詳細については、ヘルプの「レイヤーを理解する」を参照してください。



選択ツールで図形を使用して選択範囲を作成するか(左)、自由選択ツールで選択範囲を作成するか(中央)、[自動選択] を使用して特定の色または不透明の領域を選択(右)できます。

次の選択ツールは、ラスタの選択範囲の作成に使用できます：

- ・ [選択範囲] ツール  – 矩形、正方形、橢円、円、星印などの特殊な形状の選択範囲を作成することができます。
- ・ [自由選択] ツール  – 花びらや手の指など、オブジェクトの周囲に沿って選択範囲を作成します。[フリーハンド] ツールで、4種類の選択範囲を作成することができます。
- ・ [エッジ検出] – 不規則な形状をした領域のエッジをクリックすると、色の違いに基づいて、その領域のエッジを検出します。
- ・ [フリーハンド] – ドラッグして、すばやく領域を選択することができます。
- ・ [フリーフォーム] – ある点の間を直線で結ぶことができ、まっすぐなエッジにより選択範囲を作成できます。
- ・ [スマート エッジ] – 不規則な形状をした領域の輪郭に沿ってクリックすると、エッジを自動検出します。
- ・ [自動選択ツール] ツール  – オブジェクトの色、色相、明るさ、不透明度に基づいて選択範囲を選択します。

任意の選択ツールで選択範囲を作成した後で、他のツールに切り替えて、選択範囲を追加、削除することができます。詳細については、ページ 122 の「選択範囲を変更する」を参照してください。

[選択] ツールを使用して選択範囲を作成するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[選択範囲] ツール  を選択します。
- 2 [ツール オプション] パレットで次のコントロールの設定を確認し、必要に応じて変更します。
 - ・ [選択の種類] – 選択領域の形状を選択します。
 - ・ [モード] – 既存の選択範囲に対する動作を「置き換え」、「追加」、「削除」から指定します。[置換] が既定の設定です。
 - ・ [境界をぼかす] – フェードの幅をピクセル単位(0 から 200)で指定して、選択範囲のエッジをソフトにします。
 - ・ [アンシェイリアス] – 選択範囲のピクセルをエッジに沿って半透明にすることで、滑らかにします。
- 3 ドラッグして選択範囲を作成する
ドラッグすると、境界線が選択範囲を表示します。ドラッグをやめると、選択範囲の境界線は選択範囲のマーキーに変わります。



選択範囲を作成すると、[ツール オプション] パレットの設定に加えた変更は、現在の選択範囲ではなく、次からの操作に適用されます。[選択範囲] ▶ [変更] を選択し、メニューからコマンドを選択することによって、現在の選択範囲のオプションを変更することができます。

[自由選択] ツールを使用して選択範囲を作成するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[自由選択] ツール  を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、[選択の種類] ドロップリストから次のオプションを選択します。
 - エッジ検出
 - フリーハンド
 - フリーフォーム
 - スマートエッジ
- 3 [ツールオプション] パレットで次のコントロールの設定を確認し、必要に応じて変更します。
 - [境界をぼかす] – フェードの幅をピクセル単位 (0 から 200) で指定して、選択範囲のエッジをソフトにします。
 - [スムーズ化] – スムーズ化の量を指定し、選択範囲の境界線に適用します。
 - [アンシェイリアス] – 選択範囲のピクセルを半透明にすることで、滑らかにします。
 - [すべてのレイヤーを使う] – 選択した領域のすべてのレイヤーにあるエッジを検索します。このオプションは、複数のレイヤーからなる画像で [エッジ検出] や [スマートエッジ] の選択タイプを使っている場合に使用できます。
- 4 現在の選択タイプに応じて、次の表に示されている作業を実行します。

目的	操作方法
自由選択をする	イメージ領域をドラッグして選択します。
エッジ検出選択をする	選択したい領域のエッジを正確にクリックし、ダブルクリックまたは右クリックして選択を完了します。
スマートエッジ選択をする	選択する領域のエッジをクリックし、矩形のカーソルでエッジを囲みます。選択を完了するには、ダブルクリックまたは右クリックします。
フリーフォーム選択をする	選択したい領域の周囲をクリックし、ダブルクリックまたは右クリックして選択を完了します。



現在なぞっているエッジを頻繁にクリックすることにより、エッジ検出およびスマートエッジ選択範囲の精度を高めることができます。

直前のクリックを削除するには、[削除] を押します。

[自動選択] ツールを使用して選択範囲を作成するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[自動選択] ツール  を選択します。
- 2 [ツールオプション] パレットで、[比較モード] オプションを選択します [ツールオプション] パレットで次のコントロールの設定を確認し、必要に応じて変更します。
 - [許容値] – 選択したピクセルが、クリックした画像の中のピクセルと比較して、どのくらいの誤差までを条件に適合すると判断するかを指定します。低い値を設定すると、近似ピクセルのみが選択され、高い値を設定すると、より広範囲のピクセルが選択されます。

- ・[境界をぼかす] – フェードの幅をピクセル単位(0から200)で指定して、選択範囲のエッジをソフトにします。
- ・[すべてのレイヤーを使う] – 画像内のすべてのレイヤーから一致するピクセルを検索します。
- ・[隣接した部分] – クリックしたピクセルにつながるピクセルを選択します。
- ・[アンチエイリアス] – エッジに沿ってピクセル単位で部分的に塗りつぶし、半透明にすることによって、選択範囲のエッジを滑らかにします。このオプションは、選択範囲のマーキーの内側または外側で使用できます。

3 適合させたいピクセルを含む画像領域をクリックします。

条件に適合するすべてのピクセルの周囲に選択範囲のマーキーが表示されます。



選択を元に戻したり、[許容値] 設定を調整したり、新しい選択をすることで、選択済みのピクセルの数を変更することができます。

選択範囲を変更する

選択範囲は、さまざまな方法で変更することができます。画像の内容を追加したり削除することによって、選択範囲を変更することができます。たとえば、大きな看板を運ぶ人物の絵の中で、矩形の[選択]ツールで看板を選択して、[自由選択]ツールで人物を選択範囲に追加する、という使い方が可能です。



いったん選択範囲を作成すると、それに範囲を追加することができます。

色ベースの選択範囲の変更や、斑点や穴の除去についての詳細は、ヘルプの「選択範囲を変更する」を参照してください。

選択範囲に領域を追加 / 削除する

編集ワークスペース

- [ツール] ツールバーで、選択ツール(選択範囲□、自由選択○、または自動選択✿ツール)を選択します。
- [ツール オプション] パレットで、ツールの設定値を選択します。
- 次の表にある作業を実行します。

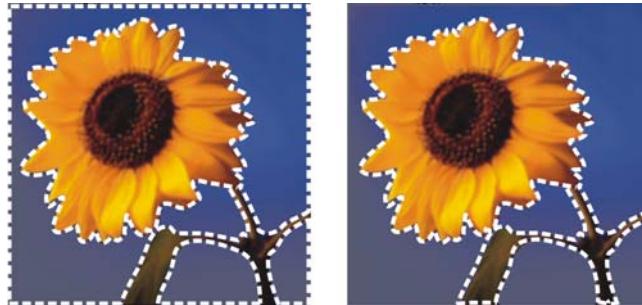
目的	操作方法
選択範囲に領域を追加する	[モード] ドロップリストから、[追加]を選択し、選択範囲に追加したい画像領域を選択します。領域が隣接している必要はありません。
選択範囲から除外する	[モード] ドロップリストから、[除去]を選択し、選択範囲から削除したい画像領域を選択します。



Shift を押しながら、追加したい画像領域をクリックすることでも選択範囲に追加でき、また **Ctrl** を押しながら、除去したい画像領域をクリックすることでも選択範囲から除去することができます。

選択範囲を反転 / クリアする

画像の入り組んでいる部分を簡単に選択する方法として、画像の選択する場所以外の部分を選択して、選択範囲を反転することができます。たとえば、単色を背景とした人物の絵の場合、背景を選択し、次にその選択範囲を反転すると、背景ではなく人物を選択できます。



単色の背景を選択して(左)選択範囲を反転することにより、多色からなる複雑な前景を分離することができます(右)。

また、画像内の選択範囲を解除して、選択範囲のマーキーを削除し、選択範囲を画像に戻すこともできます。選択範囲を解除すると、画像全体の編集を再開することができます。

選択範囲を反転するには

編集ワークスペース

- [選択範囲]▶[反転]を選択します。

選択範囲のマーキーが変化して、前回は選択されていなかった画像領域を囲んで、前回選択されていた画像領域を除外します。

選択範囲を消去するには

編集ワークスペース

- [選択範囲]▶[選択の解除]を選択します。



また、選択範囲のマーキーの外側で画像を右クリックするか、**Ctrl + D** キーを押すと、選択範囲を消去できます。

テキストを使用する

Corel PaintShop Pro によって、テキストを画像に追加して、面白いテキスト効果を得ることができます。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- テキストを適用する
- テキストの書式を設定する

テキストを適用する

Corel PaintShop Pro は、さまざまな種類のテキストを画像に適用します。ベクタ、ラスタ、選択範囲のテキストを適用できます。適用するテキストは作成する効果によって異なります。

ベクター テキストは、多くの方法で使用され、テキスト文字をいつでも編集できるので、最も用途の広いタイプのテキストです。テキストの個々の種類については、ヘルプの「テキストを適用する」を参照してください。



写真にテキストを追加できます。

ベクター テキスト、ラスター テキスト、選択範囲ベースのテキストは、いつでも削除できます。

テキストを作成するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[テキスト] ツール を選択します。
- 2 [マテリアル] パレットで、[前景のプロパティ] ボックスをクリックして、テキストの枠線の色を選択します。
[マテリアル] パレットが非表示の場合は、[表示] ▶ [パレット] ▶ [マテリアル] を選択します。
枠線のないテキストを作成する場合は、[前景のプロパティ] ボックスの下にある [透過] ボタン をクリックします。
- 3 [マテリアル] パレットで、[背景と枠線のプロパティ] ボックスをクリックして、テキストの塗りつぶしの色を選択します。
枠線だけのテキストを作成する場合は、[前景のプロパティ] ボックスの下にある [透過] ボタン をクリックし、[ツールオプション] パレットで [枠線の幅] コントロールを 1.0 以上に設定します。

- 4 [ツールオプション]パレットで、[作成形式]ドロップリストから次のうち1つを選択します。
- ・ベクター ベクターレイヤー上に存在する完全に編集可能なテキストを作成します。このテキストタイプは既定で、多くの方法で使用されます。
 - ・[選択範囲]—テキスト文字の形をした選択範囲のマーキーを作成します。マーキーは、下位のレイヤーで塗りつぶされます。
 - ・[フローティング]—ラスター テキストをフロート選択範囲として作成します。選択範囲を移動することはできますが、テキスト文字を編集することはできません。
- 5 [ツールオプション]パレットで、フォント、フォントサイズ、単位、フォントスタイルを選択します。
- 注意:** [単位]ドロップリストには、2つのオプションがあります。印刷出力用の[ポイント]とWeb出力用の[ピクセル]です。
- 6 画像ウィンドウで、テキストを表示する場所をクリックし、テキストを入力し、[ツールオプション]パレット上の[適用]ボタンをクリックします。
テキストの周囲に選択範囲が表示されます。
- 7 次のいずれかの操作により、テキスト位置を調整します。
- ・ポインターの形が4方向矢印に変わるまでポインターを境界ボックスの中央に置き、テキストを希望の位置までドラッグします。
 - ・ポインターの形が2方向矢印に変わるまでポインターを境界ボックスの角に置き、上下にドラッグしてテキストを回転させます。



マテリアルパレットを使用してテキストの枠線と塗りつぶす色を選択する方法については、ページ91の「マテリアルパレットを操作する」を参照してください。



また、テキストを入力した後でテキストオブジェクトの外側をダブルクリックすることにより、テキストを適用することができます。

テキストを削除するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール]ツールバーで、[ピック]ツールを選択します。
- 2 削除するベクターテキストをクリックして選択します。
- 3 Deleteキーを押します。



また、以下のテキスト選択方法も適用できます。単語を選択するにはダブルクリック、行を選択するには3回クリック、テキスト全体を選択するには4回クリックするかCtrl+Aを押します。

テキストの書式を設定する

Corel PaintShop Pro のテキストの書式オプションでは、テキストの外観を制御できます。ベクター テキスト、ラスター テキスト、選択範囲のテキストを作成するときにこれらのオプションを設定できます。ベクター テキストを作成する場合は、テキストの書式設定を変更することによって、いつでもテキストの書式を再設定できます。ラスター テキストの内容や書式を変更することはできません。[ピック] ツールでのみ、ラスター テキストを変更することができます。

書式オプションについては、ヘルプの「テキストの書式を設定する」を参照してください。

フォント属性を変更するには

編集ワークスペース

- 1 [ツール] ツールバーで、[テキスト] ツール  を選択します。
- 2 変更するベクタテキスト文字の上をドラッグして選択します。
注意： **Ctrl+A** キーをして、テキスト全体を選択することもできます。
- 3 [ツール オプション] パレットで、次の表のタスクを実行し、[変更を適用] ボタン  をクリックします。

目的	操作方法
フォントを変更する	[フォント] ドロップリストからオプションを選択します。
フォントのサイズを変更する	[サイズ] ドロップリストからオプションを選択します。
フォントの測定単位を変更する	[単位] ドロップリストで印刷出力用の [ポイント] または Web 出力用の [ピクセル] を選択します。

写真を共有する

Corel PaintShop Pro には、画像を電子メールで送信したり、共有サイトでそれらを共有するオプションがあります。

このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- 画像を電子メールで送信する
- 画像を共有サイトへアップロードする
- [マップビューで写真を共有] プロジェクトを作成する

画像を電子メールで送信する

いずれかの Corel PaintShop Pro ワークスペースから直接画像を電子メールで送信することができます。

電子メールでは、次の方法で各アイテムを送信できます。

- [埋め込み画像] – 画像を埋め込んで、電子メールのメッセージ本文に表示できます。したがって、電子メールの受信者は、電子メールを開くとすぐに写真を見るることができます。埋め込まれた写真是、HTML メッセージ形式を使用する電子メールにのみ表示されます。これが標準のメッセージ形式ですが、受信者がプレーン テキストまたはリッチ テキスト形式 (RTF) を使用することがわかっている場合は、[添付] オプションを使用してください。
- [添付] – 画像を添付ファイルとして送信することができます。各アイテムは個別のファイルとして添付され、元のファイル形式が維持されます。電子メール受信者は、写真の表示方法を選択できます。

写真のサイズを選択する

写真のサイズを変更して、サイズを縮小したり、電子メール全体のサイズを小さくすることができます。たとえば、写真のサイズを縮小して、携帯電話に送信できるようにすることができます。[画像の最大サイズ] 設定では、画像の比率を変えずに写真の最大サイズをピクセルで選択できます。たとえば、写真のサイズが 2048 ピクセル x 1536 ピクセルの場合、画像の最大サイズとして 640 ピクセルを選択すると、この写真は 640 ピクセル x 480 ピクセルにサイズ変更されます。各画像のサイズの情報が [電子メール] ダイアログ ボックスのプレビュー サムネイルの上に表示され、概算された電子メール全体のサイズがプレビュー サムネイルの横に表示されます。

電子メール アプリケーション

電子メールを使用してアイテムを送信するには、インターネットへの接続が確立されており、お使いのコンピューターに MAPI 標準をサポートする既定の電子メール アプリケーション (Microsoft Outlook など) がインストールされ、MAPI 電子メール クライアントを使用するように設定されている必要があります。

写真を電子メールで送信するには

- 1 [ファイル] ▶ [電子メール] を選択して、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [現在の画像] – 現在、画像ウィンドウでアクティブになっている写真を送信できます。
 - [すべての開いている画像] – 画像ウィンドウに表示されているすべての写真を送信できます。
 - [すべての選択された項目] – 画像ウィンドウに表示されているすべての写真を送信できます。
- 2 [送信形式] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [埋め込み画像] – 電子メールのメッセージ本文に画像を表示します。
 - [添付ファイル (元のファイル形式)] – 画像を個別の添付ファイルとして送信します。このオプションは、元のファイル形式を維持します。
- 3 [画像の最大サイズ] ドロップリストからサイズ設定を選択します。
電子メールの合計サイズがプレビューの横に表示されます。



一部の電子メール プロバイダでは、電子メールのサイズが制限されており、大きなサイズの電子メールは送受信できない場合があります。[画像の最大サイズ] 設定を小さくしたり、写真の数を少なくすると、電子メールのサイズを小さくすることができます。

[埋め込み画像] オプションは、Outlook などのように拡張 MAPI をサポートしている電子メール クライアントだけで使用できます。

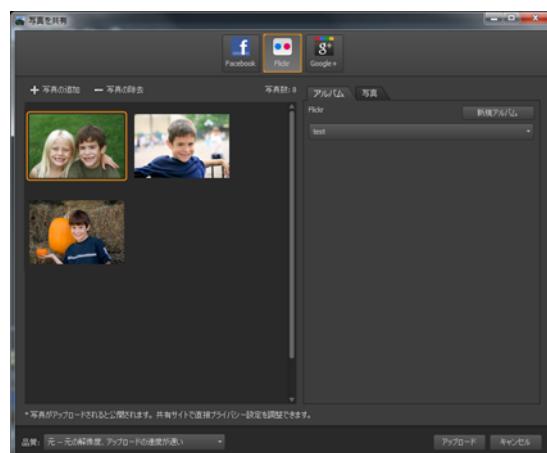


[プレビュー] サムネイルの下に表示される再生矢印をクリックすると、送信するアイテムを確認できます。

画像を共有サイトへアップロードする

インターネットに接続している場合は、アプリケーションから直接 Facebook、Flickr、Google+ などの共有サイトへ画像をアップロードすることができます。

写真をアップロードする際に、写真をアルバムに整理できます。既存のアルバム リストから選択するか、新しいアルバムを作成できます。



Facebook、Flickr、Google+ などの共有サイトへファイルをアップロードすることができます。

出力品質を選択する

写真の出力品質を選択する場合、次の 2 つのオプションがあります。

- ・ [元] – 現状の画像を保持し、最高の画質を実現します。
- ・ [推奨] – ファイル サイズと画質を減らして、アップロードを最適化します。ファイルが小さいほど、アップロードが速くなります。

画像を共有サイトへアップロードするには

- 1 オーガナイザー パレット(いずれかのワークスペースから利用可能)で、共有する画像を選択します。
オーバガイザー パレットが表示されていない場合は、[表示]▶[パレット]▶[オーガナイザー]をクリックするか、Shift + F9 を押します。
- 2 [共有] ボタンをクリックします。
- 3 [写真を共有] ダイアログ ボックスで、次の共有サイト ボタンのいずれかをクリックします。
 - Facebook
 - Flickr
 - Google+
- 4 [アルバム] タブをクリックし、次のいずれかを行います。
 - 既存のアルバムに写真を加えるには、リストからアルバムを選択します。
 - [新規アルバム] をクリックして名前と説明を入力し、[作成] をクリックして写真の新しいアルバムを作成します。
- 5 [写真] タブをクリックし、フィールドのいずれかを編集します。
複数の共有サイトを選択した場合は、フィールドは必ずしもすべての共有サイトに適用されない場合があります(特定の共有サイトによってサポートされる情報のみが、アップロードされます)。
- 6 [品質] ドロップリストからオプションを選択します。
- 7 [アップロード] をクリックします。



写真を現在接続していないサイトにアップロードする場合は、写真をアップロードする前にログインするよう求められます。

共有サイトで写真についての情報を表示したい場合は、あなたのプライバシー設定で、表示する場所情報が許可されている必要があります。

社内のネットワークからログインができない場合は、コンピューターのプロキシサーバーの設定の変更を行う必要がある可能性があります。社内ネットワークのプロキシサーバーの情報につきましては、社内のネットワーク管理者にご確認ください。

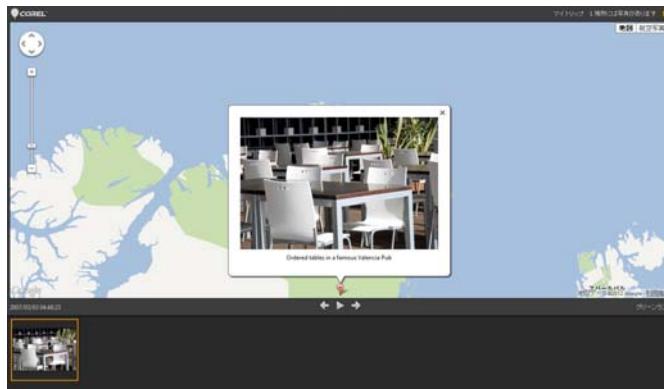


[写真の追加] または [写真の除去] をクリックすると、写真を追加/除去できます。

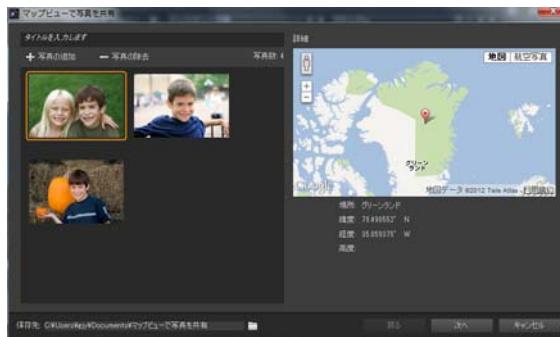
[マップビューで写真を共有] プロジェクトを作成する

写真からインタラクティブなフォトムービーを作成して、それをマップで表示できます。作成するプロジェクトは、ブログに掲載したり、Dropbox にアップロードできる HTML 出力として保存されます。プロジェクトを Dropbox にアップロードする場合は、そのリンクを Facebook に自動的に掲載できます。

写真をマッピングする方法については、ページ 38 の「場所情報を追加する」を参照してください。



[マップビューで写真を共有] では、写真を場所別に割り当てたインタラクティブなフォトムービーを作成できます。これにより、マップの写真をクリックすると、写真の大きなバージョンを表示できます。



[マップビューで写真を共有] ダイアログボックスでは、フォトムービーにタイトルを加え、場所情報を表示し、プロジェクトを保存するフォルダーを選択できます。

[マップビューで写真を共有] プロジェクトを作成するには

1 プロジェクトに含める写真を選択します。

写真は、最大 200 枚まで選択できます。プロジェクトでは、場所情報をもった写真のみを使用できます。

2 [マップビューで写真を共有] ボタン をクリックします。

3 [マップビューで写真を共有] ダイアログボックスで、[タイトルを入力します] をクリックし、プロジェクトのタイトルを入力します。

タイトルを入力しないと、プロジェクトは「マイトリップ」という名前が付けられます。

- 4 [保存先] ボックスにプロジェクトの場所を入力しするか、フォルダーアイコンをクリックして、プロジェクトを保存するフォルダーを参照します。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 [ブラウザーでプレビュー] ボタン  をクリックして、ブラウザーでプロジェクトをプレビューします。
- 7 次のいずれかのチェックボックスをチェックします。
 - はい、写真マップをパブリック Dropbox フォルダーへアップロードします。
 - いいえ、後で行います。

HTML 出力を自分自身で(たとえば、ブログなどに)掲載する場合は、2番目のオプションを選択してください。

Dropboxへのアップロードを選び、Dropboxリンクを Facebook に掲載したい場合は、[Facebookでリンクを共有] チェックボックスを有効にして、サムネイルを選択します。



現在 Dropbox および Facebook にログインしていない場合は、プロジェクトのアップロードや共有を行う前に、ログインするよう求められます。

Dropbox にアップロードできない場合は、プロジェクトのサイズを調べて、ご使用の Dropbox アカウントのアップロードおよびアカウントのサイズ制限を確認してください (www.dropbox.com)。



また、[写真の追加] または [写真の除去] をクリックすると、選択した写真を追加または除去できます。

印刷する

Corel PaintShop Pro には、作業内容を印刷するための広範囲なオプションがあります。このセクションでは基本的な印刷トピックについて説明します。レイアウトの使用とさらに高度な印刷に必要なファイルについては、ヘルプの「印刷する」を参照してください。

画像を印刷する

Corel PaintShop Pro には、画像を印刷するための方法が数多く用意されています。管理ワークスペース、編集ワークスペース、または調整ワークスペースのデータを印刷することができます。テンプレートを使用したり、特別なレイアウトを使用して特定のサイズおよびレイアウト要件に合わせることができます。



コンタクトシートを印刷(左)したり、標準サイズの写真に印刷(中央)したり、カスタム印刷レイアウトを作成(右)することができます。

テンプレートを使用すると、画像の印刷サイズや配置が簡単になります。テンプレートを使用すると、4 x 6 インチ、5 x 7 インチ、10 x 15 センチなどの標準のサイズで画像をレイアウトおよび印刷することができます。Corel PaintShop Pro のテンプレートを使用したり、作成したページ レイアウトから独自のカスタム テンプレートを作成したりできます。

独自のレイアウトを作成すると、画像を任意のサイズに印刷したり、プロジェクトのカスタム ページ(スクラップブックなど)を作成するなどの柔軟な作業を行うことができます。レイアウトの作成については、ヘルプの「レイアウトを作成する」を参照してください。

現在の画像を印刷するには

編集ワークスペース

- [ファイル] ▶ [印刷] を選択します。
- [プリンター] グループボックスで、[プリンター] をクリックします。
[印刷] ダイアログ ボックスが表示されます。
- [名前] ドロップリストからプリンターを選択して、[OK] をクリックします。
- [配置] タブをクリックして、[コピー数] コントロールに値を入力します。

- 5 [方向] グループ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 縦
 - 横
- 6 [サイズと位置] ダイアログ ボックスで、次のコントロールいずれかを設定します。
 - 幅と高さ – 幅と高さの値を指定して、画像のサイズを設定します。
 - スケール – 割合を入力して、画像のサイズを変更します。
 - ページに合わせる – 印刷されるページに画像を合わせます。
 - ページの中央 – 印刷されるページの中央に画像を配置します。
 - ページの左上 – 印刷されるページの左上端に画像を配置します。
 - カスタム オフセット – [左のオフセット] と [上のオフセット] ボックスに値を入力できるようにします。
- 7 [オプション] タブをクリックします。
- 8 [印刷出力] グループ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 色
 - グレースケール
 - CMYK 分割

[CMYK 分割] オプションを選択する場合、[印刷オプション] グループ ボックスで [CMYK プレート ラベル] チェック ボックスをチェックすると、各カラー プレートやページで CMYK のラベルを印刷することができます。
- 9 [印刷] をクリックします。

コンタクト シートを印刷するには

管理ワークスペース

- 1 [オーガナイザー] パレットで、印刷するファイルを選択します。
- 2 オーガナイザー ツールバーで、[オーガナイザー] メニュー ボタン  をクリックし、[コンタクト シートの印刷] を選択します。
- 3 [コンタクト シートの印刷] ダイアログ ボックスで希望する設定を指定します。
- 4 [印刷] をクリックします。



印刷オプションについては、ヘルプの「印刷について」を参照してください。

テンプレートを使って、画像を印刷するには

- 1 [管理] または [編集] ワークスペースで、[オーガナイザー] パレットのサムネイルを選択します。
- 2 [ファイル] ▶ [印刷レイアウト] をクリックします。
[印刷レイアウト] ウィンドウが表示されます。
- 3 [ファイル] ▶ [テンプレートを開く] をクリックします。
[テンプレート] ダイアログ ボックスが表示されます。

- 4 [カテゴリー] グループボックスで、リストからカテゴリーを選択します。
各カテゴリーのテンプレートのサムネイルは、ウィンドウの右側に表示されます。保存したカスタムテンプレートが [ユーザー定義] カテゴリーの下に表示されます。画像とともにカスタムテンプレートを保存すると、セルが色で塗りつぶされます。
- 5 テンプレートを選択して、[OK] をクリックします。
- 6 テンプレートのセルに画像をドラッグします。
テンプレートに同じ画像のコピーを配置する場合、サムネイルをクリックし、[画像を配置する] ボタン  をクリックします。
- 7 [ファイル] ▶ [印刷] をクリックします。



画像を選択して [削除] を押すと、テンプレートから画像を削除できます。
[ファイル] ▶ [画像を開く] を選択しても、画像を開くことができます。

索引

C

Corel サポート サービス 5, 14

Corel 製品, 更新 5

Corel 製品の更新 14

Corel ナレッジベース 14

Corel 製品の更新 5

D

Dropbox

マップビューで写真を共有フォトムービーを
アップロード 132

DSLR 機能 10

E

Exif 情報

編集する 47

F

Facebook 130

人物をタグ付けする 36

チェックイン ポイントを同期する 38

友だちのリストをインポート 37

フォトムービーを共有 132

Flickr 130

人物をタグ付けする 36

友だちのリストをインポート 37

G

Google+

人物をタグ付けする 36

友だちのリストをインポート 37

GPS データ 38

H

HDR (ハイ ダイナミック レンジ) 81

一括結合 87

写真を撮影 82

露出結合 83

HSL カラー モデル

値から色を選択する 94

値を表示する 94

HTML コード

色を指定する 94

I

IPTC データ 27

編集する 47

J

JPEG ファイル 27

K

KML ファイル 38

インポート 40

P

Picasa 130

PNG ファイル 27

R

RAW 写真

開く 26

RAW ファイル 27

RAW 写真 51

カメラ RAW ラボを使用する 52

サポートされるファイル形式 51

設定の調整 52	HTML コードから選択する 94
別の形式に変換する 53	RGB 値から選択する 94
編集を取得する 53	値を表示する 94
RGB カラー モデル	色あせた画像を補正する 63
値から色を選択する 94	画像から選択する 95
値を表示する 94	カラー ピッカーで選択する 93
傾向を調整する 63	傾向を調整する 63
W	前景と背景を入れ替える 93
Web 上のリソースを利用する	選択する 94, 95
アクセスする 14	デスクトップから選択する 95
あ	バランスを調整する 62
赤目、修整する 67	変更する 76
赤目ツール 22	補正 114
赤目、修整する	色鉛筆ツール 24
赤目ツールで 67	色の選択ツール 22
明るさとコントラスト	印刷
調整する 63	アクティブ画像 135
新しい機能 1	画像 135
圧縮	コンタクト シート 135, 136
画像 27	テンプレートの付き画像 136
アプリケーションのアンインストール 3	トリミングした画像 58
アプリケーションのインストール 3	ヘルプ トピック 12
アプリケーションの起動 4	印刷レイアウト 137
い	印刷レイアウト テンプレート
維持する	画像の出力 136
画像 114	インスタント効果パレット 20, 98
一括結合 , HDR87	効果を選択する 99
移動	インポート
レイヤー 118	KML ファイル 40
移動ツール 22	共有サイトから友だちのリストを 37
イメージのスプレー 109	場所情報 40
色	う
HSL 値から選択する 94	埋め込む
エアブラシ ツール 22	写真を電子メールに 129
え	

エッジ	角度、傾きを補正 59
境界線を追加する 78	カスタマー サポート 5, 14
シャープニング 61	画像のサムネイルの並べ替え 42
背景で塗りつぶす 59	画像の情報 45
エッジ検出選択範囲 121	キャプション 46, 47
遠近	作成日 46
補正 59	詳細 47
遠近補正ツール 22	情報パレット 45
エンボス ツール 23	評価 46
お	開く ダイアログ ボックスで 26
覆い焼きツール 22	画像の整理 29
オーガナイザー パレット	画像の評価 46
写真を電子メールで 129	画像の複製 72
20	画像を検索する 33
オーバービューパレット 20	カレンダーを使用する 35
オブジェクト	クイック検索 33
画像、除去する 79	高度な検索 33
画像、除去する 72	人物で 36
背景から切り取る 75	スマート コレクション 34
オブジェクト除去ツール 22	タグで 35
オブジェクトの抽出 75	場所で 38
か	画像を削除する 28, 44
回転	画像を調整する 55
画像 55	自動 60
画像のサムネイル 43	スマート修整 61
画像を指定角度で 56	ワンステップで 61
顔認識 36	画像をプレビュー 16
顔認識顔のシミ	傾き補正
除去する 68	角度 59
顔のしわ	画像 58
除去する 70	画像をトリミングする 59
拡大 / 縮小する	傾き補正ツール 22
スマート カーバーで写真を 79	カメラ RAW ラボ 52
	と RAW 写真設定 52
	カラー ピッカー 94
	カラー消しゴム ツール 23

カラー チェンジャー ツール 23, 77

カラー ピッカー 93

カレンダー、画像を検索する 35

管理ワークスペース 16, 29

設定する 30

表示モードを選択する 31

き

キーワード タグ

「タグ」を参照

傷、除去する 72

機能

新規 1

キャプション

削除 47

追加 46

境界線、画像に追加する 78

強化機能 !64

強化する 64

共有

写真 129

共有サイト

写真のアップロード 130

共有サイトへ画像をアップロード 130

切り取る

背景からオブジェクトを 75

く

クイック レビュー モード

使用する 47

クイック レビュー 8

矩形ツール 23

暗くする

自動的に写真を 61

グラフィック

レイヤーに追加する 114

クレヨン ツール 24

クローン ツール 22

け

消しゴム ツール 23

切り替える 75, 76

結合する

HDR 写真の一括 87

画像 114

写真の内容 88

写真の露出結合 83

こ

効果

値をリセットする 99

インスタント効果パレットから選択する 99

効果の設定 99

効果ブラウザーから選択する 100

効果メニューから選択 99

作成する 114

参照する 100

写真 100

設定の変更 100

タイプ。「特殊効果」を参照

適用する 97

効果の再利用 99

効果ブラウザー 99

固定する

トリミング領域 57

コピー

場所情報 40

コミュニティ サイト 14

コラージュ

、写真から作成する 114

コンタクト シート、印刷 135, 136

コントラスト、調整する	63	写真の明度を上げる	
さ		「写真を明るくする」を参照	
サイズ変更		写真をつなぎ合わせる	114
パレット	20	写真を並べ替える	
彩度		人物で	36
増加 / 減少	61	場所で	41
彩度ツール	23	シャドウを明るくする	64
サポート、カスタマー	5, 14	修整	
サムネイル	41	スマート修整での画像	61
回転	43	ワンステップの画像	61
拡大 / 縮小	42	自由選択ツール	22
並べ替える	42	選択範囲を作成する	121
ビデオを再生する	43	自由選択範囲	121
フォルダーを参照する	32	習得する	11
フォルダの表示	32	終了	4
プレビュー領域での表示	26	順序の変更	
三脚、ブラケットの	82	レイヤー	118
サンプル		消去	
色を選択	94	画像から直線を	74
し		画像領域	73, 75, 79
色相ツール	23	背景から線を	75
自動化する		背景領域	74, 75
基本的な写真補正	60	詳細、明確化の調整	64
自動選択ツール	22	情報、画像	
選択範囲を作成する	121	「画像の情報」を参照	
染み付けツール	22	情報パレット	16, 20, 45
シミ、除去する	68	書式	
シャープニング		テキスト	127
エッジ	61	白黒フィルム効果	102
シャープネス ツール	23	人物	36
画像の電子メール	129	す	
写真共有時のプライバシー	39	水彩画ブラシ ツール	24
写真の結合	81	ズーム	
		画像のサムネイル	42

- ズーム ツール 22
- スキンのスムーズ化機能
- スキントーンをスムーズ化 70
- スクラッチ除去ツール 22
- スクラッチ、除去する 70
- スクリプト出力パレット 20
- 図形ツール 23
- スタイル 91
- ステータス バー 18
- ストローク
- プロパティの設定 92
- スマート コレクションの検索 34
- 実行する 34
- スマート エッジ選択範囲 121
- スマート カーバー 79
- スマート修整
- 基本的な修整を微調整する 61
- スマート リムーブ 88
- スムーズ化
- スキントーン 70
- スリム効果 69
- せ**
- セピア トーン効果 101
- 適用する 102
- 線
- 画像から直線を消去する 74
 - 背景から直線を消去する 75
- 前景
- 背景と入れ替える 93
- 前景と背景を入れ替える 93
- 選択する
- 複数サムネイル 43
 - レイヤー 115
- 選択ツール 22
- 選択範囲を作成する 120
- 選択範囲 119
- クリアする 123
 - 作成する 119
 - 左右反転 78
 - 除外する 122
 - 追加 122
 - 反転する 123
 - 変更する 122
- 選択フォーカス 101, 102
- そ**
- 送信する
- 写真を電子メールで 129
- ソフトネス ツール 23
- た**
- ターゲットツール 23
- ダイアログ ボックス
- ヘルプを表示 12
- 対称図形ツール 23
- タイム マシン効果 100
- ビンテージ スタイルの写真を作成する 106
- 楕円ツール 23
- タグ 34
- 画像から除去 35
 - 画像に割り当てる 34
 - カタログから削除する 34
 - 作成する 34
 - 人物をタグ付けする 36
 - タグが付けられた画像を検索する 35
 - タグのない画像を検索する 35
 - 場所をタグ付けする 38
- ブラケットの露出設定 82

ち

抽出する

背景のオブジェクト 75

チュートリアル 11

調整ワークスペース 8, 17

チョーク ツール 23

直線

消去 75

直線、消去

画像から 74

つ

ツール

種類 21

ツール オプション パレット 20

ツール ツールバー

ツールを使う 21

ツールバー 21

ツールヒント

ツール 21

ツールバー 21

て

ティルトシフト 101, 102

テキスト 125

削除 126

作成する 125

書式 127

レイヤーに追加する 114

テキスト ツール 23

テクニカル サポート 14

デジタル写真

取り込む 25

ノイズ除去 62

デジタルワークフロー 7

展開する

レイヤー グループ 116

添付する

電子メールで送信する写真 129

テンプレート

印刷レイアウト。「印刷レイアウト テンプレート」を参照

と

トーン

スキンをスムーズ化 70

バランスを調整する 62

補正 114

特殊効果

「効果」を参照

閉じる

画像 26

トリミング 56

画像の傾きを補正する 59

中心に回転軸を移動 57

トリミング ツール 22

トレイ 48

写真を除去する 49

追加 48

トレイの内容をフォルダーに保存する 49

名前の変更 48

な

ナビゲーション パレット 20

名前の変更

ファイル 44

レイヤー 117

に

にじみツール 24

ニュースグループ 14

ぬ

塗りつぶし

トリミング領域の端 59

プロパティ 91

塗りつぶしツール 23

の

ノイズ

除去する 62

すばやく取り除く 62

は

歯, ホワイトニング 69

背景

消去したピクセルを復元する 75, 76

前景と入れ替える 93

直線を消去 75

トリミング領域の端を塗りつぶす 59

領域を消去する 74, 75

背景消しゴム ツール 23

切り替える 75, 76

ハイ ダイナミック レンジ (HDR), について 81

場所 38

場所情報 38

インポート 40

コピーと貼り付け 40

削除 41

写真を並べ替える 41

手動で追加する 40

フォトムービーを作成する 132

プライバシー 39

パステル ツール 24

パノラマ写真 114

パレット 18

サイズ変更 20

種類 19

使用する 19

非表示にする 20

表示する 20

パレットナイフ ツール 24

パン ツール 22

反転する

前景と背景 93

選択範囲 123

ひ

ピクセル

画像に復元する 74

背景に復元する 75, 76

ピクチャ チューブ 109

でペイント 109

ピクチャ チューブ ツール 23, 109

ピクチャ フレーム 108

ヒストグラムパレット 19

ピック ツール 22

ビデオを再生する 43

ビデオ、再生する 43

ビネット 101, 103

日焼け効果 69

日焼け、適用する 69

表示する

場所情報 38

レイヤー 117

開く

RAW 写真 26

アプリケーション 4

画像 26

ナビゲーション パレットの画像 26

ふ

ファイル

圧縮 27

管理ワークスペースから開く 26
ファイル形式
選択する 27
フィルター
クリエイティブ 107
効果を適用する 100
フィルム 107
フィルター効果
適用する 106
フィルム ルック
適用する 107
フィルム効果
適用する 100, 106
フィルライト / 明確化 64
フォーカス
写真のエッジのシャープニング 61
被写界深度を使用して作成する 64
フォト効果 100
白黒フィルム 100
セピアトーン 101
選択フォーカス 101
タイムマシン 100
ビネット 101
フィルムとフィルター効果 100
フォトムービー 132
フォルダー
画像を参照する 41
すべてのカタログを表示する 32
フォント
属性の変更 127
復元する
画像 67
消去したピクセルを画像に 74
消去したピクセルを背景に 75, 76
apus ツール 23
不透明度
レイヤーの設定 118
ブラケット 82, 87
ブラシ オプション パレット 19
フリーフォーム選択範囲 121
フルスクリーン表示 8
フレーム
ピクチャ 108
プレビュー
画像 26
管理ワークスペースの画像 42
へ
ペイント 114
ピクチャ チューブ 109
ペイント ブラシ ツール 22
ベクター レイヤー
折りたたむ 116
展開する 116
ヘルプ
Web 上のリソースを利用する 14
トレーニング ビデオ 11
ヘルプ システム 12
ペン ツール 23
変換する
RAW ファイル 53
写真を白黒に 102
編集
画像
編集する
画像の編集を取得する 44
取得した編集を適用する 45
編集ワークスペース 18

ほ

補正

- 色 114
- 色あせ 63
- 色の傾向 63
- 画像を美容的に 68
- 写真の遠近の歪み 59
- スクラッチ 70
- トーン 114

保存

- 画像 27
- 効果の設定 99

ま

マーカー ツール 24

マーキー、選択範囲 119

マップ モード 39

マップビューで写真を共有

- まっぷびゅーでしゃしんをきょうゆう 132

マテリアル 91

- 前景と背景を入れ替える 93

マテリアル パレット

- 表示 / 非表示 93

20, 91

マニュアル表記規則 11

み

ミキサー パレット 20

め

明確化 63, 64

マークオーバー ツール 22

- シミを除去する 68
- スリム効果の適用 69
- 歯をホワイトニング 69
- 日焼けを適用する 69

目ぐすりを適用する 69

目ぐすり

- 適用する 69

目ぐすりモード 69

メッッシュ ワープ ツール 23

メニュー バー 18

も

モンタージュ 114

や

焼き込みツール 22

ゆ

油彩ブラシ ツール 23

よ

読み込む

- 画像 25

ら

ラーニング センター パレット 12, 20

- 使用する 13

- 表示 / 非表示 13

ライト / ダーク ツール 22

り

リソース

- 習得する 11

履歴パレット 20

れ

レイヤー 113

- 移動 118

- グループを折りたたむ 116

- グループを展開する 116

作成する 116
左右反転 78
順序の変更 118
選択する 115
テキストやグラフィックを追加する 114
名前の変更 117
表示する 117
不透明度の設定 118

レイヤー パレット

表示 / 非表示 115
レイヤーを選択する 115
レイヤーを展開または折りたたむ 116

レイヤー グループを折りたたむ 116

レイヤー パレット 20, 115

レタッチする

画像 67

ろ

ローカルトーンマッピング 64

露出結合 83

わ

ワークスペース 15

管理 16

切り替え 19

現在の画像の削除 28

調整 17

編集 18

ワークフロー 7

ワープ ブラシ ツール 23, 110

ワープする

画像 110

画像領域 110

ワン ステップ修整

写真 61

ノイズ 62

Corel® PaintShop® Pro X5 ユーザー ガイド

Copyright 2012 Corel Corporation. All rights reserved.

製品仕様、価格、パッケージング、テクニカル サポートおよび情報（「仕様」）は、小売英語版のみを対象としています。他のすべてのバージョン（他の言語バージョンを含む）の仕様は異なる場合があります。

情報は COREL によって現状のまま提供され、適正品質の保証、特定目的への適合性、所有権および権利の非侵害、または法律、法令、商習慣、取引その他によって発生するものを含み、それに限定されない明示または默示の保証や条件なしに提供されるものとします。提供された情報またはその使用の結果に関する全リスクは、あなたが負うものとします。COREL は、あなたまたはその他の人または組織に対して、間接的、二次的、特殊的、または結果として起こる如何なる損害の責任も負いません。これには、収益または利益の損失、データの喪失または障害、その他の商業または経済的損失が含まれ、それらに限定されず、また COREL は、斯かる損害の可能性について通知を受け、それらが予測し得る場合であっても、責任を負わないものとします。また COREL は、第三者によって行われた如何なる請求にも責任を負いません。COREL があなたに支払う最大総額は、あなたが当該資料の購入に支払った費用を超えないものとします。一部の州 / 国では、結果的損害または間接的損害を除外または制限することを許可していないため、上記の制限はあなたに該当しない場合があります。

© 2012 Corel Corporation. All rights reserved. Corel、CorelDRAW、Corel DESIGNER、Painter、PaintShop、Roxio、Roxio Creator、Smart Carver、Thinify、Toast、VideoStudio、WinDVD、WinZip、WordPerfect、Corel logo、および Corel Balloon logo は、Corel Corporation および / またはその子会社の商標または登録商標です。記載されたその他すべての製品名や登録商標および商標は、識別の目的でのみ使用されており、その独占的権利はそれぞれの所有者に帰属しています。